

日常生活圏域ニーズ調査報告書

平成 24 年 3 月

山梨県 道志村

目 次

第1部 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象・調査方法	1
3. 調査基準日	1
4. 調査の実施時期	1
5. 調査項目	2
6. 回収状況	2
7. 分析・表示について	2
第2部 調査結果概要	3
第3部 調査結果報告	9
1. ご本人について	9
(1) 調査票記入者	9
(2) 年齢・性別	9
(3) 自治会	11
2. 問1 家族や生活状況について	12
① 家族構成	12
①-1 家族の数	13
①-2 日中独居	14
② 介護・介助の必要性	15
②-1 介護・介助が必要となった原因	16
②-2 主な介護者	17
②-3 主な介護者・介助者の年齢	17
③ 年金の種類	18
④ 就労状況	18
⑤ 現在の暮らしの経済的状況	18
⑥ 居住形態	19
⑦ 住居の所有関係	19
⑧ 居住階層	19
⑧-1 エレベーターの設置	20

3.	問2 運動や閉じこもりについて	20
	① 階段昇降	20
	② いすからの立ち上がり	20
	③ 継続歩行	20
	④ 歩行	20
	⑤ 外出	20
	⑥ 外出頻度の減少	20
	⑦ 外出を控えている	23
	⑦-1 外出を控えている理由	24
	⑧ 買物・散歩の外出頻度	24
	⑨ 外出する際の移動手段	26
4.	問3 転倒予防について	28
	① 転倒経験	28
	② 転倒不安の増大	28
	③ 背中の丸まり	28
	④ 歩行速度の低下	28
	⑤ 杖の使用	28
5.	問4 口腔・栄養について	31
	② 身長・体重・BMI	31
	① 体重減少	33
	③ 固いものが食べにくい	33
	④ 汁物にむせる	33
	⑤ 口の渇き	33
	⑥ 毎日の歯磨き	33
	⑦ 定期的歯科検診	33
	⑧ 入れ歯の使用	36
	⑧-1 噛み合わせ	37
	⑧-2 毎日の手入れ	37
6.	問5 物忘れについて	38
	① 同じことを聞く	38
	② 自分で電話をかける	38
	③ 今日の日付がわからない	38
	④ 5分前のことが思い出せる	38
	⑤ その日の活動の(自分での)判断力	41
	⑥ 自分の考えをうまく伝えられるか	42
7.	問6 日常生活について	43
	① 一人での外出	43
	② 日用品の買い物	43
	③ 食事の用意	43

④	支払い	43
⑤	預貯金の出し入れ	43
⑥	食事	43
⑦	寝床に入る	43
⑧	座位保持	43
⑨	洗面や歯磨き	43
⑩	トイレ	43
⑪	入浴	43
⑫	継続歩行	43
⑬	階段昇降	43
⑭	着替え	43
⑮	大便の失敗	43
⑯	尿漏れ・尿失禁	43
⑰	家事全般	43
②-1	外出できない理由	44
③-1	食事の用意	44
⑱	援助や支援の有無	51
⑱-1	援助や支援の内容	51
8.	問7 社会参加について	52
①	年金などの書類作成	52
②	新聞を読む	52
③	本や雑誌を読む	52
④	健康への興味	52
⑤	友人や親戚を訪ねる	52
⑥	相談を受ける	52
⑦	相談をする	52
⑧	病人を見舞う	52
⑨	若者への話しかけ	52
⑩	趣味の有無	52
⑪	生きがいの有無	52
⑦-1	相談相手	53
⑪-1	生きがい	53
⑫	地域活動への参加状況	56
⑫-1	今後の参加希望	56
⑬	地域での支援	57
⑭	ボランティア活動への意思	58
⑭-1	活かしたい活動分野	58
9.	問8 健康状態について	59
①	健康状況の自覚	59

②	病気の有無	59
③	飲んでいる薬の数	60
④	通院状況	61
④-1	通院頻度	61
④-2	通院での介助の必要性	61
⑤	在宅サービスの利用の状況	62
⑥	飲酒習慣	63
⑦	喫煙習慣	63
⑧	充実感がない	64
⑨	楽しめない	64
⑩	億劫	64
⑪	無能間	64
⑫	疲労感	64
10.	問9 村独自質問 介護保険料等について	67
①	近所とのつきあい	67
②	どこで暮らしたいか	67
③	現在の介護保険料	68
④	保険料と介護サービスのあり方	68
⑤	自由記述	69

資料編 調査票

第 1 部 調查概要

第 2 部 調查結果概要

第1部 調査概要

1. 調査の目的

高齢者の方々が地域の中で、できる限り長く生きがいをもって、健康で安心して生活ができることを基本理念とし、健康づくり、介護予防などを推進してきた。

このたび、「道志村高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画(平成24～26年度)」を策定するにあたり、当該調査を実施し、日常生活圏域ごとの精度の高い高齢者の状態像・ニーズや高齢者の自立生活を阻む課題等をよりの確に把握することを目的とする。

2. 調査対象・調査方法

【日常生活圏域ニーズ調査】

調査基準日(平成23年2月1日)において、村内在住の65歳以上の高齢者全員。

郵送による配付、回収。

期日までに提出のないものに対して、民生委員が戸別訪問、記入の指導、回収。

対 象	対象人数	世帯数	調査方法
村内に住所を有する 65歳以上高齢者全員	540人	365世帯	全員調査

3. 調査基準日

平成23年2月1日

4. 調査の実施時期

調査期間 平成23年2月15日から平成23年2月28日

5. 調査項目

日常生活圏域ニーズ調査
①回答者基本属性 ②家族や生活状況について ③運動や閉じこもりについて ④転倒予防について ⑤口腔と栄養の状況について ⑥物忘れの状況について ⑦日常生活について ⑧社会参加について ⑨健康状態について ⑩村独自質問 介護保険料・自由記述

6. 回収状況

調査種別	配付数	有効回収数	有効回答率
日常生活圏域ニーズ調査	540 件	502 件	93.0%

7. 分析・表示について

1. 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%とならないこともあります。
2. 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。
3. グラフ中の（計：〇〇）という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
4. クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。
5. 設問の項目名や選択肢においては、表記を変更・省略している場合もあるため、巻末の調査票をご参照ください。

第2部 調査結果概要

【回答者基本属性】

- ・回答者の約6割が調査対象者本人で、約3割が家族によるもの。その他は介護支援専門員や民生委員等によるものである。
- ・回答者の約6割が75歳以上の後期高齢者で、男女比では女性が56.4%となっている。

【家族や生活状況について】

- ・家族構成では「一人暮らし」は7.6%となっており、約9割は家族と同居。そのうち34.4%はおもに配偶者と2人だけの家庭。(問1①、①-1)
- ・同居世帯でも、その75%以上の高齢者が日中独居となる可能性がある。(問1①-2)
- ・回答者の7割以上が「介護・介助は必要ない」と回答。(問1②)
- ・現在就労している割合は約2割で、現在の暮らしに経済的な苦しさを感じている人が約5割を占める。(問1④、⑤)

【運動・閉じこもりについて】

- ・日常生活動作では、階段昇降で手すりや壁をつたわる人は約4割となっている。(問2①)
- ・外出を控えているという人は約3割いて、その理由として「足腰などの痛み」が一番多い。(問2⑦、⑦-1)
- ・外出する際の移動手段では、「徒歩」や「自動車(自分で運転又は家族、友人等にらせてもらう)」による人が多い。(問2⑨)

【転倒予防について】

- ・転倒経験がある人は25.7%で、以前と比べて歩行速度が遅くなった人が約6割、また、転倒に対する不安が大きい人も4割を超える。(問3①、②、④)

【口腔・栄養について】

- ・身長と体重から算出した回答者のBMIでは、低体重(BMI18.5未満)4.8%に対し、肥満(BMI25.0以上)は29.1%を占めている。(問4②)
- ・歯磨き習慣のある人は約8割を占めているものの、半年前と比べて固いものが食べにくくなったりする人が37.5%、むせることがある人が22.9%、口の渇きが気になる人が23.7%を占めており、口腔機能の低下が懸念される。(問4③、④、⑤、⑥)
- ・入れ歯を使用している人は約6割を占め、噛み合わせや毎日の手入れなどでは、8割の人が良好な状態。(問4⑧、⑧-1、⑧-2)

【物忘れについて】

- ・物忘れや判断力の衰えの兆候がみられる人は1.5～3割程度。(問5)

【日常生活について】

- ・日常生活では、多くの項目で8割以上の方が自立しているが、外出を伴うような行動や尿漏れ・尿失禁では、介助やケアを必要とする人の割合が2割～3割程度に膨らむ。(問6)

【社会参加について】

- ・社会参加に関する行動では、多くの項目で7割以上の方がその行動ができると回答しているが、本や雑誌を読む、趣味の有無といった項目ではやや低い。(問7)
- ・困った事柄などを家族や友人などに相談している人は8割以上にのぼり、相談相手としては、息子や配偶者、娘などの身近な家族が上位を占める。(問7⑦、⑦-1)
- ・地域活動に参加している人は約6割以上を占め、祭・行事や自治会などに参加している人が多い。(問7⑫)

【健康状態について】

- ・自分の健康状態が良好だと感じている人は約7割を占めるものの、何らかの後遺症や疾患をもっている人は約7割、常用している薬の種類が5種類以上ある人が約2割、何らかの病院や医院に通院している人は約7割にのぼる。(問8①、②、③、④)
- ・飲酒習慣のある人は約3割、喫煙習慣のある人は約1割で、これらは男女差が大きく、おもに男性で飲酒、喫煙習慣のある割合が高い。(問8⑥、⑦)
- ・ここ2週間の生活の充実感に関して、約2割の方が生活に充実感がないと回答している。(問8⑧、⑨、⑩、⑪、⑫)

【村独自質問】

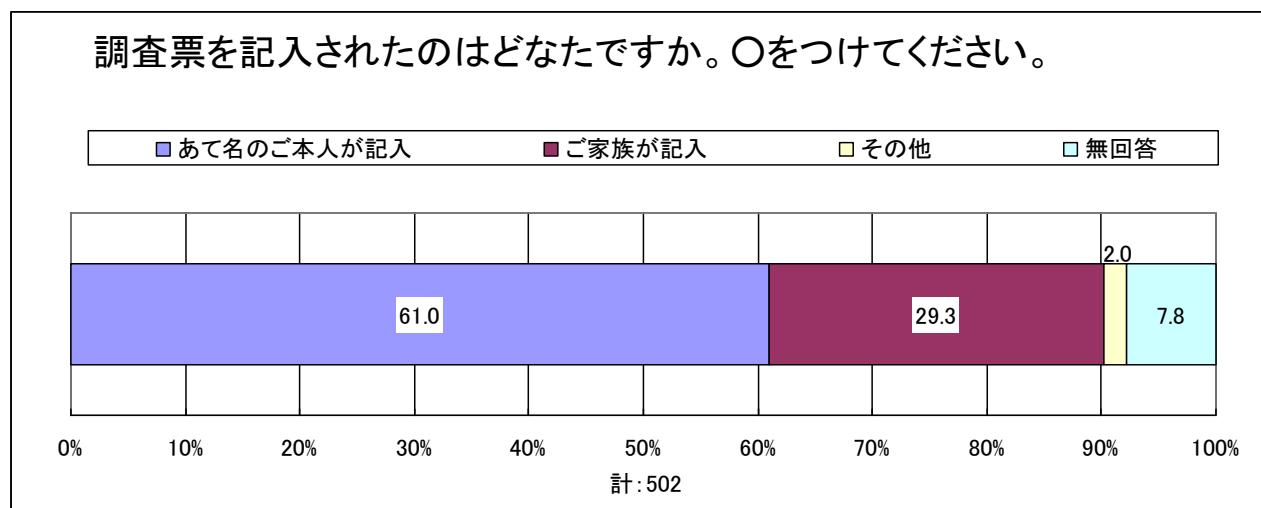
- ・近所とのつきあいは、約9割の方が何らかのつきあいがあるが、互いに訪問は35.1%にとどまっている。(問9①)
- ・介護・介助が必要になったときでも、約7割の方は自宅での生活を望んでいる。(問9②)
- ・介護保険料について、負担と感じている方は65.6%で、保険料と介護サービスのあり方について現行の水準でよいと3割の方が回答している。(問9③、④)

第 3 部 調查結果報告

第3部 調査結果報告

1. ご本人について

(1) 調査票記入者

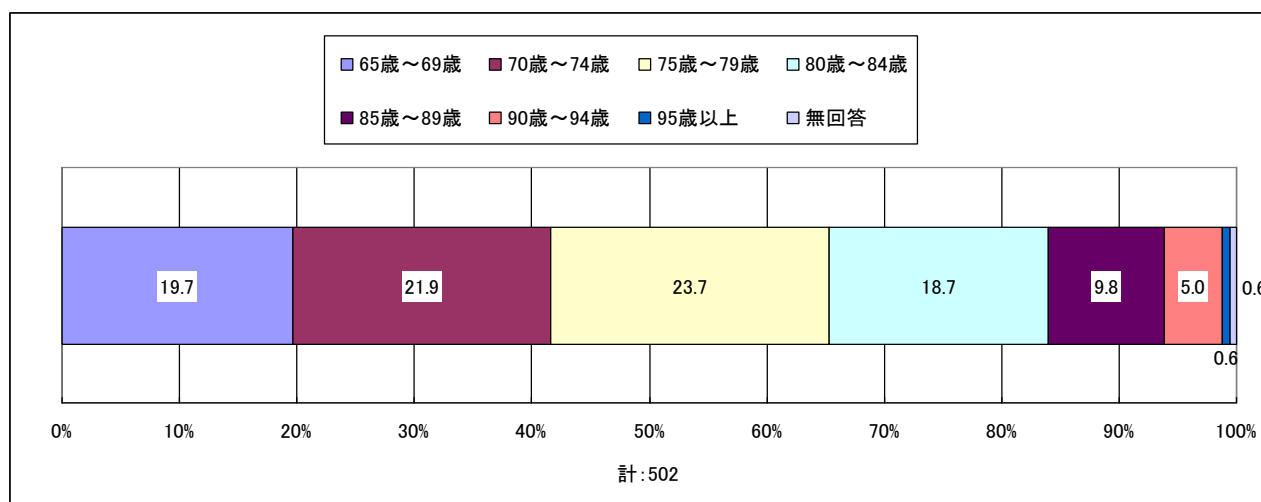


調査票に回答を記入した人は、調査対象者である「あて名のご本人が記入」が61.0%、「ご家族が記入」が29.3%となっています。

「その他」は介護支援専門員や民生委員となっています。

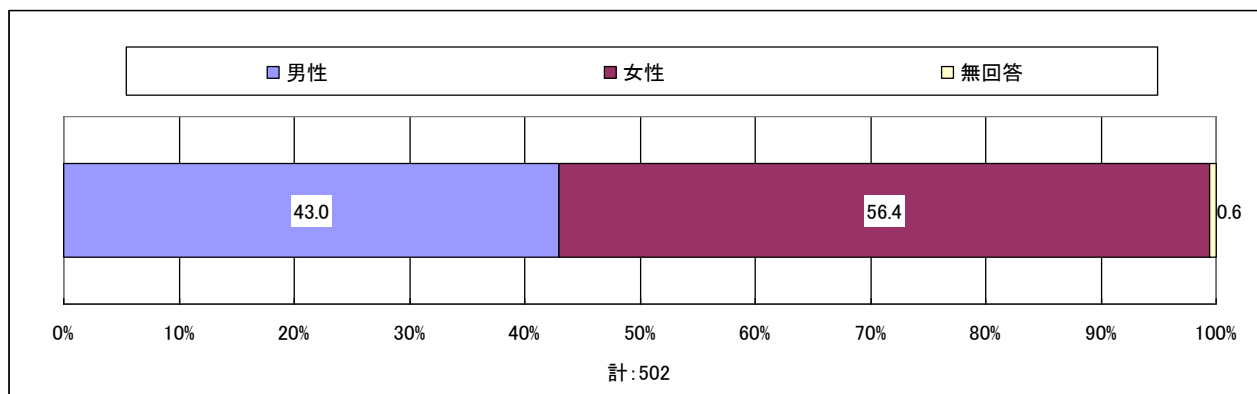
(2) 年齢・性別

年 齢



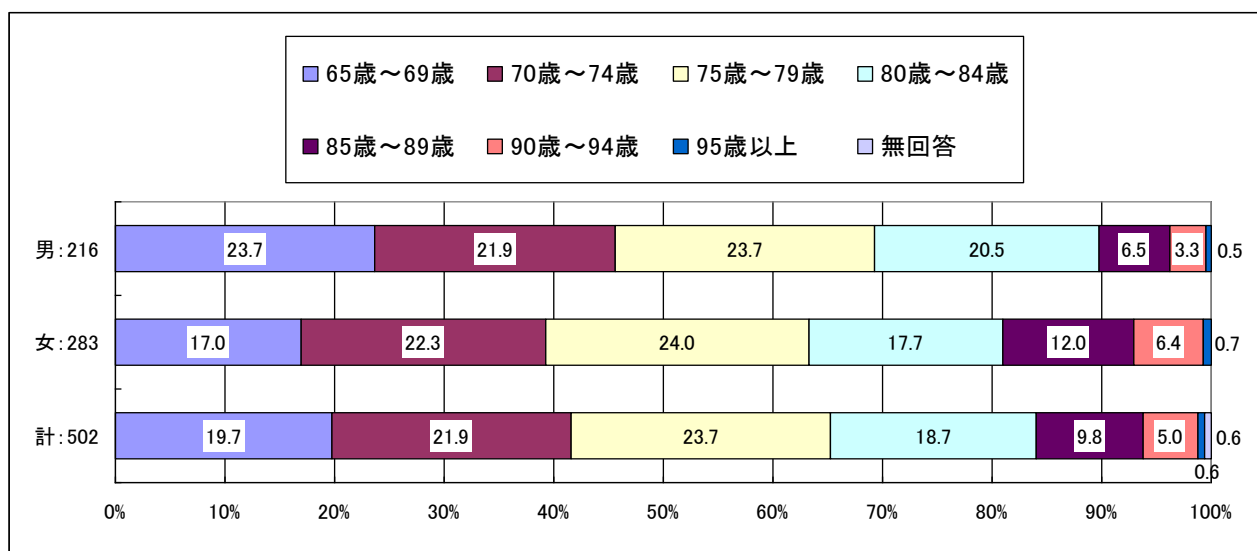
調査回答者の年齢では、「75歳～79歳」が23.7%と最も多く、次いで「70歳～74歳」(21.9%)、「65歳～69歳」(19.7%)の順となっています。

性別



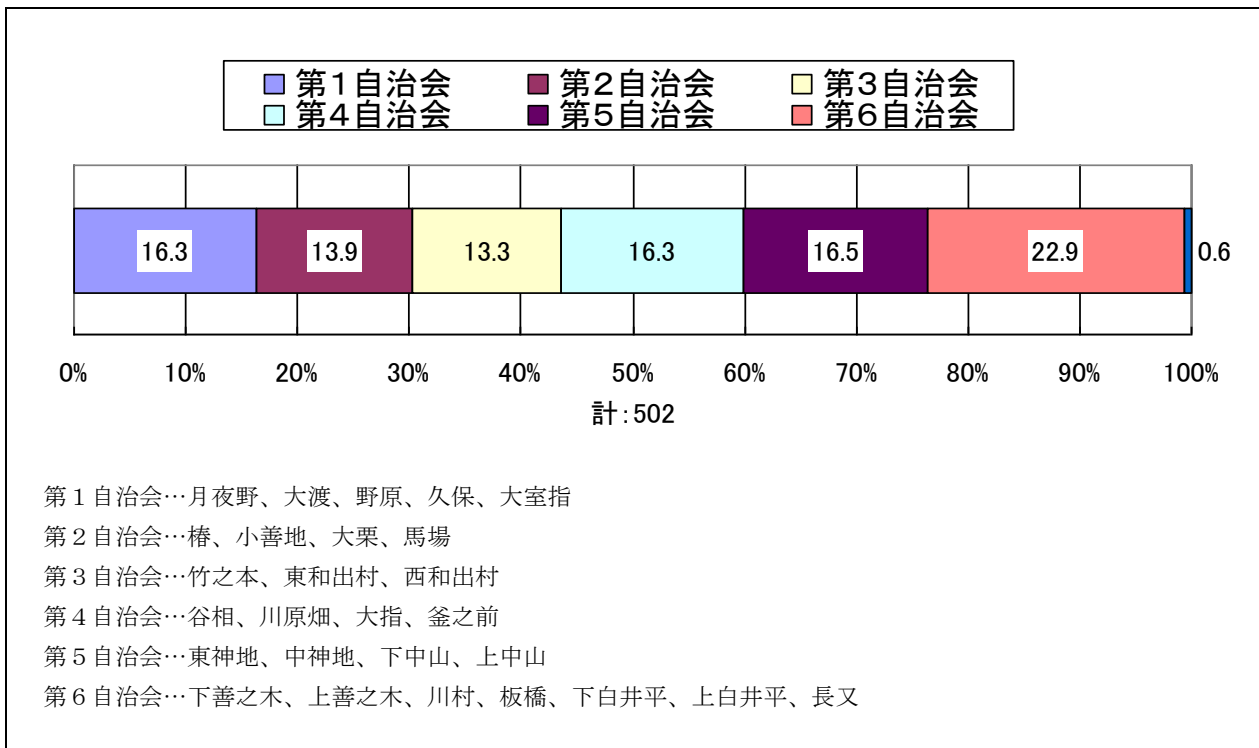
調査回答者の性別では、「男性」が43.0%、「女性」が56.4%で、女性が男性を上回っています。

●男女別年齢構成



男女別年齢構成では、「65歳～69歳」「80歳～84歳」の割合で男性が女性を上回っており、女性に比べて、前期高齢者(65歳から74歳)の割合が高くなっています。

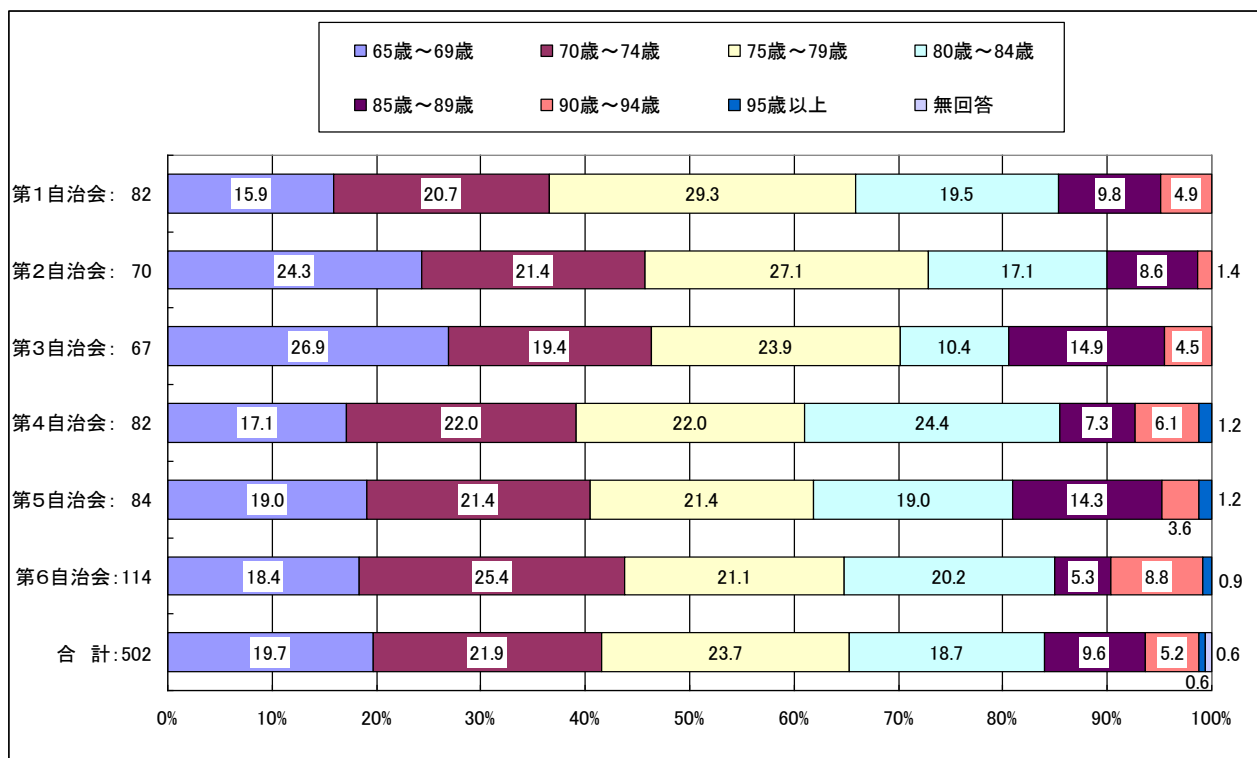
(3) 自治会



調査回答者の居住地域では「第6自治会」が22.9%で最も多く、次いで「第4自治会」(16.5%)、「第1自治会」「第3自治会」(16.3%)となっています。

また、自治会別に年齢構成をみると、下記のとおりとなっています。

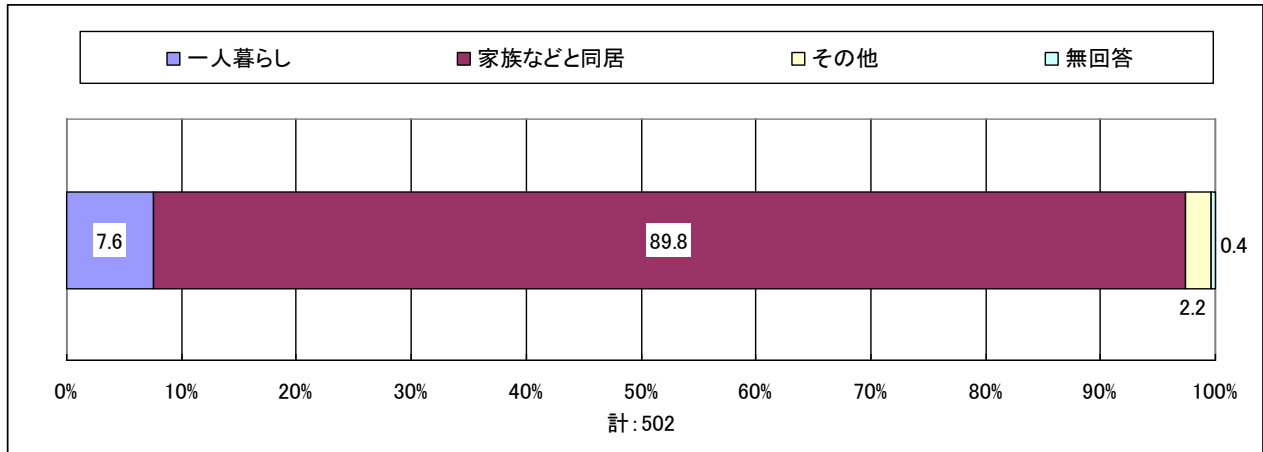
●自治会別年齢構成



2. 問1 家族や生活状況について

① 家族構成

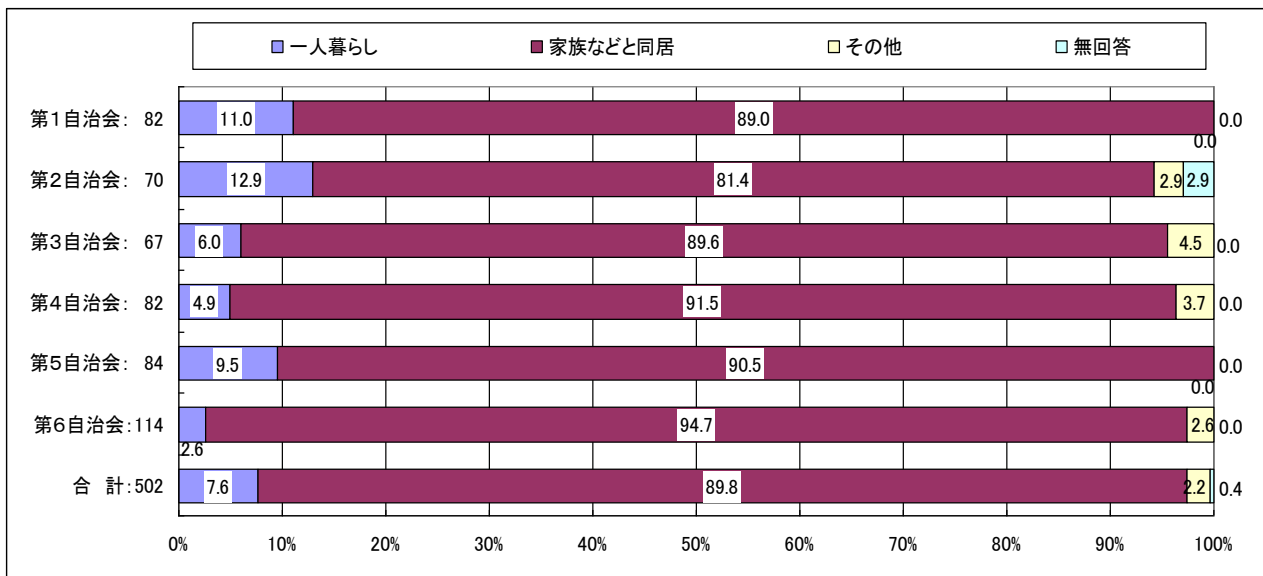
家族構成をお答えください。(1つ)



家族構成では「家族など同居」が約9割を占めています。また「一人暮らし」の回答は7.6%となっています。

また、自治会別に家族構成をみると、第1自治会と第2自治会で「一人暮らし」の割合が10%を超えており、次いで第5自治会が高い割合となっています。

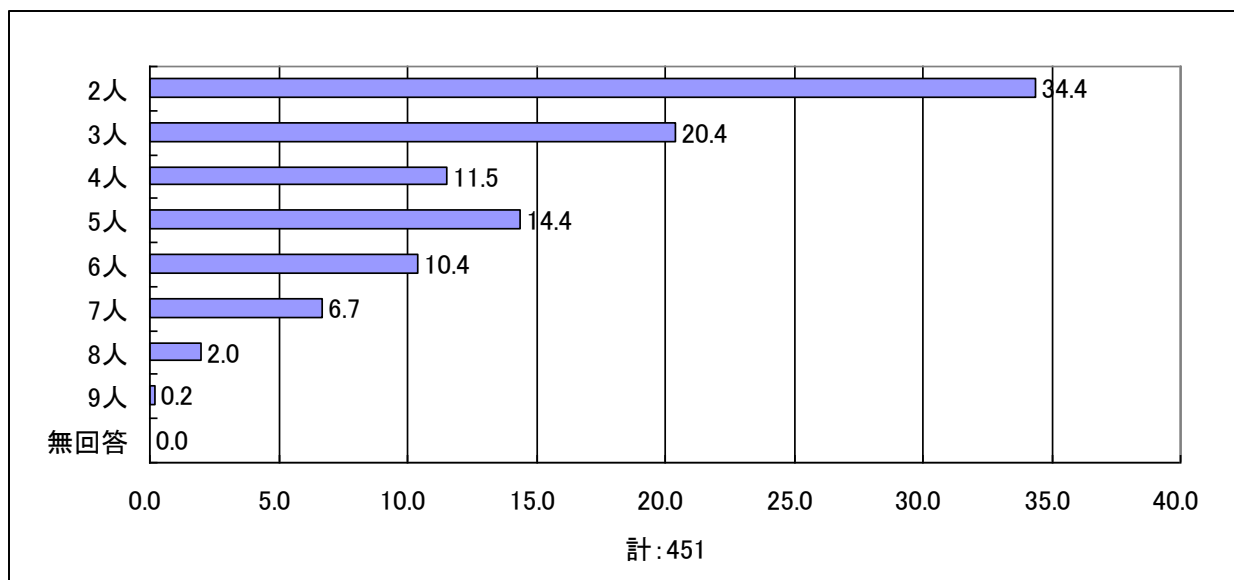
●自治会別家族構成



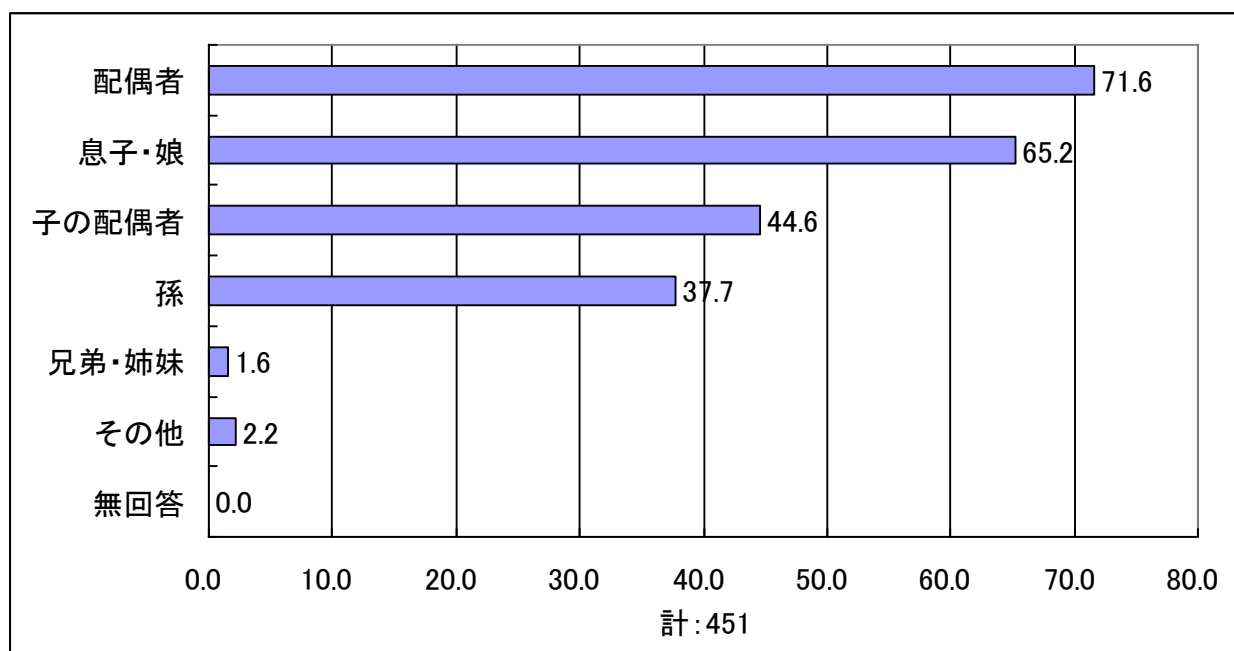
①-1 家族の数

①で「2. 家族等と同居（二世帯住宅を含む）」とお答えの方におたずねします。あなたご自身を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。（いくつでも）

【同居人数】



【同居者】

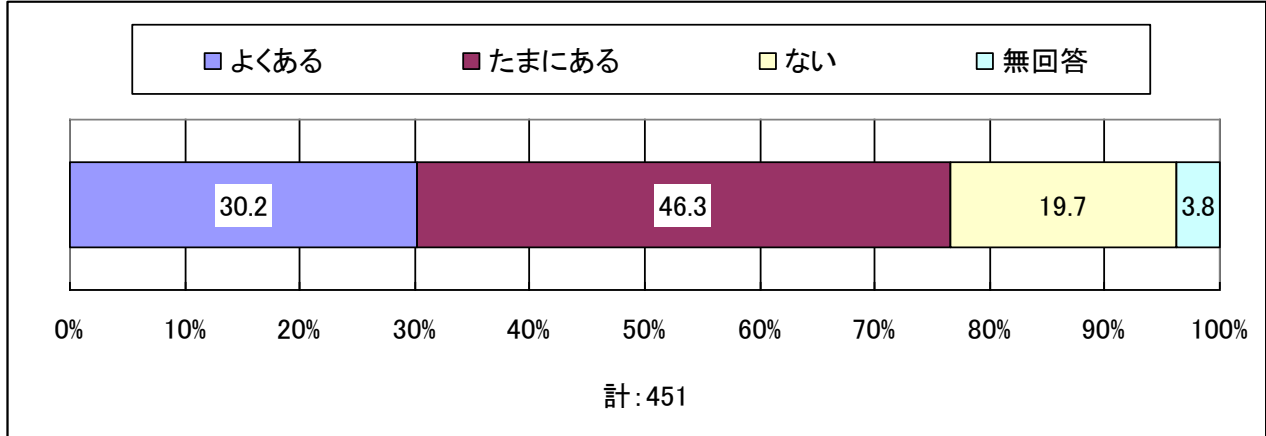


同居人数では「2人」が34.4%と最も多く、次いで「3人」(20.4%)、「5人」(14.4%)の順となっています。

同居者では「配偶者」が71.6%と最も多く、次いで「息子・娘」(65.2%)、「子の配偶者」(44.6%)、「孫」(37.7%)の順となっています。

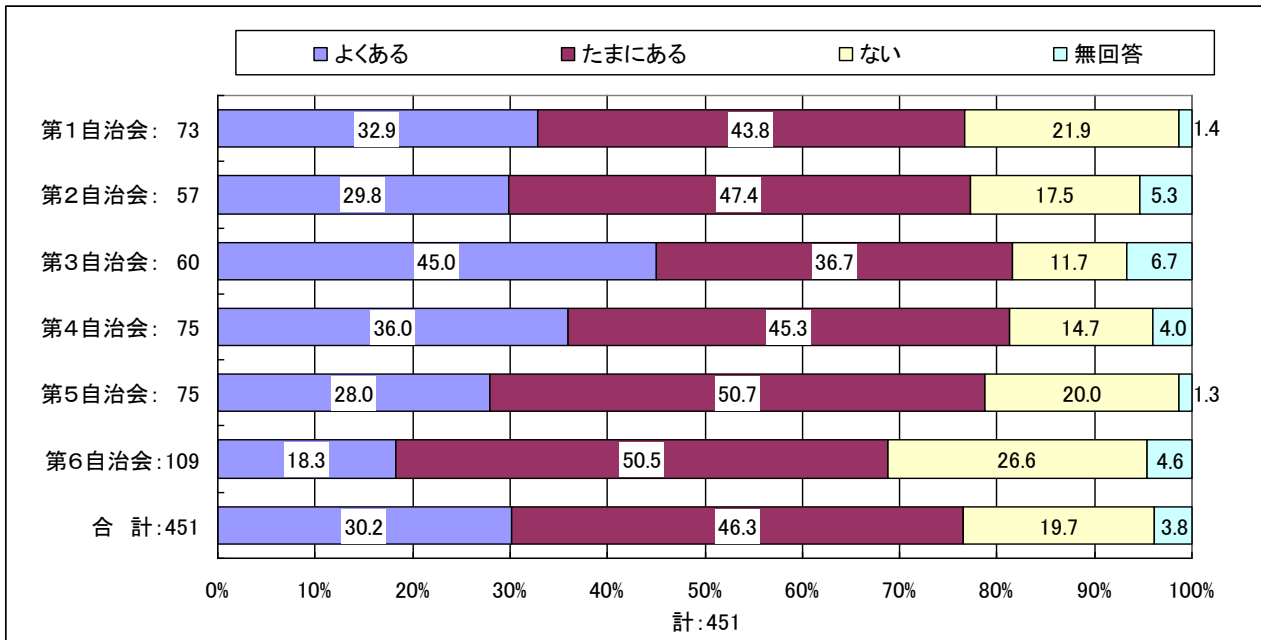
①-2 日中独居

①で「2. 家族等と同居（二世帯住宅を含む）」とお答えの方におたずねします。あなたは、日中1人になることがありますか（1つ）



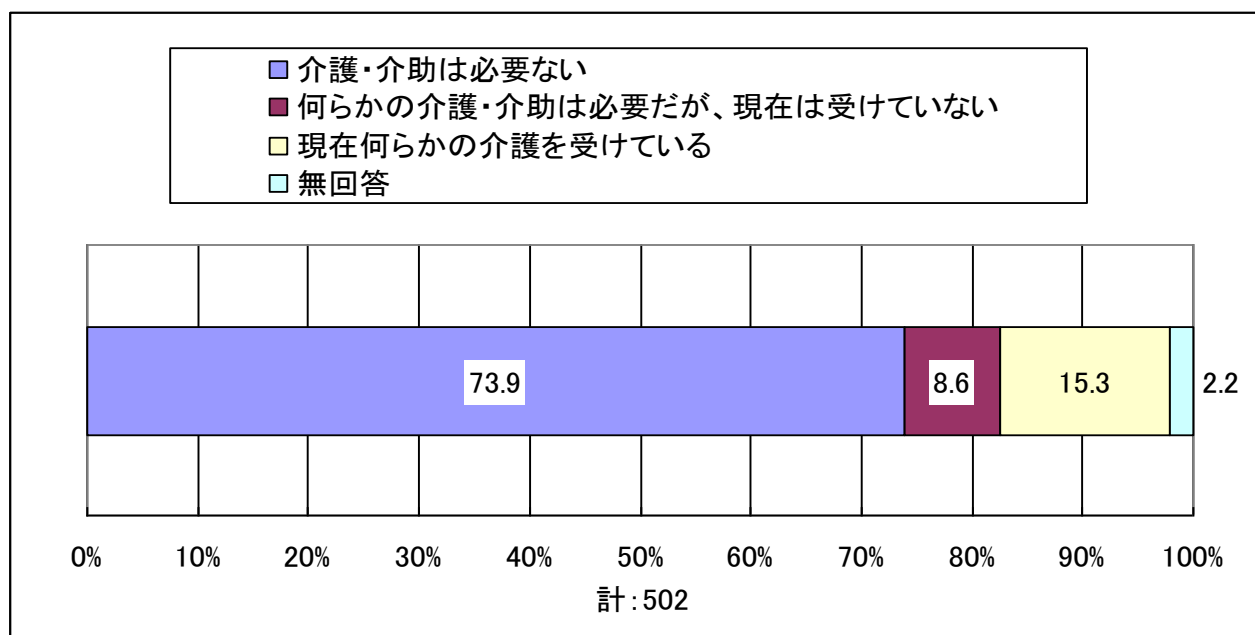
単身以外の世帯において、日中に高齢者1人だけになってしまう、いわゆる「日中独居」では、「よくある」(30.2%)と「たまにある」(46.3%)を合わせると75%以上を占めています。自治会別では、「日中独居」が80%を超える地域もみられます。

●自治会別日中独居



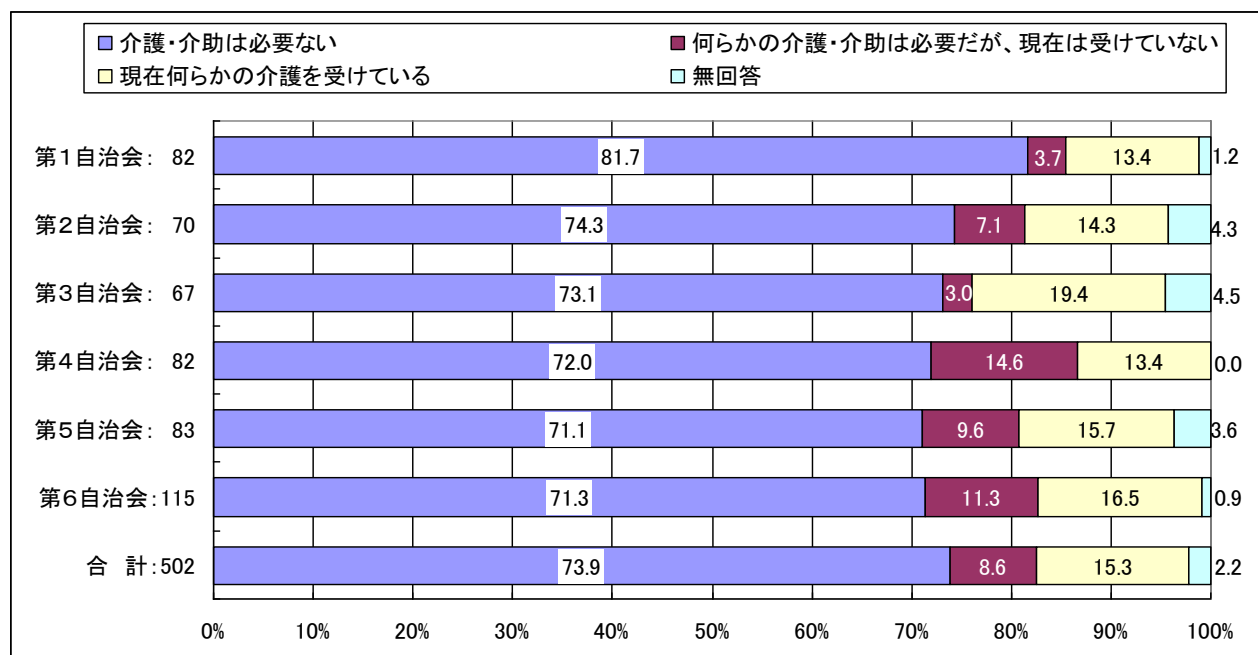
② 介護・介助の必要性

あなたは、普段の生活でどなたかからの介護・介助が必要ですか。(1つ)



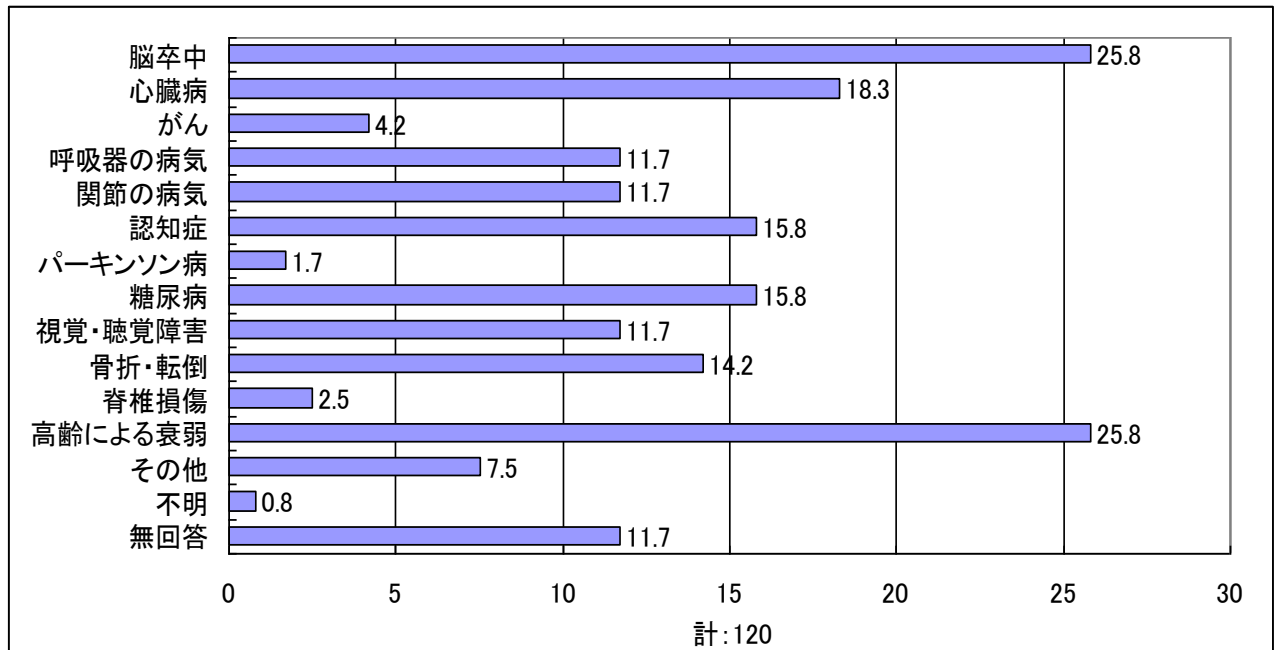
日常生活での介護・介助の必要性では、「介護・介助は必要ない」が7割以上を占めています。自治会別には、第1自治会で「介護・介助は必要ない」の割合が高く、第4自治会では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が高くなっています。

●自治会別介護・介助の必要性



②-1 介護・介助が必要となった原因

②で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

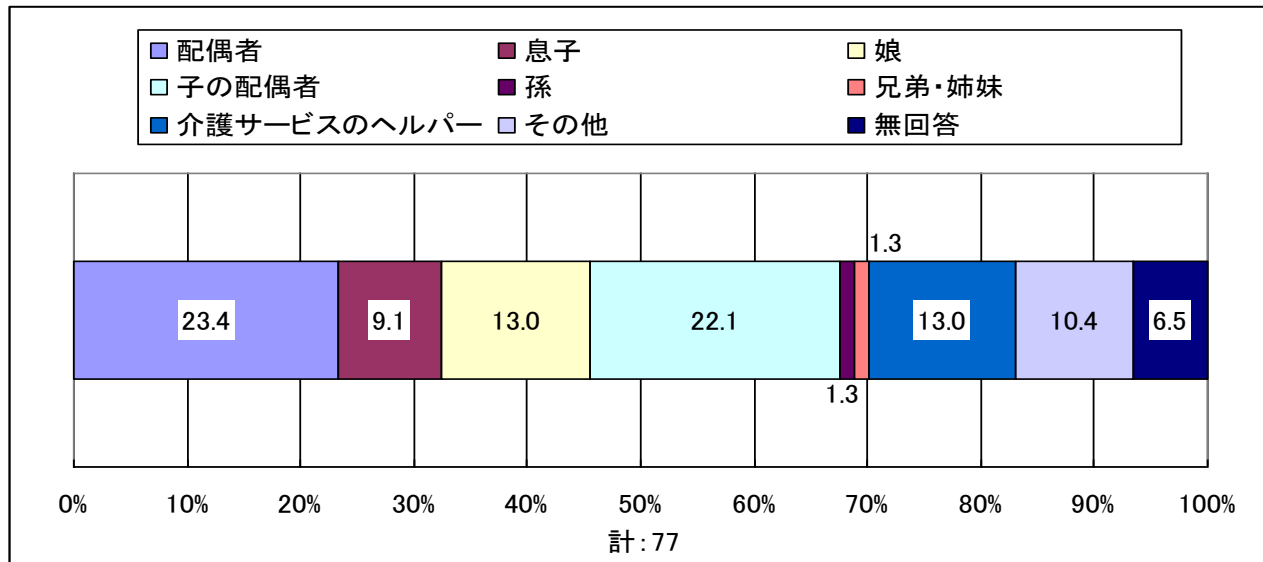


介護・介助が必要になった主な理由では、「高齢による衰弱」「脳卒中」が25.8%と最も多く、次いで「心臓病」(18.3%)、「糖尿病」「認知症」(15.8%)となっています。

また、「その他」の内容としては、「腎臓病」や「意欲低下」、「大動脈乖離」、「高次脳機能障害」などとなっています。

②-2 主な介護者

②で「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。主にどなたの介護・介助を受けていますか。(1つ)

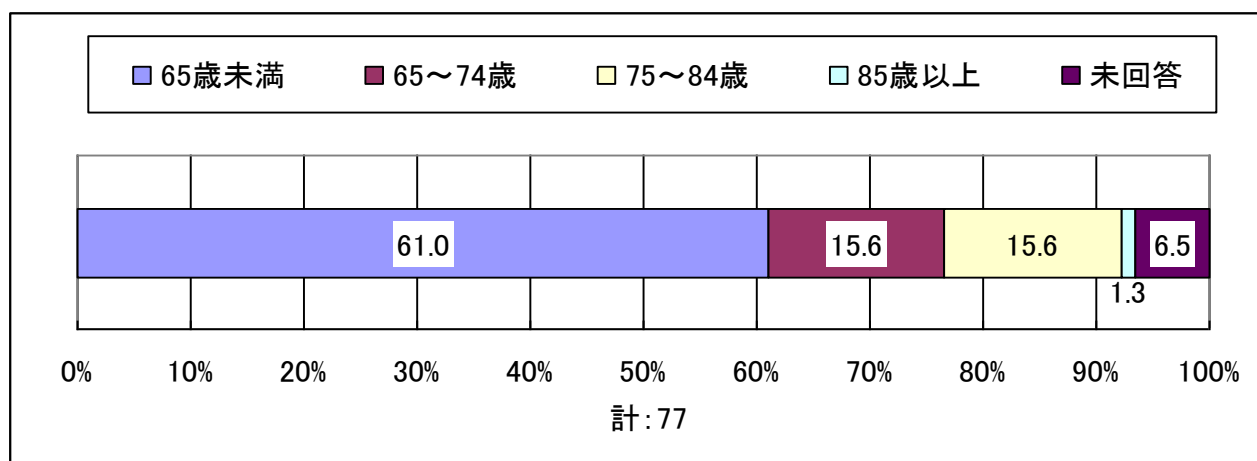


介護・介助者では、「配偶者」と「子の配偶者」がそれぞれ23.4%と22.1%で、これら2つに回答が集まっています。

また、「その他」の内容としては、すべて「施設職員」となっています。

②-3 主な介護者・介助者の年齢

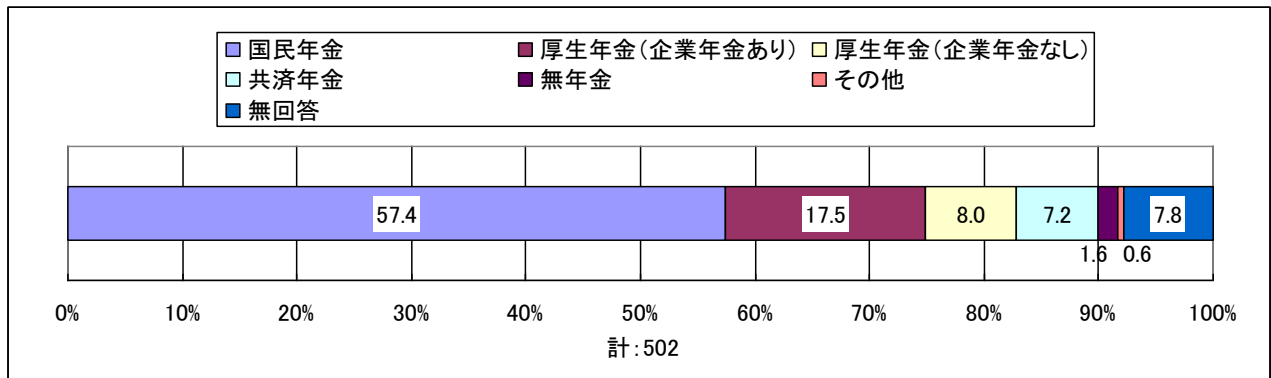
②で「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。(1つ)



介護・介助者の年齢では、「65歳未満」が6割を占めていますが、65歳以上の割合も32.5%と高いことがうかがえます。

③ 年金の種類

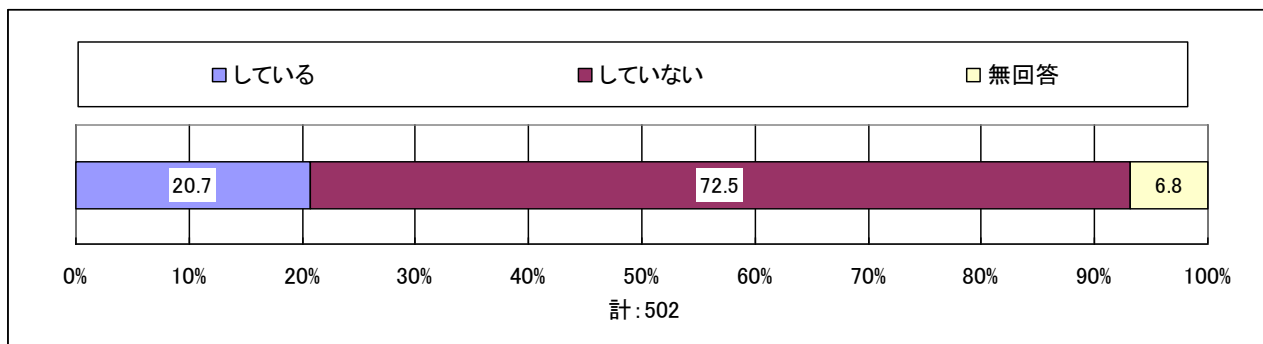
年金の種類は次のどれですか。(1つ)



受給されている主な年金では、「国民年金」が約6割を占めています。

④ 就労状況

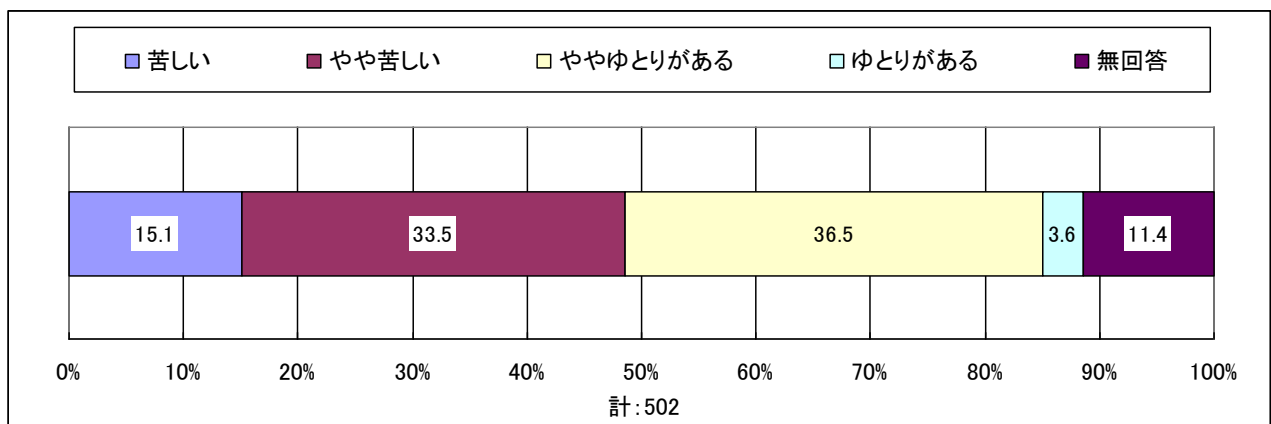
現在、収入のある仕事をしていますか。(1つ)



収入のある仕事を「している」と回答した人は20.7%となっています。

⑤ 現在の暮らしの経済的状況

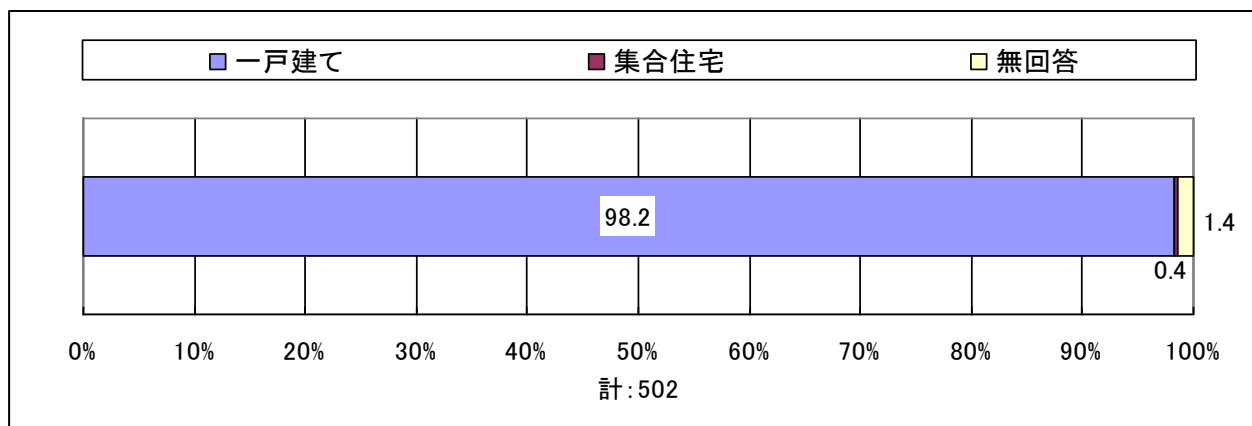
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つ)



暮らしの経済状況では、苦しい（「苦しい」と「やや苦しい」）と回答した割合が約5割を占めています。

⑥ 住居形態

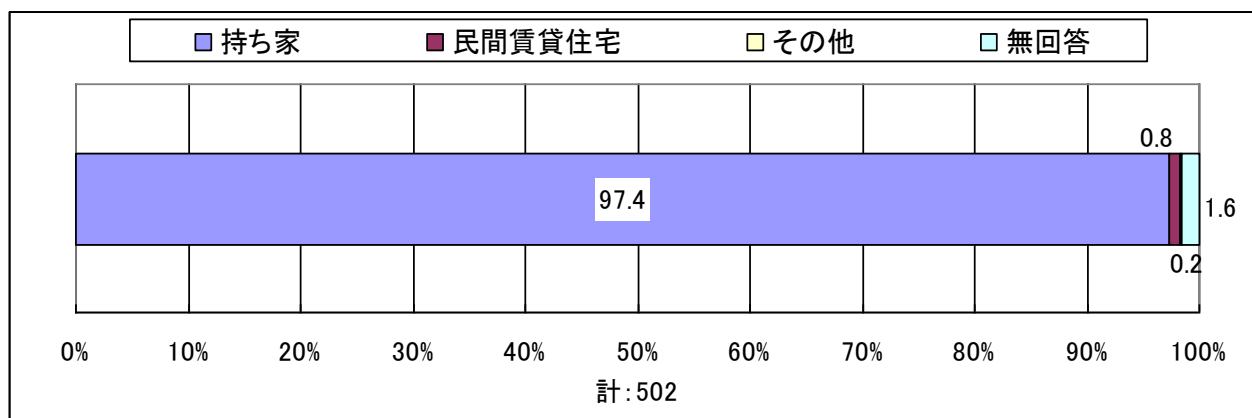
お住まいは、一戸建てまたは集合のどちらですか。(1つ)



居住環境では、ほぼすべてが「一戸建て」となっています。

⑦ 住居の所有関係

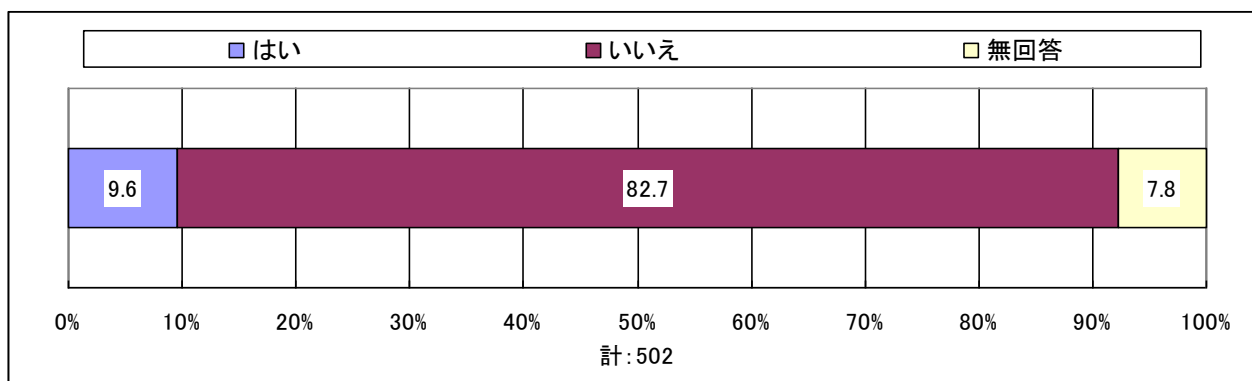
お住まいは、次のどれにあたりますか。(1つ)



住居の所有関係では、ほぼすべてが「持家」となっています。

⑧ 居住階層 (2階以上)

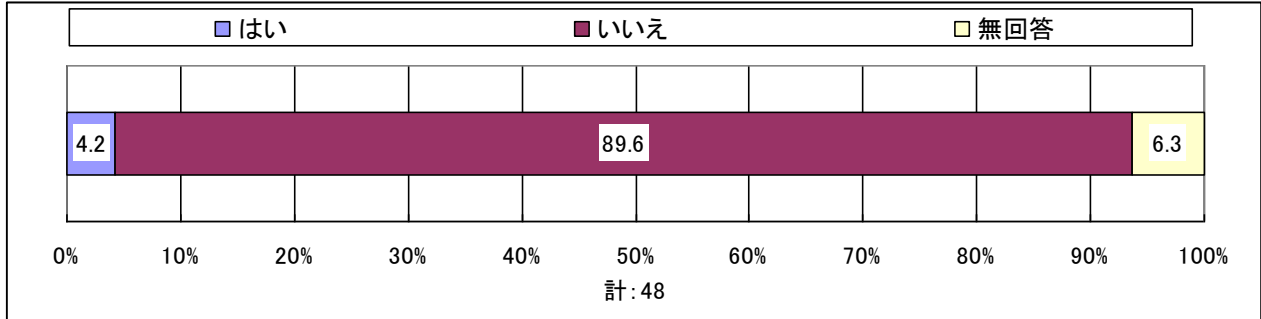
あなたが主に生活している部屋は2階以上にありますか。(1つ)



住んでいる建物または部屋が2階以上にあると回答したのは約1割です。

⑧-1 エレベーターの設置

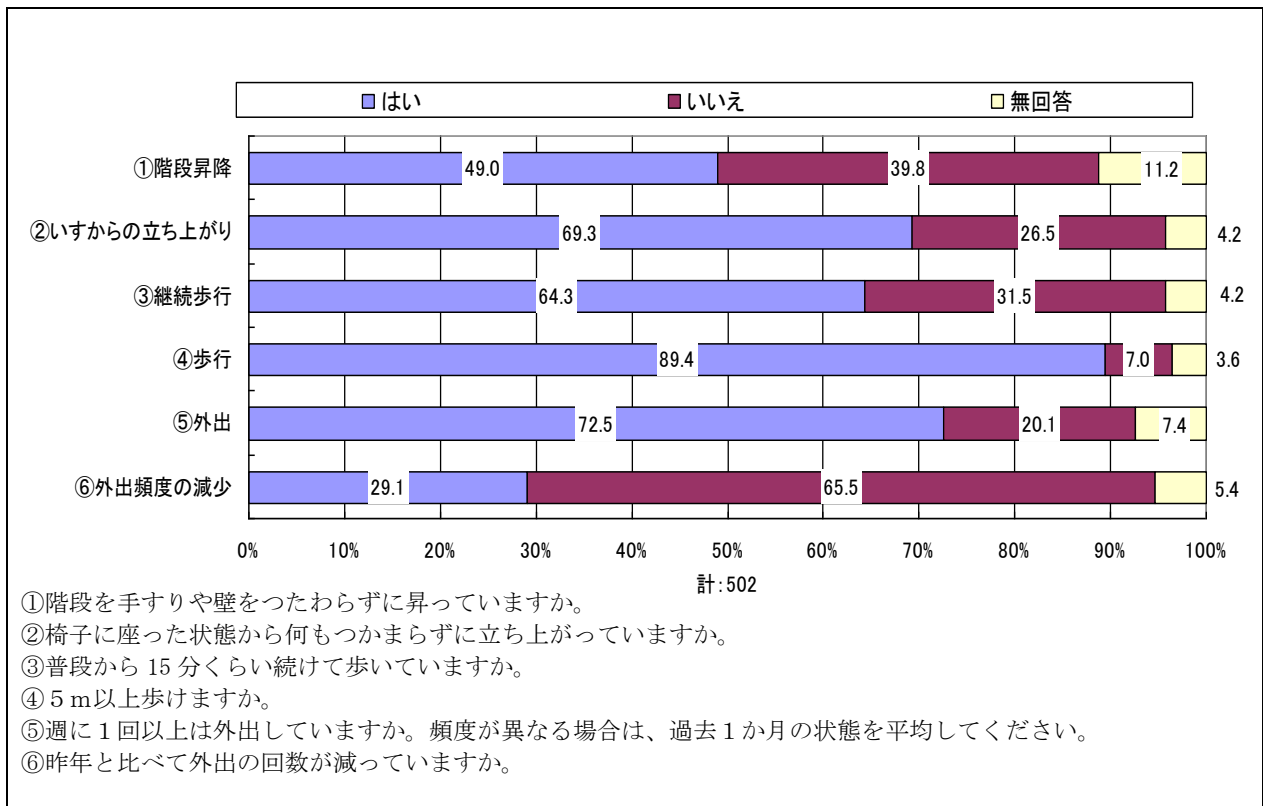
⑧で「1. はい」と答えた方におたずねします。お住まいにエレベーターは設置されていますか。(1つ)



2階以上の建物に住んでいる人にエレベーター設置の有無をたずねたところ、約9割が設置されていません。

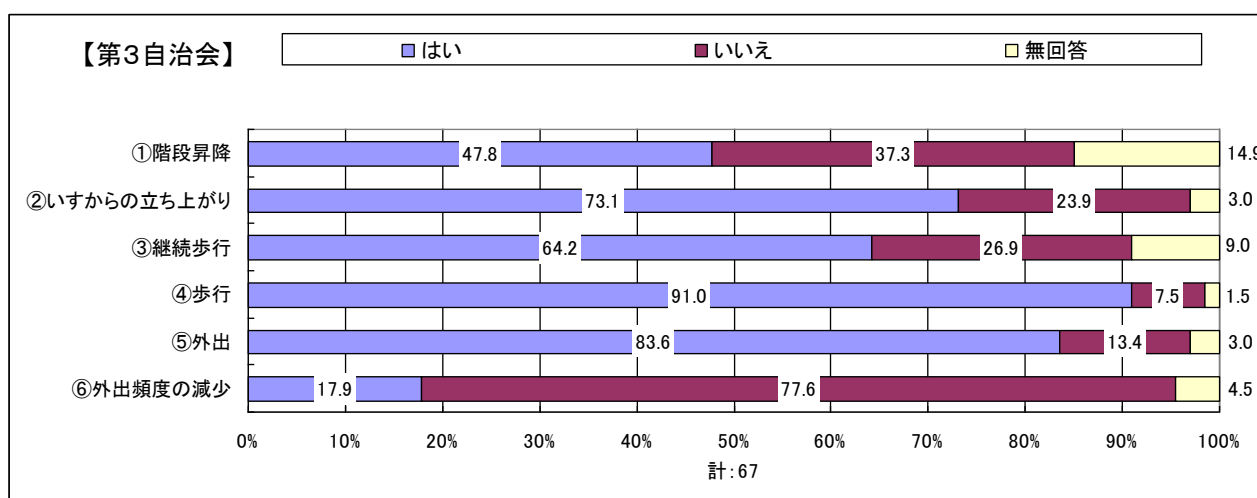
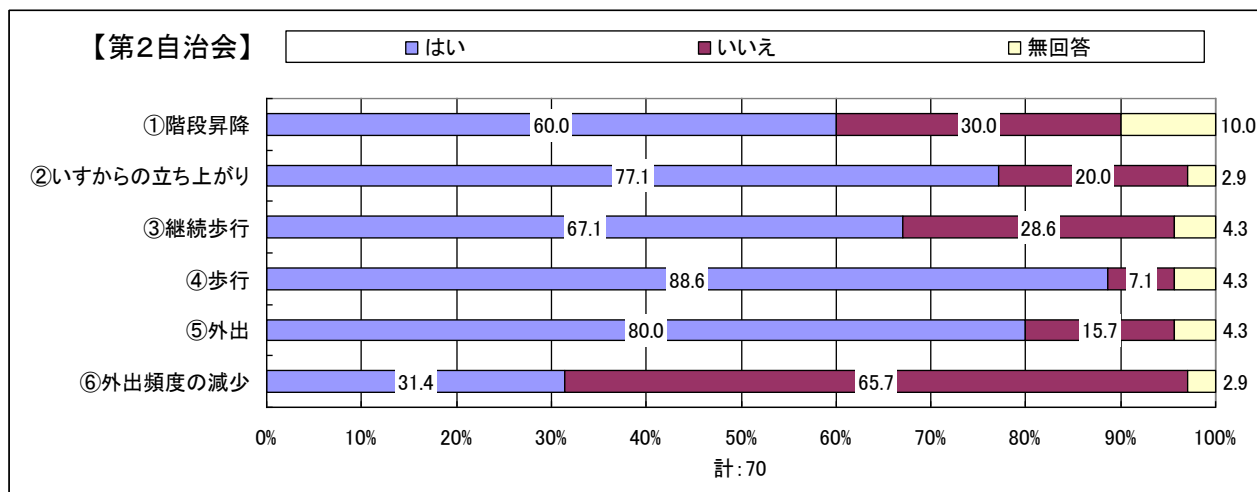
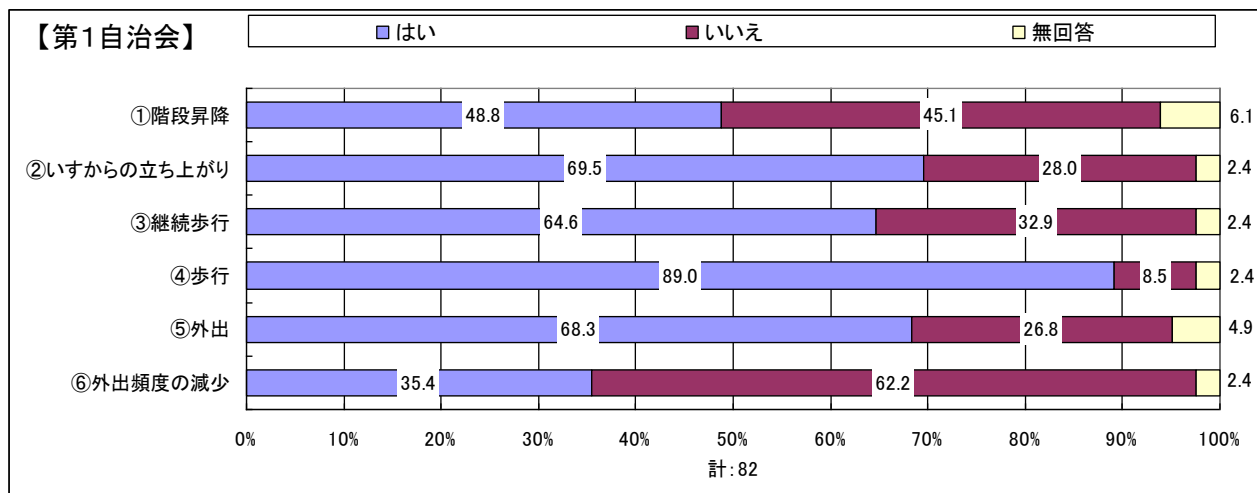
3. 問2 運動や閉じこもりについて

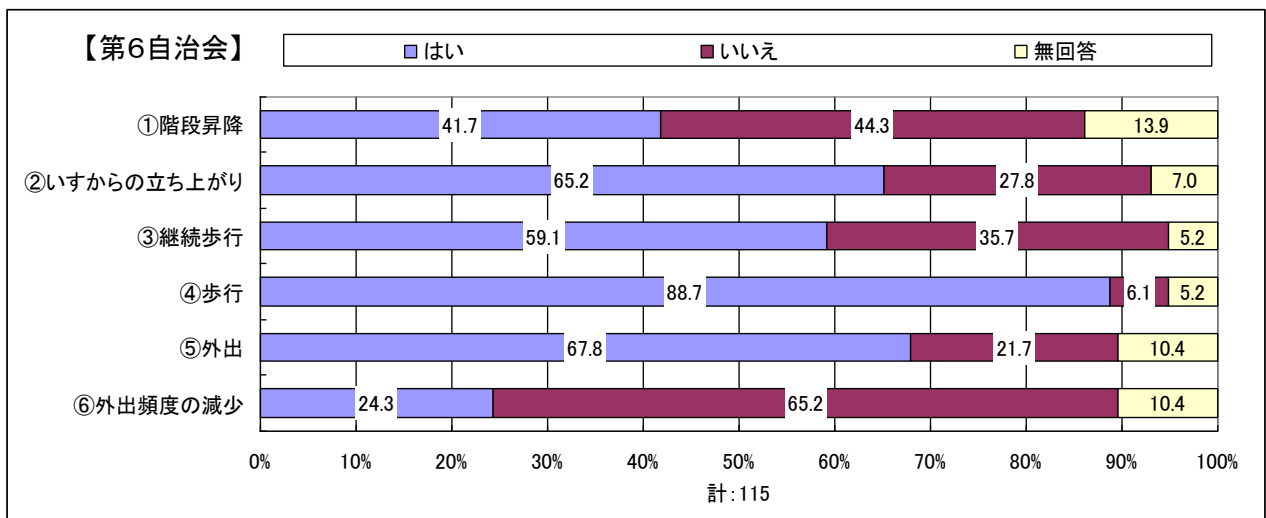
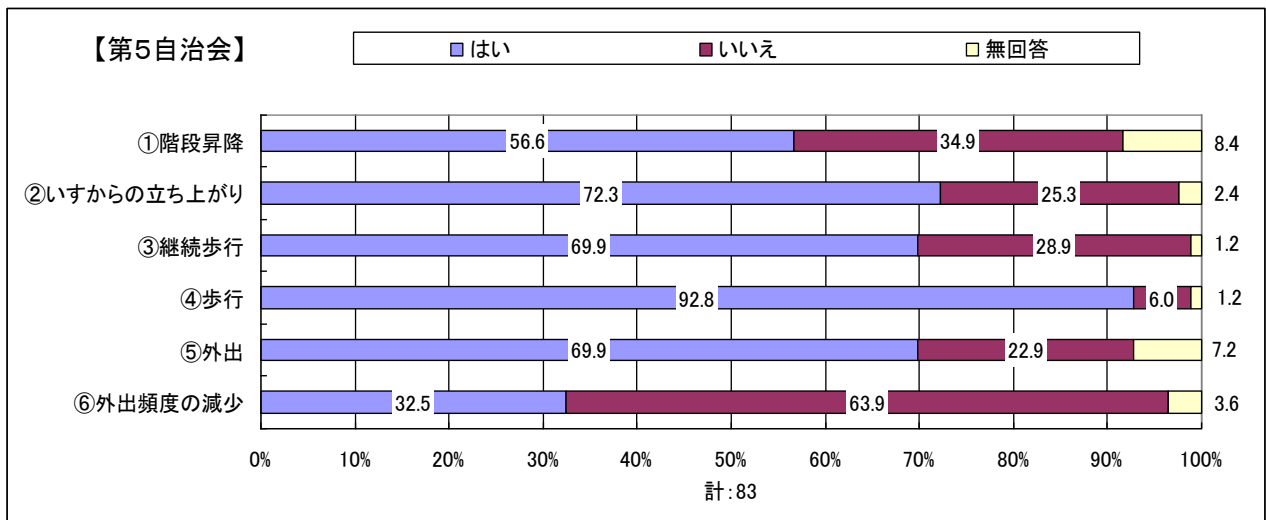
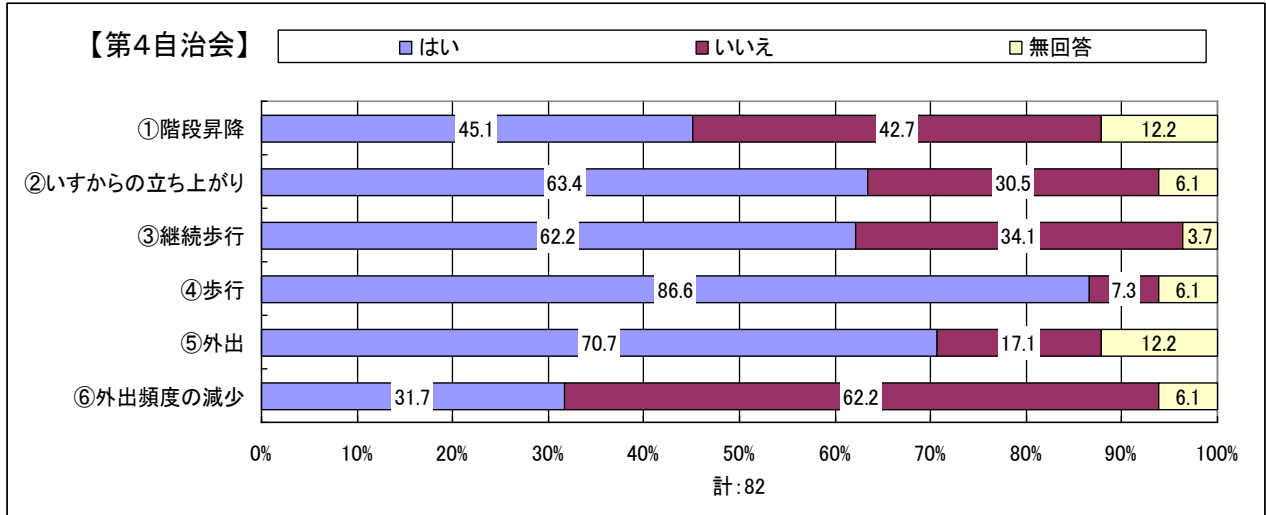
日常の生活動作についてうかがいます。(それぞれ1つ)



日常の生活動作についてみると、「④歩行」では回答者の9割が「はい」と回答し、自立度の高い人が多い一方、「①階段昇降」では「いいえ」の割合が高く、自立度の低い人が比較的多いことがわかります。

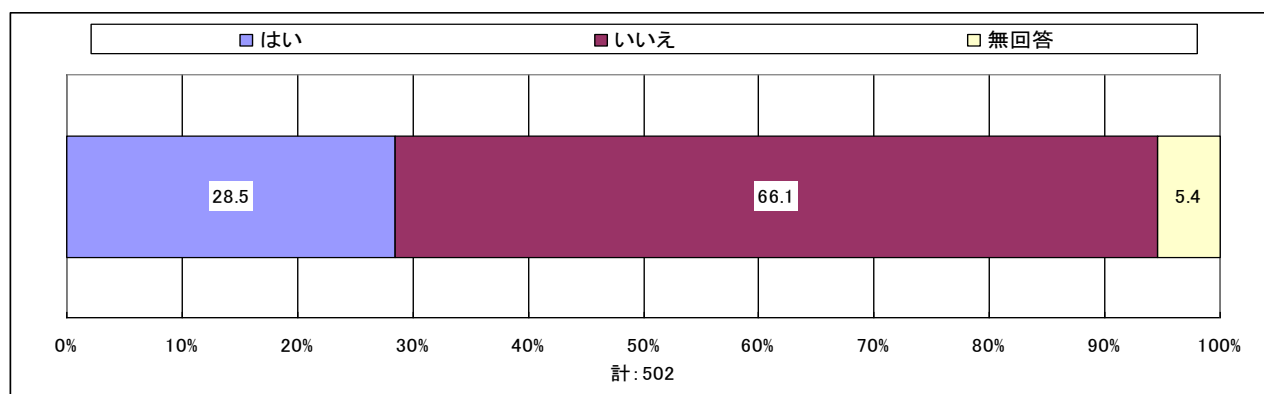
● 自治会別日常の生活動作





⑦ 外出を控えている

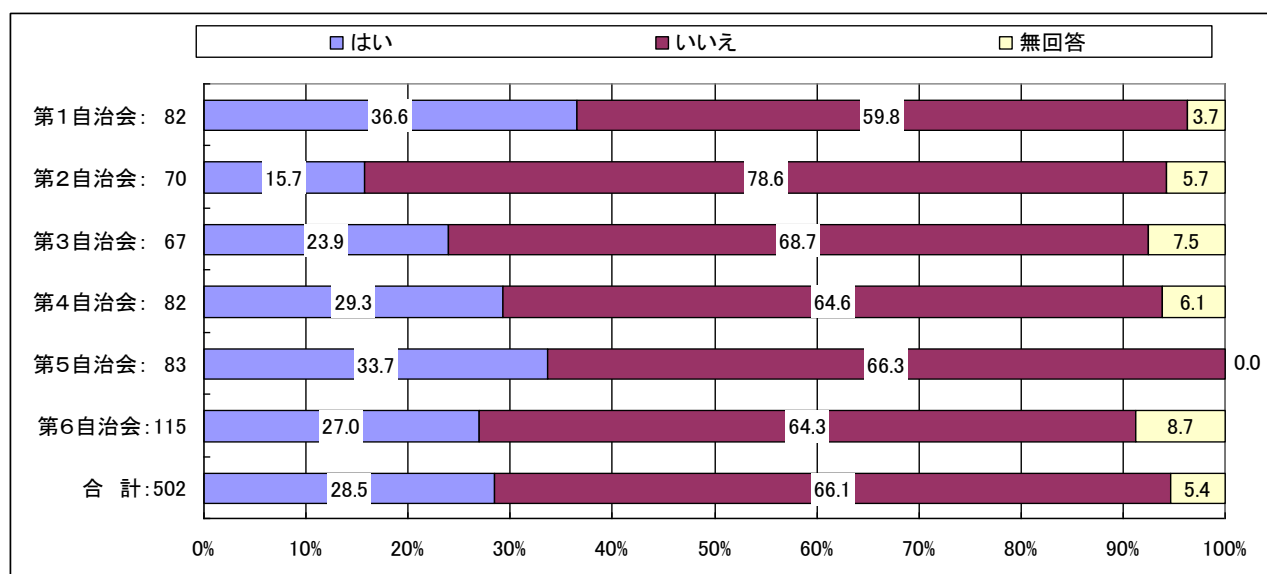
外出を控えていますか。



外出を控えているという人は全体の約3割です。

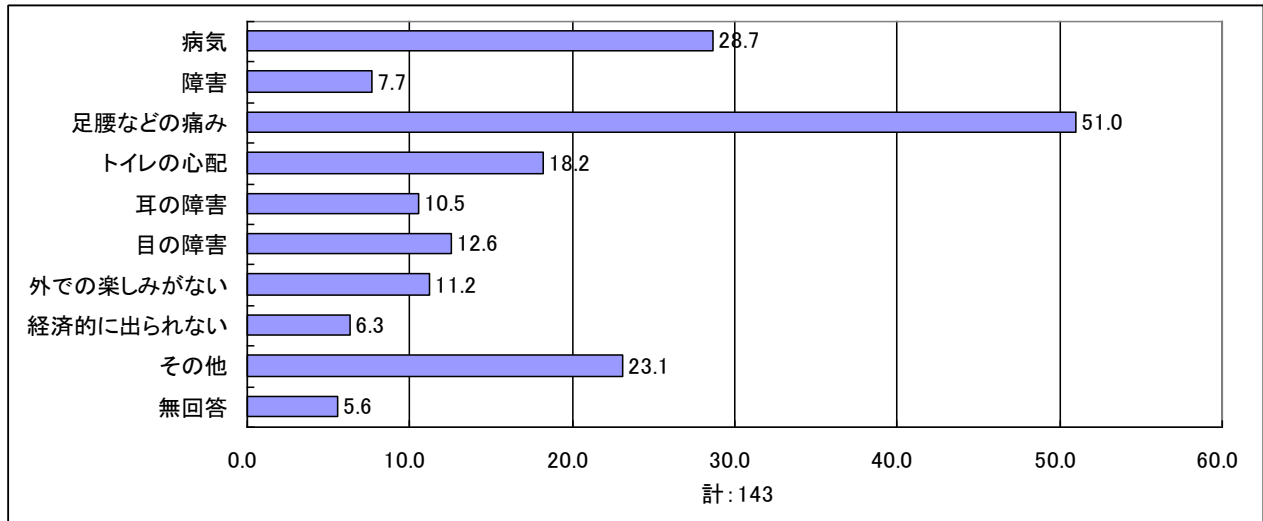
また、自治会別では、第1自治会と第5自治会で外出を控えている人の割合が高くなっていますが、第2自治会では15.7%と低い割合になっています。

●自治会別外出を控えている



⑦-1 外出を控えている理由

⑦で「1. はい」とお答えの方にお聞きします。外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

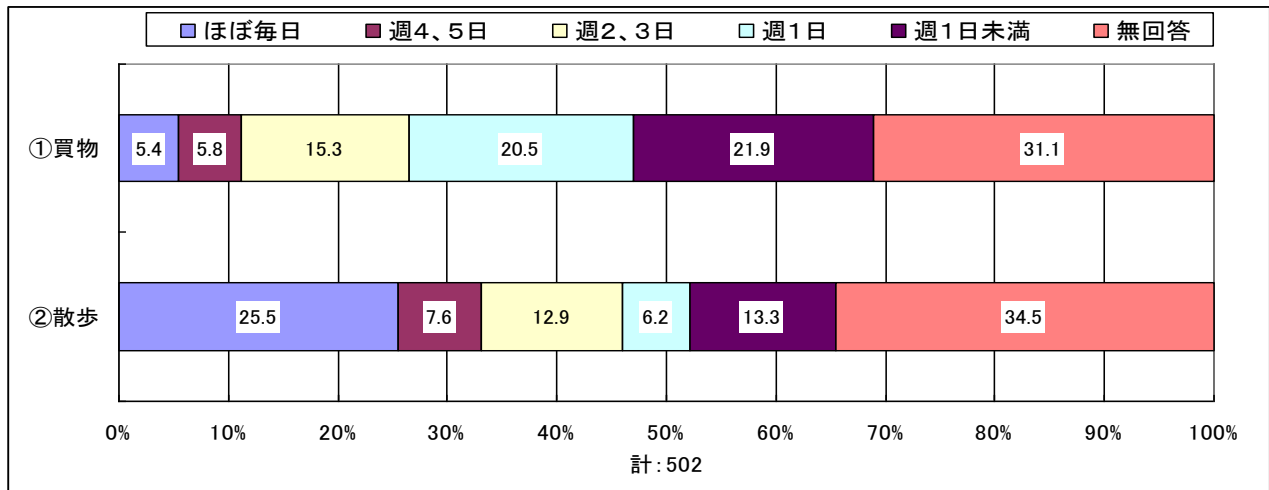


外出を控えている理由としては「足腰などの痛み」が51.0%で最も多くなっています。

また、それ以外では「病気」(28.7%)、「トイレの心配」(18.2%)、「目の障害」(12.6%)などと続いています。その他には「入院・入所中」のほか、「認知症」や「夫の介護」などとなっています。

⑧ 買物・散歩の外出頻度

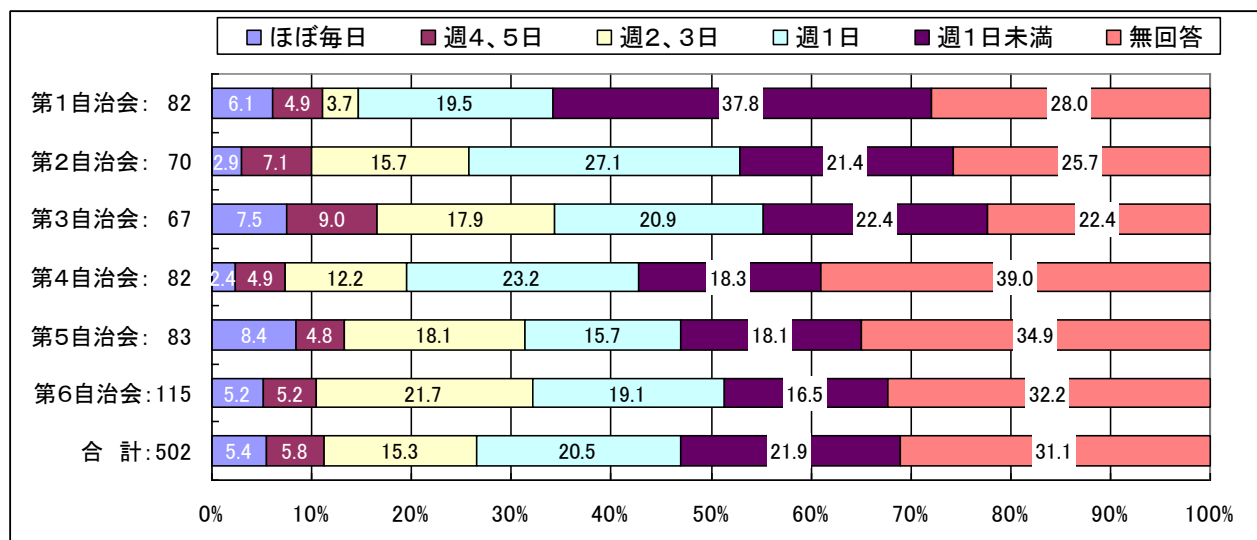
買物や散歩で外出する頻度はどのくらいですか。(それぞれ1つ)



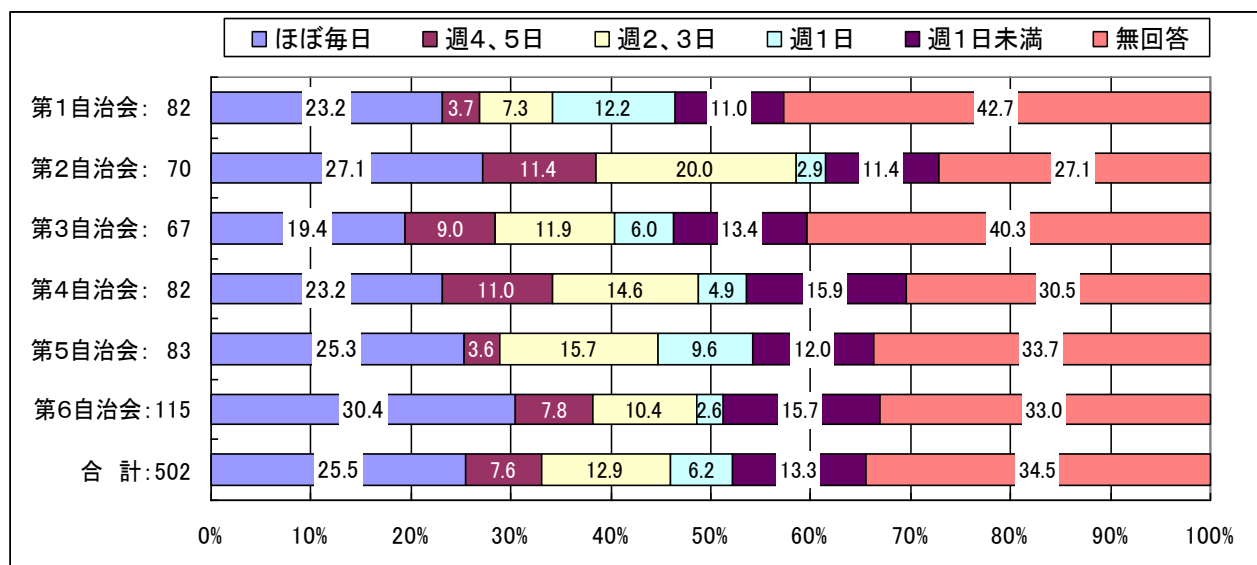
「①買物」では「週1日未満」(21.9%)、「週1日」(20.5%)、「週2、3日」(15.3%)の順、「②散歩」では「ほぼ毎日」(25.5%)、「週1日未満」(13.3%)、「週2、3日」(12.9%)の順となっています。

また、自治会別にみると、買物では、第1自治会で「週1日未満」の割合が高く、外出頻度が低いことがわかります。一方、散歩では、第6自治会で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

●自治会別買物の外出頻度

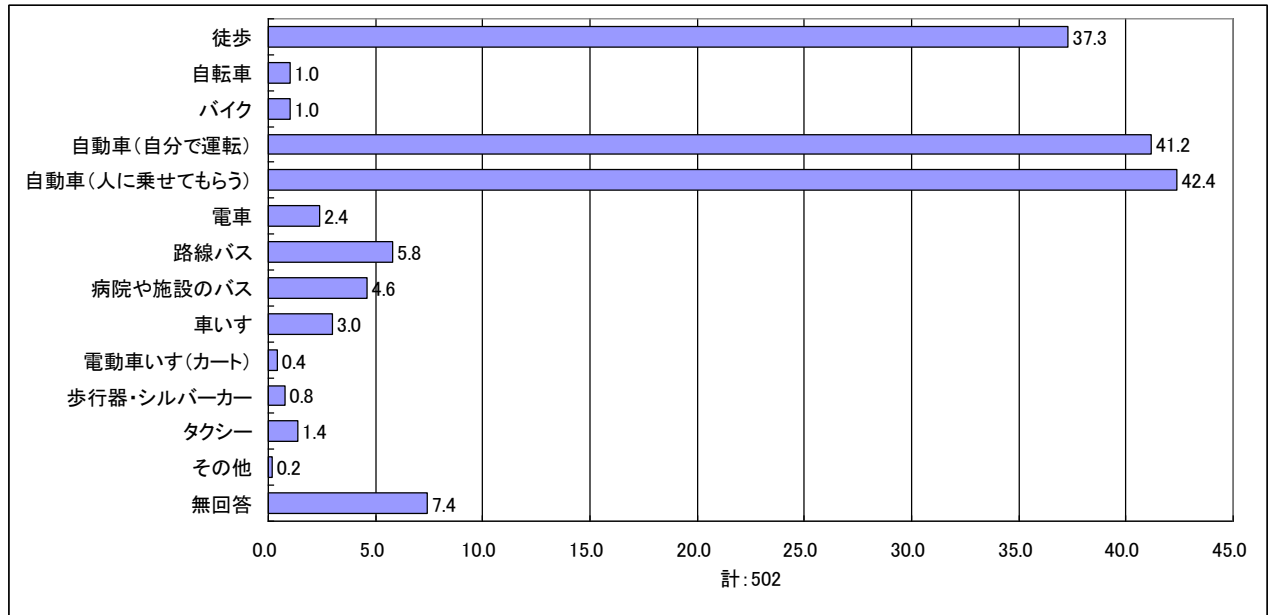


●自治会別散歩の外出頻度



⑨ 外出する際の移動手段

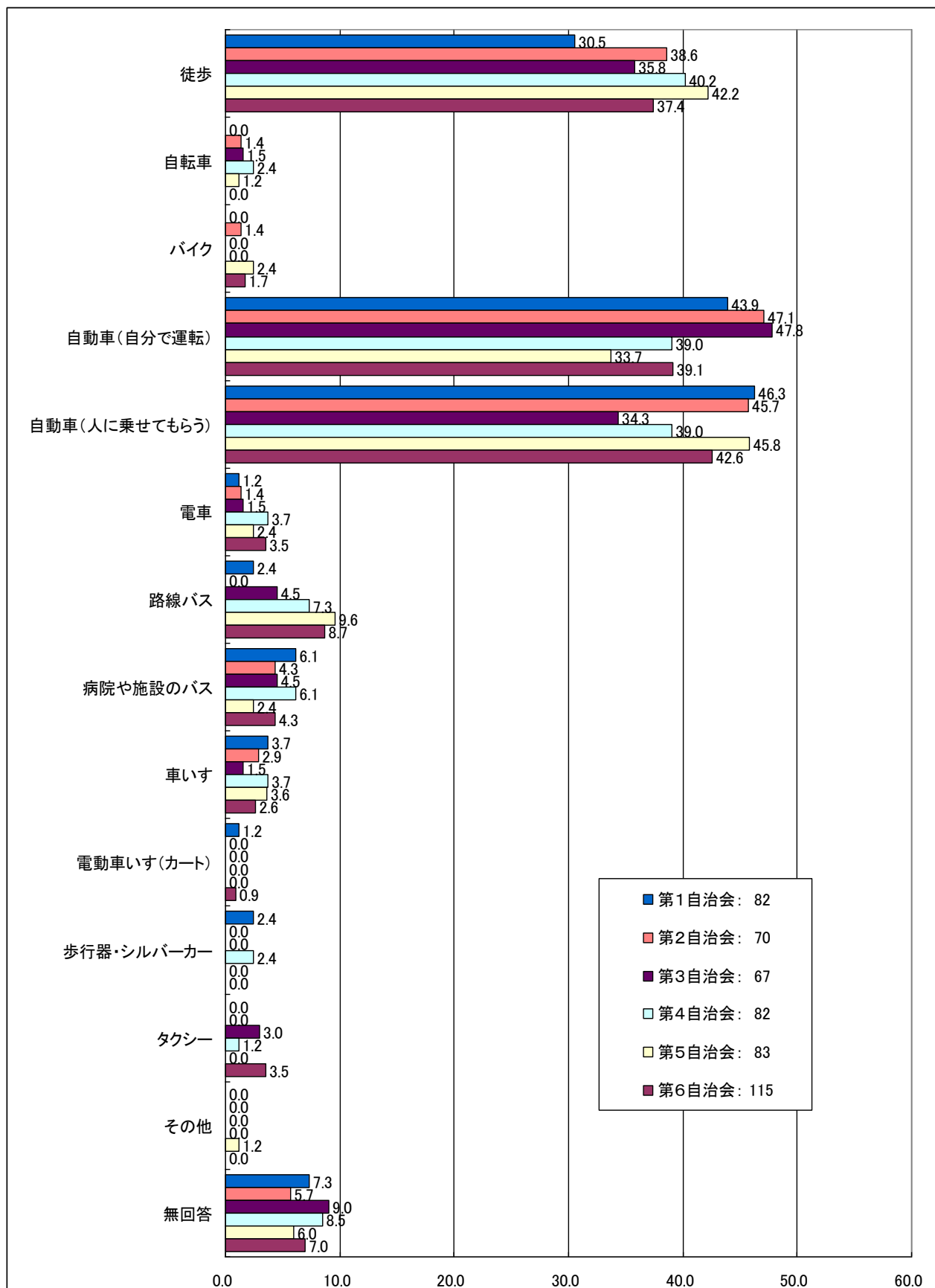
外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)



外出する際の移動手段では、「自動車（人に載せてもらう）」が42.4%と最も多く、次いで「自動車（自分で運転）」(41.2%)、「徒歩」(37.3%)などの順となっています。

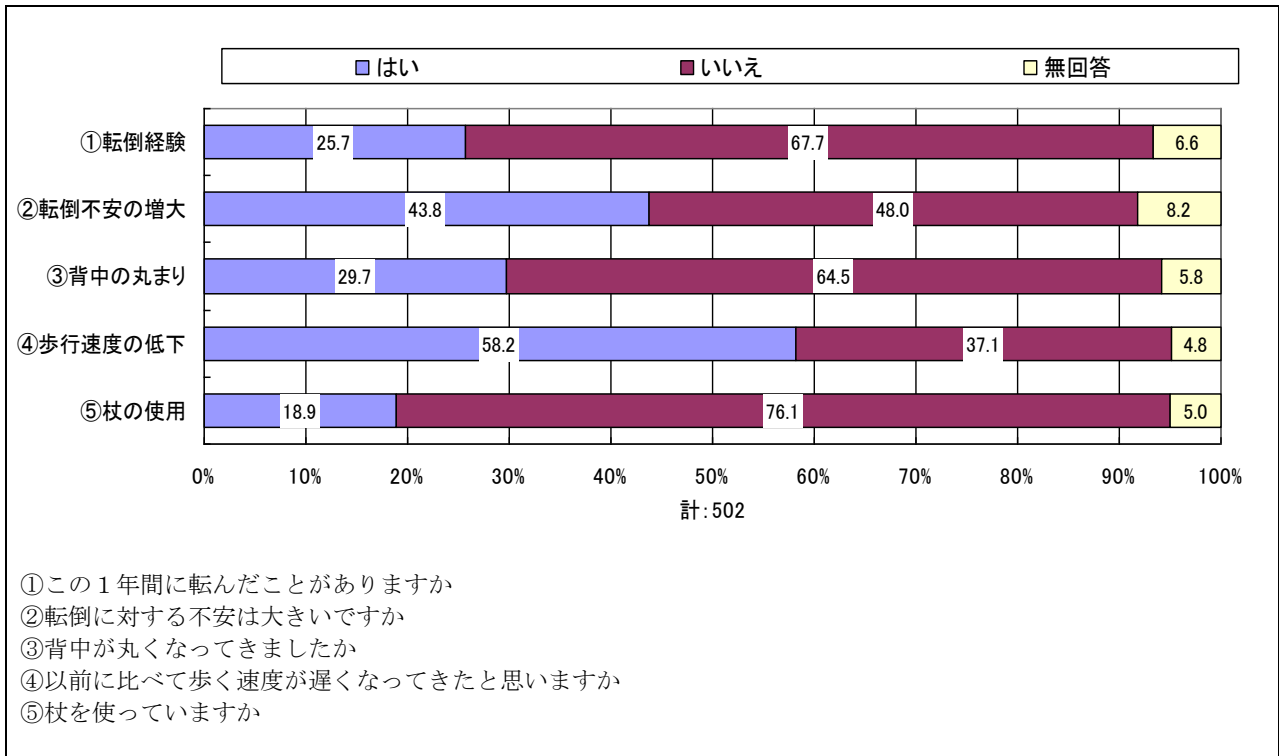
また、自治会別でみると、第3自治会、第4自治会及び第5自治会で「自動車（自分で運転）」の利用が高くなっています。

●自治会別外出する際の移動手段



4. 問3 転倒予防について

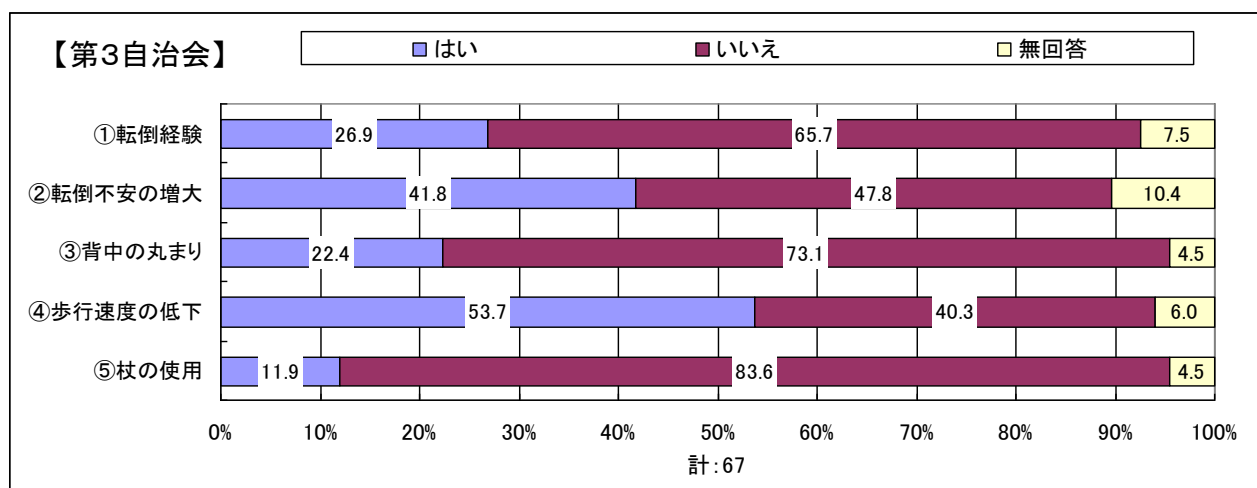
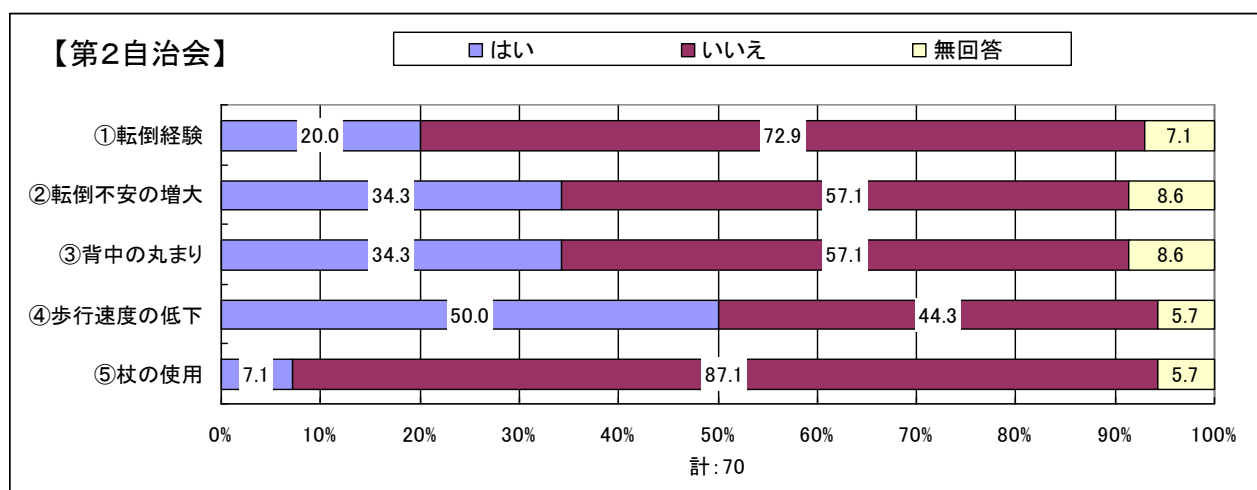
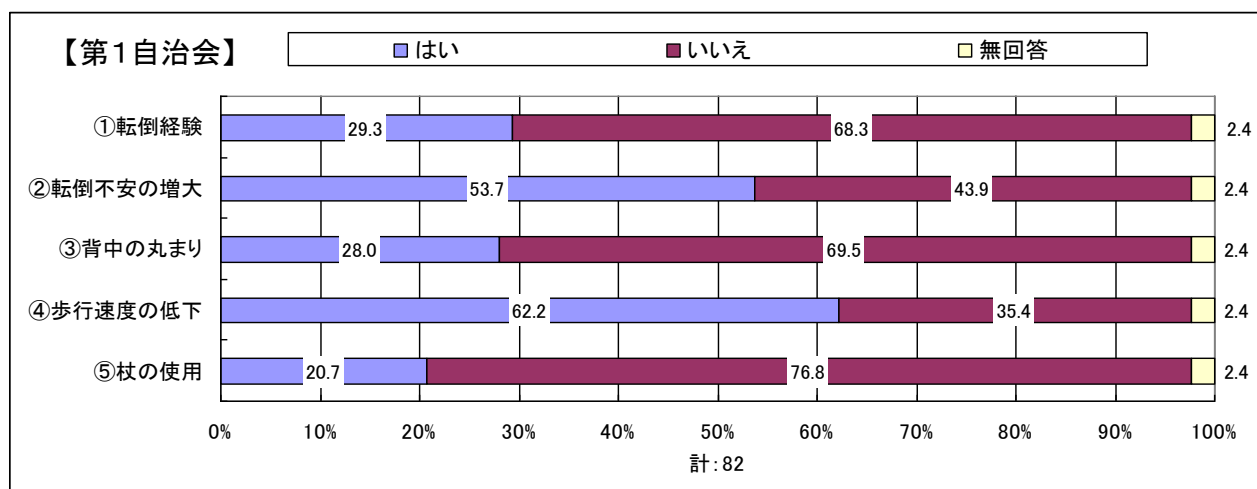
転倒予防についてうかがいます。(それぞれ1つ)

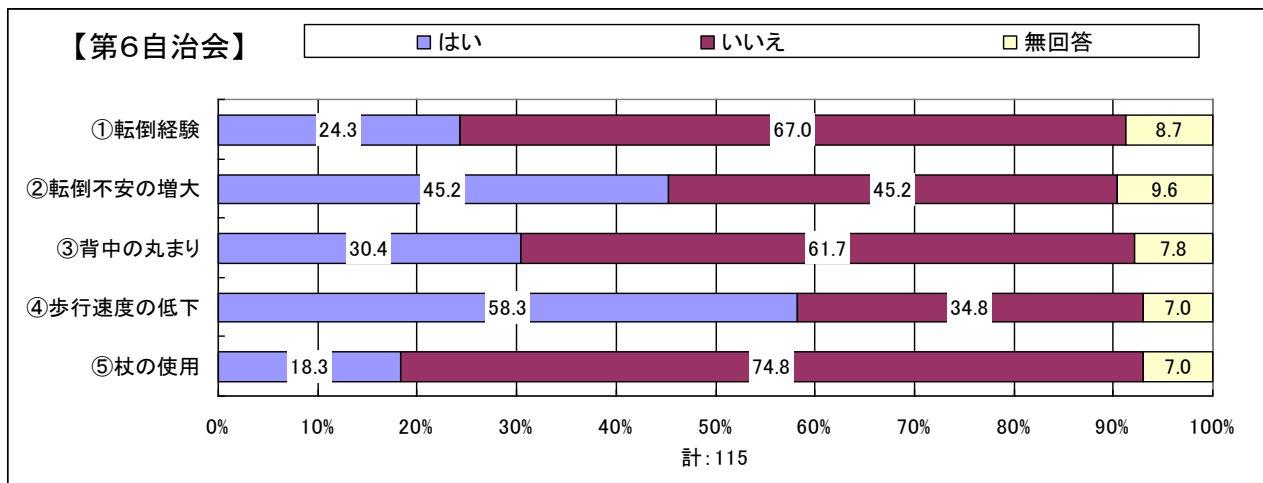
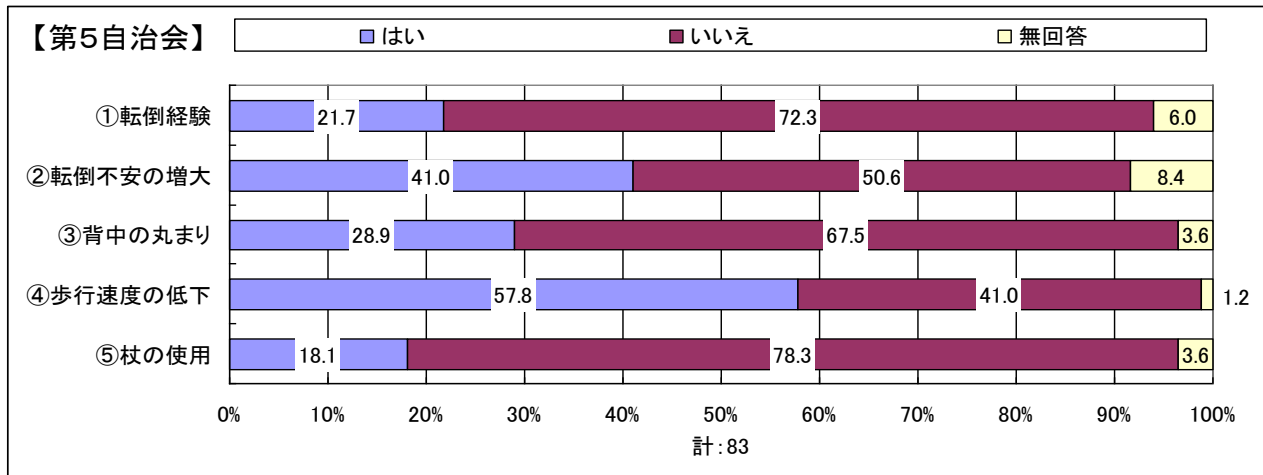
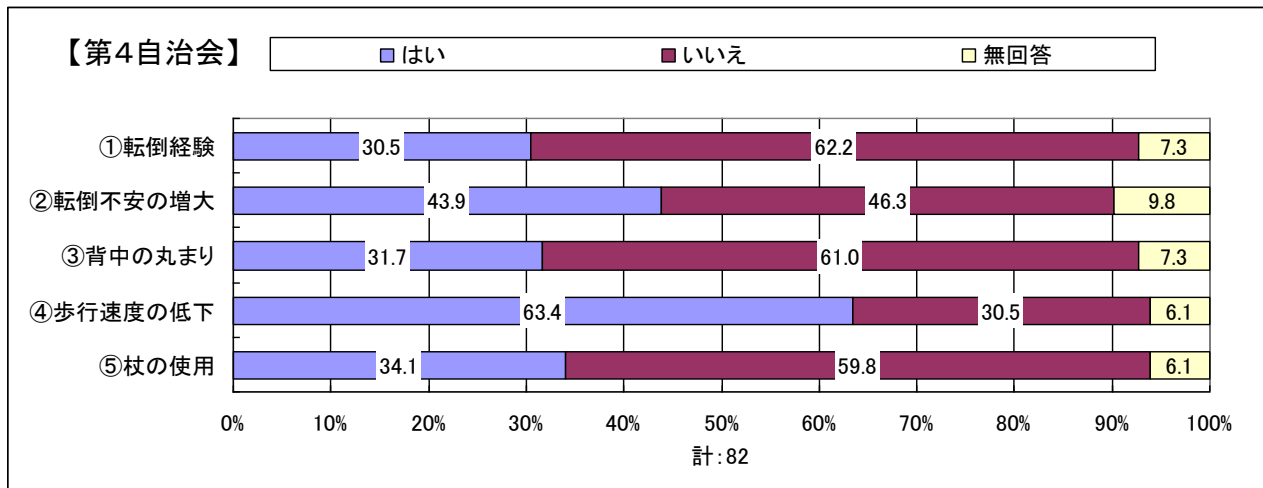


転倒に関する質問では、「④歩行速度の低下」で「はい」と回答した人が58.2%と多くなっており、以前と比べて歩く速度が遅くなってきたと感じている人が多いことがわかります。

反対に、「⑤杖の使用」や「①転倒経験」では「はい」の割合がそれぞれ18.9%、25.7%となっています。

●自治会別転倒予防



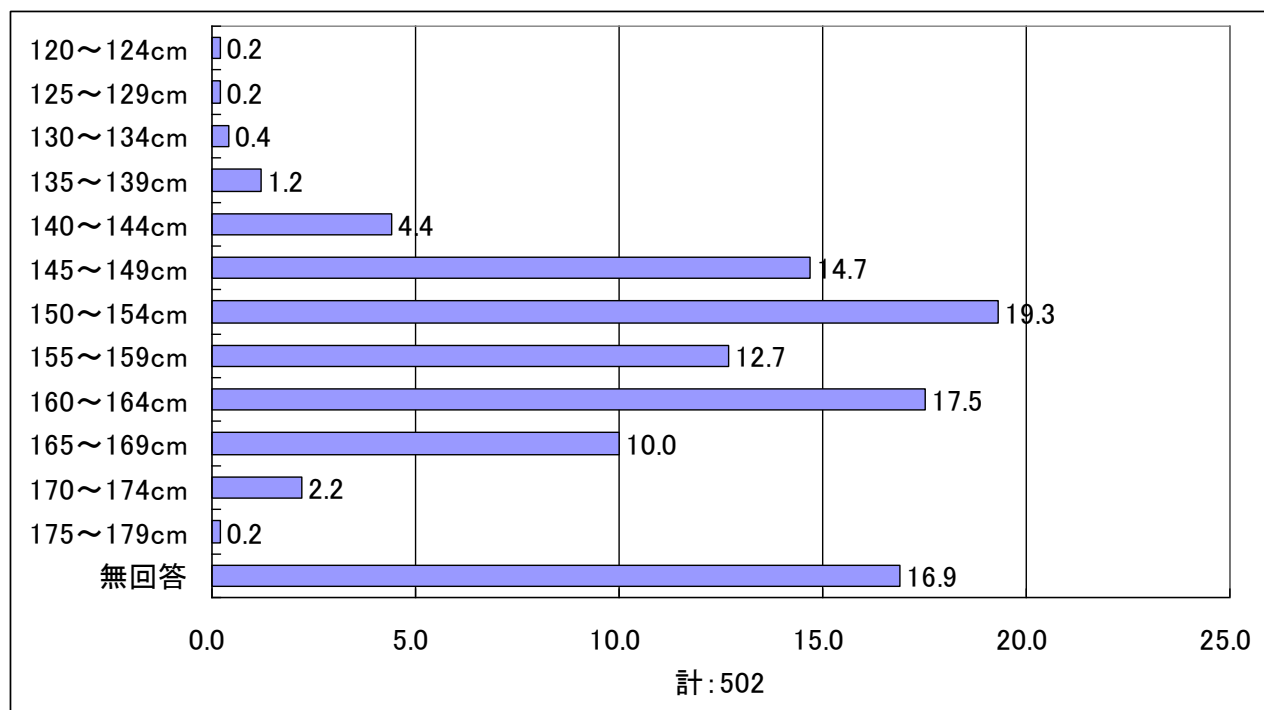


5. 問4 口腔・栄養について

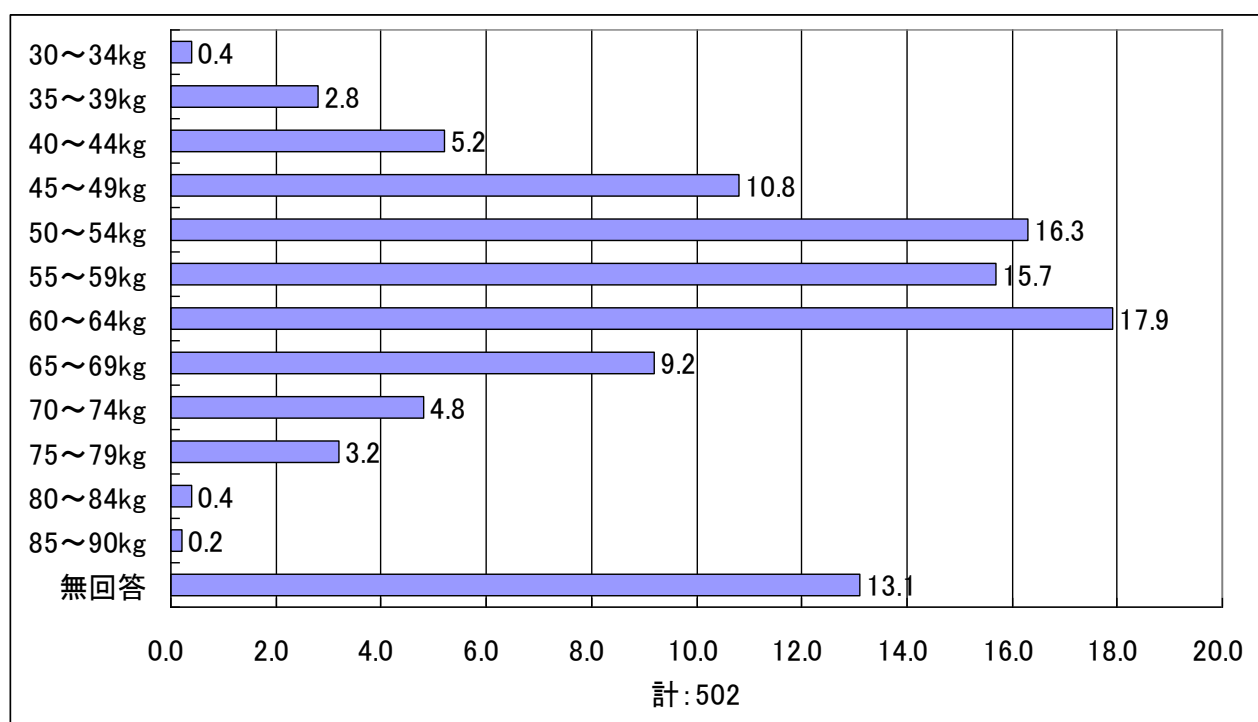
② 身長・体重・BMI

あて名ご本人の身長、体重をお答えください。

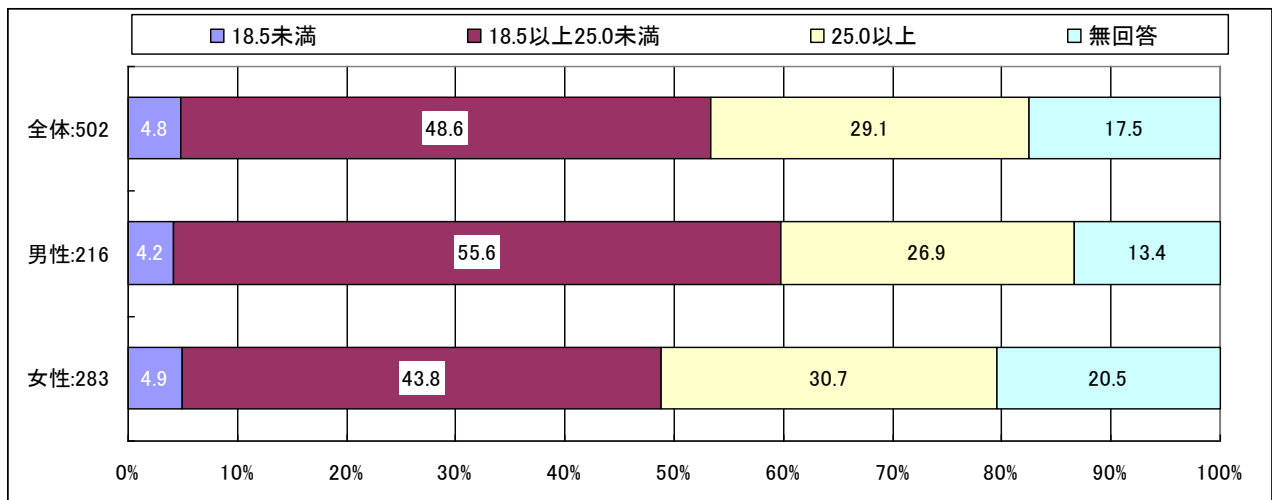
【身長】



【体重】



【BMI】

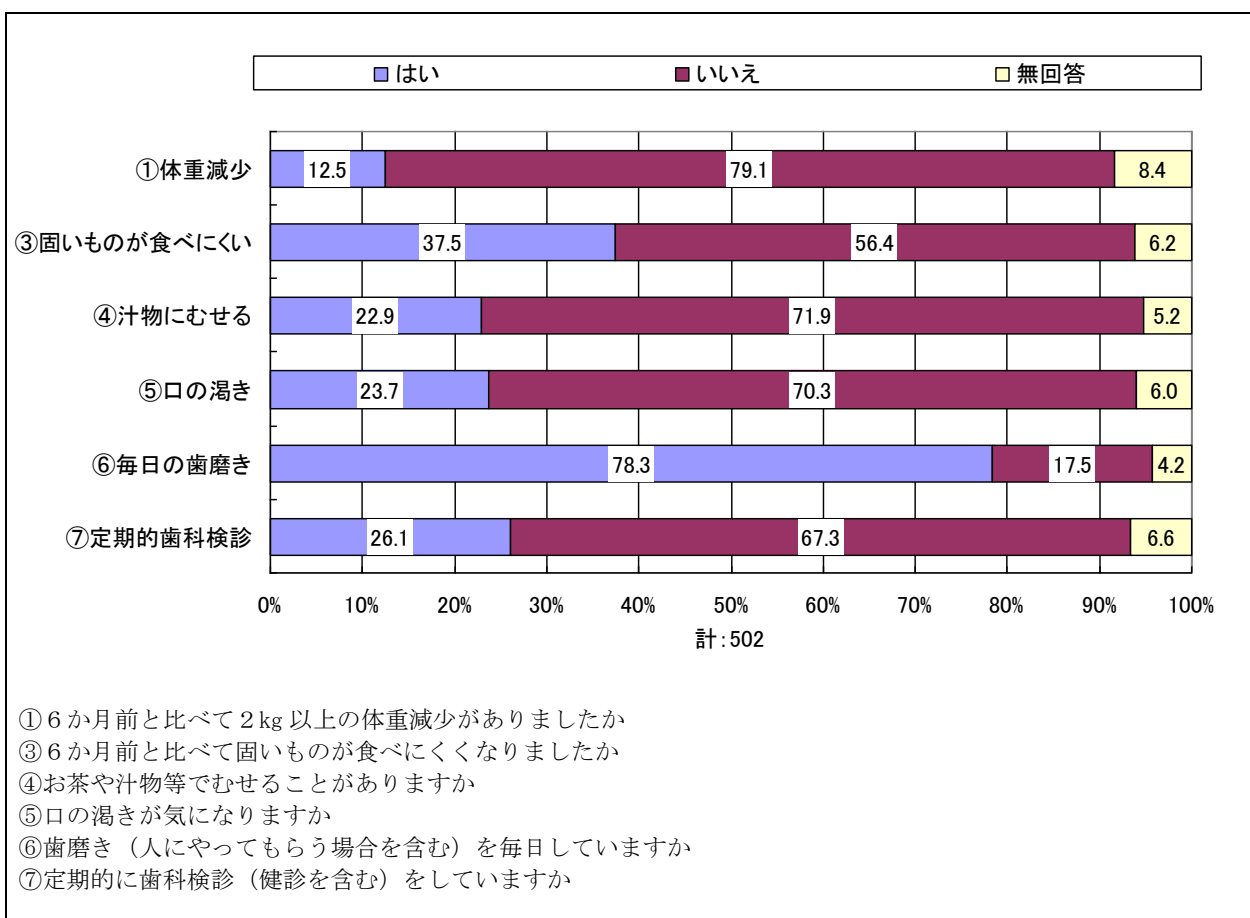


身長では「150～154 cm」が 19.3%で最も多く、最小 120 cmから最大 175 cmまでの回答となっています。

体重では「60～64 kg」が 17.9%で最も多く、最小 32 kgから最大 85 kgまでの回答となっています。

また、身長と体重から算出したBMI (Body Mass Index)では、18.5以上25.0未満が約5割を占めており、「肥満」にあたる25.0以上は29.1%、「低体重」にあたる18.5未満は4.8%となっています。BMIの男女別では、女性に「肥満」の割合が高いことがわかります。

口腔・栄養についてうかがいます。(それぞれ1つ)

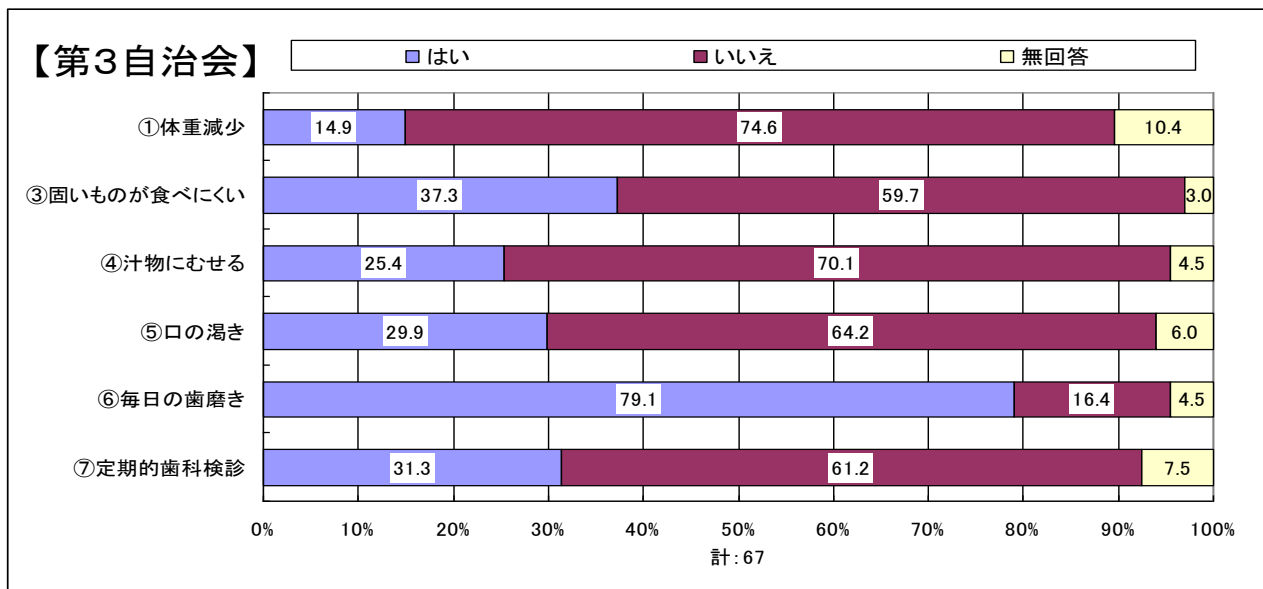
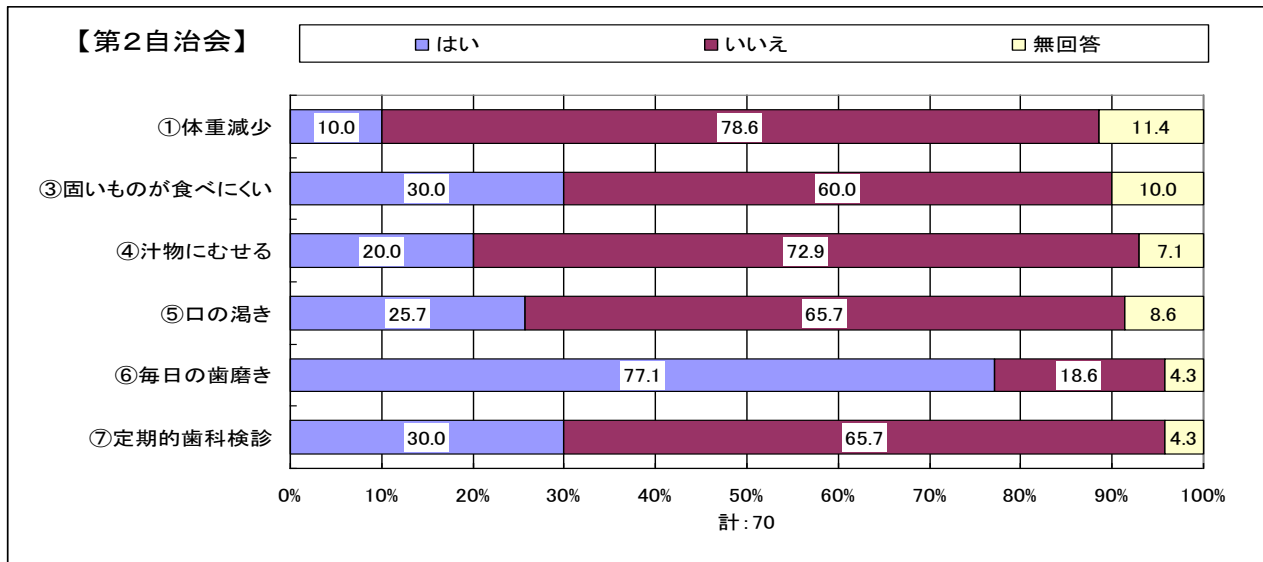
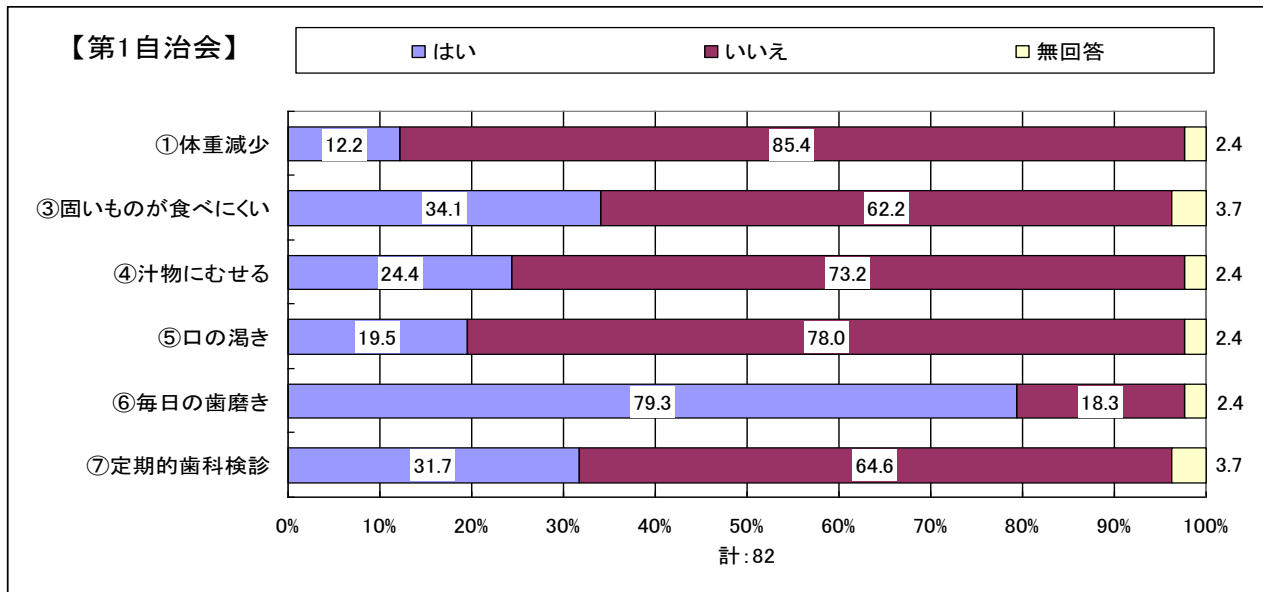


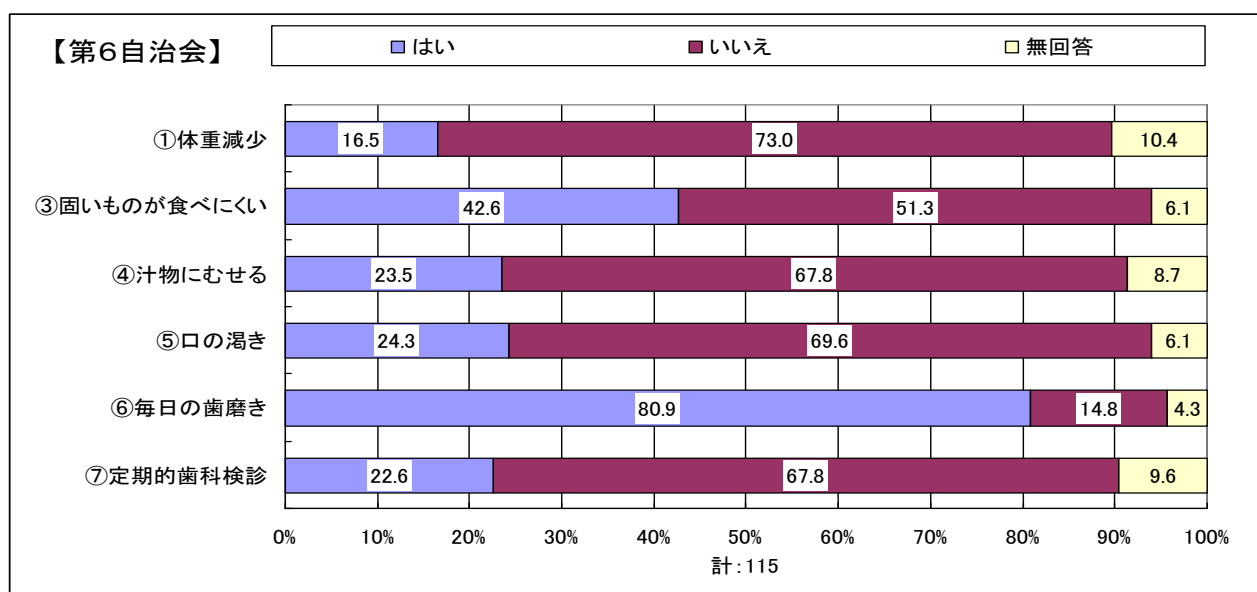
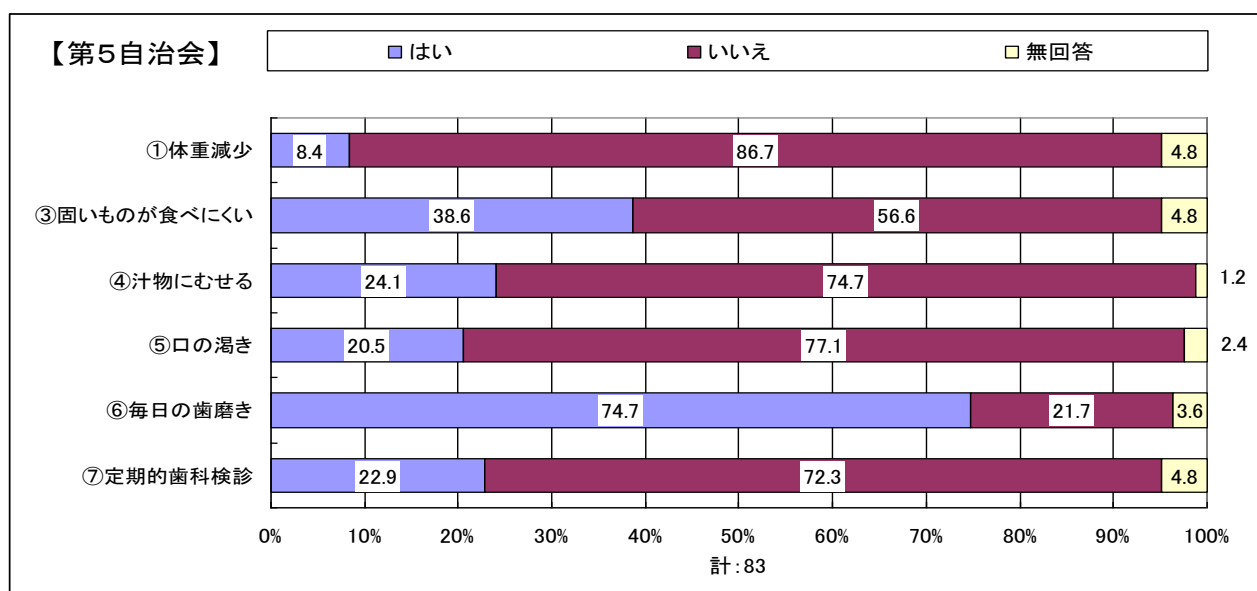
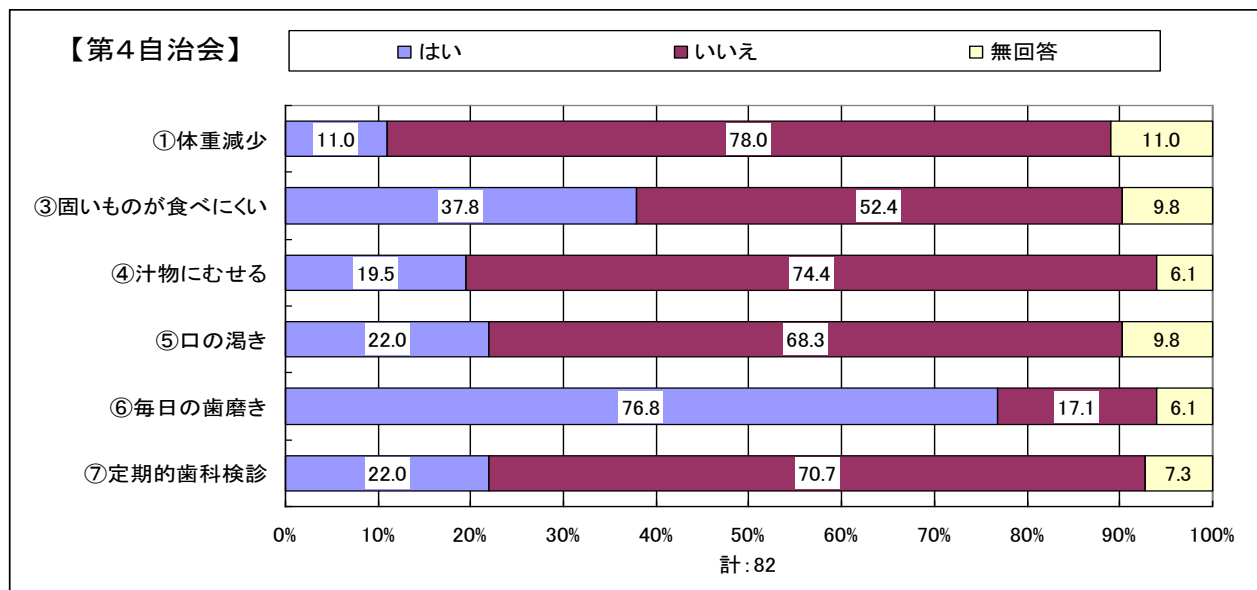
口腔や栄養に関する質問では、「⑤毎日歯磨き」で「はい」と回答した人が78.3%を占めており、多くの人々が毎日歯磨きをする習慣をもっていることがわかります。

また、「③固いものが食べにくい」や「⑤口の渇き」などで「はい」と回答した人はそれぞれ37.5%、23.7%あり、口腔機能の低下がみられる人も少なからず現れています。

自治会別による大きな差はみられません。

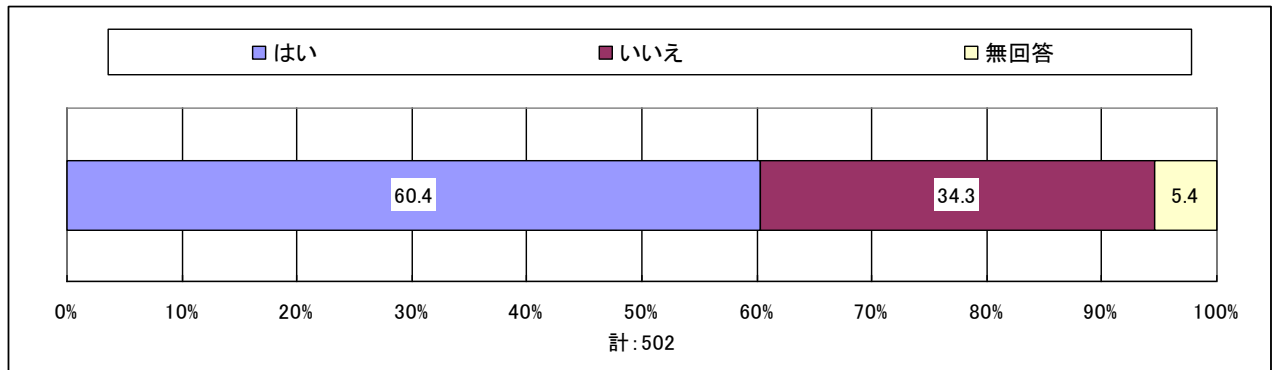
●自治会別口腔・栄養





⑧ 入れ歯の使用

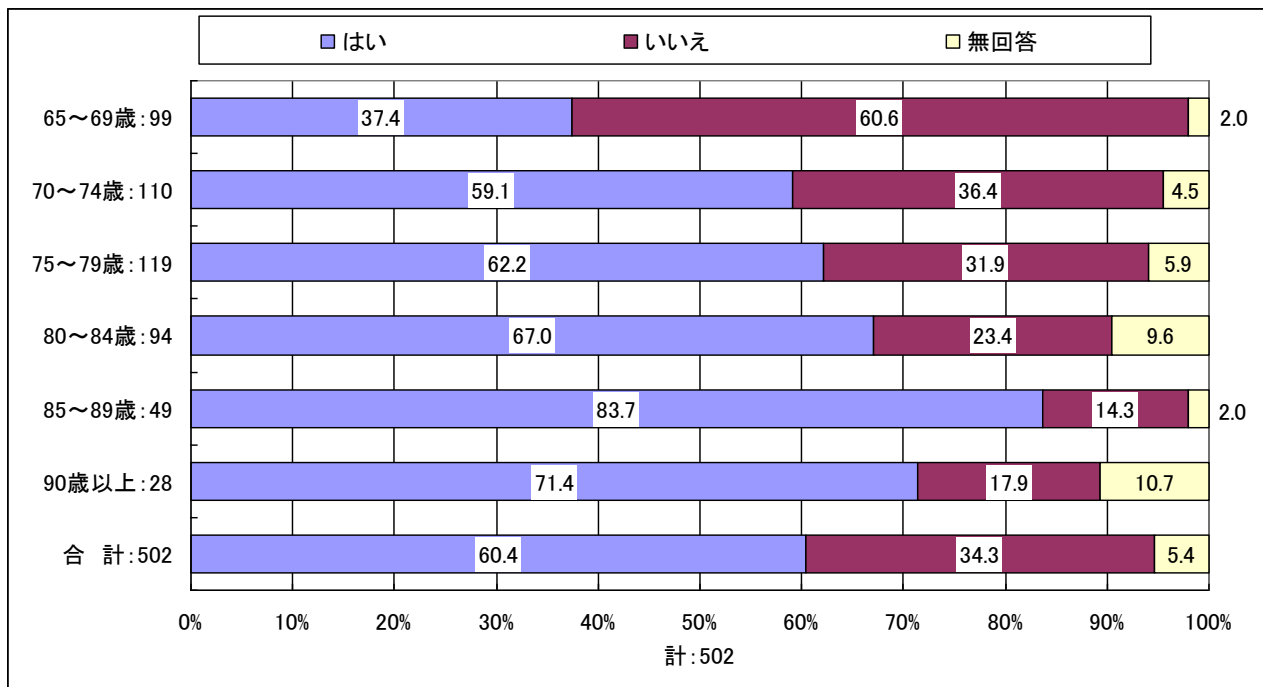
入れ歯を使用していますか。(1つ)



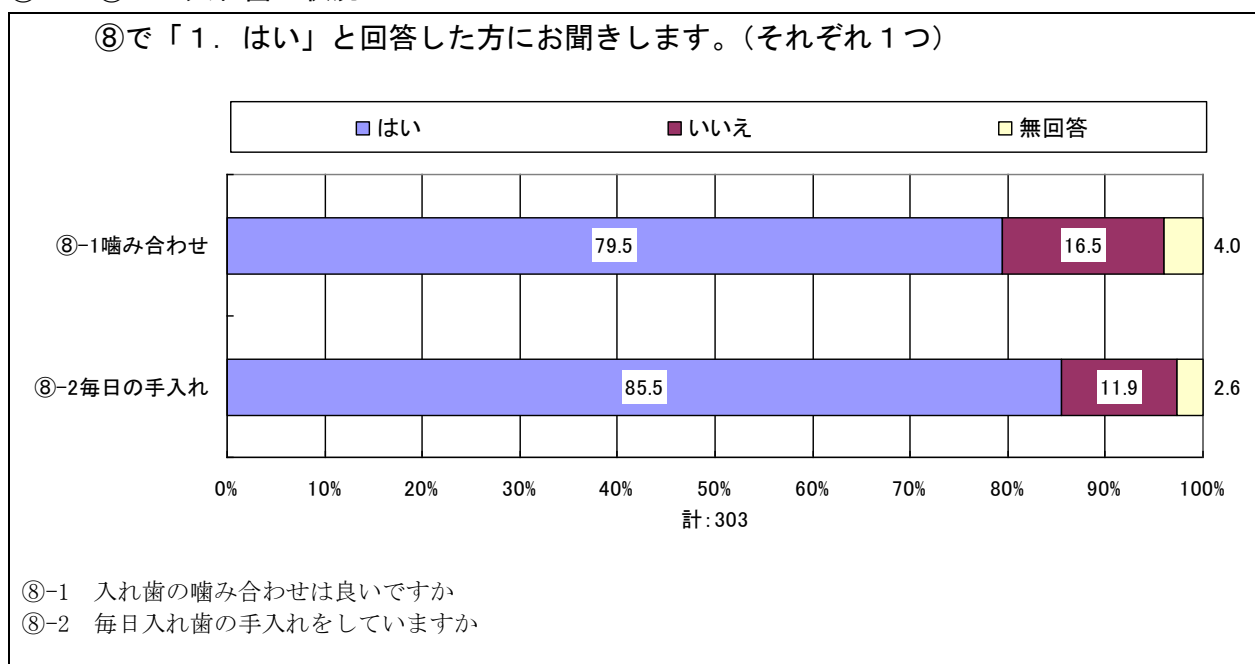
入れ歯を使用している人は60.4%です。

また、年齢別にみると、年齢が高くなるに連れて入れ歯を使用している割合も増加し、85～89歳では、8割以上の方が入れ歯を使用していることがわかります。

●年齢別入れ歯の使用



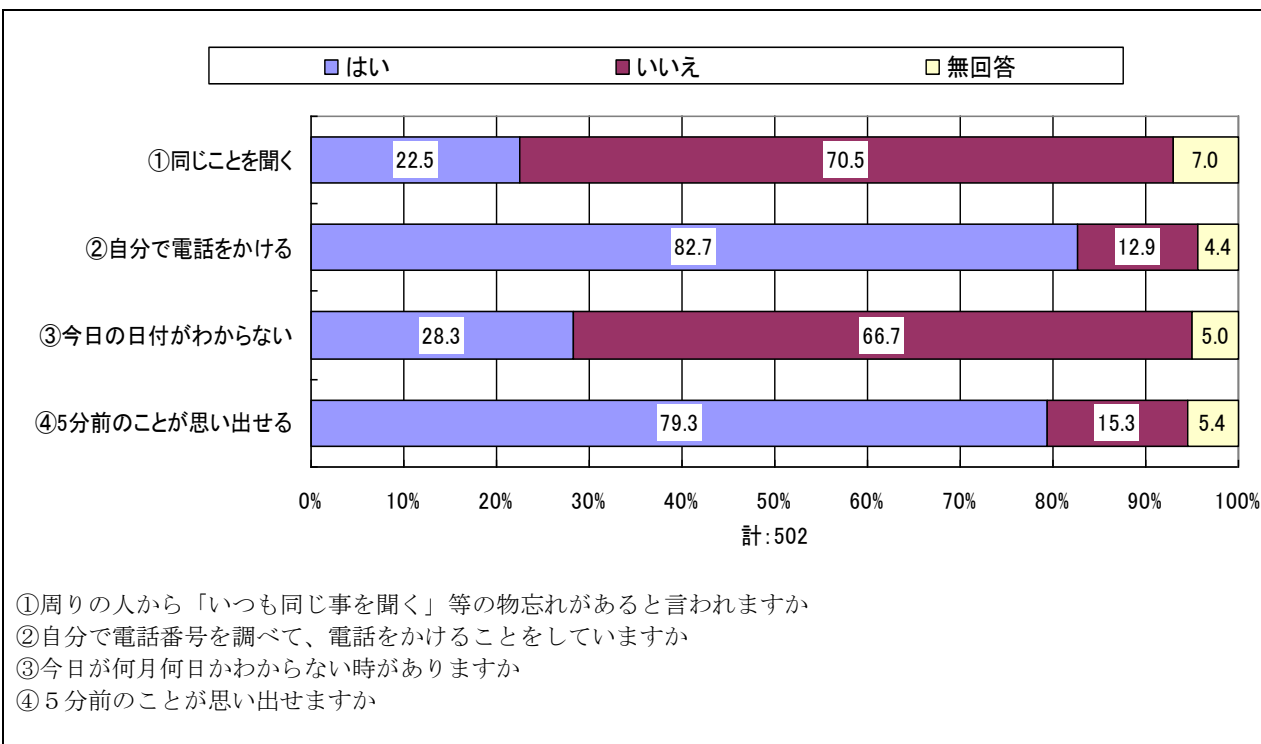
⑧-1 ⑧-2 入れ歯の状況



入れ歯を使用している人に、入れ歯の使用状況についてたずねたところ、「⑧-1 噛み合わせ」では79.5%が噛み合わせは良いと回答し、「⑧-2 毎日の手入れ」では85.5%の人が毎日入れ歯を手入れしていると回答しています。

6. 問5 物忘れについて

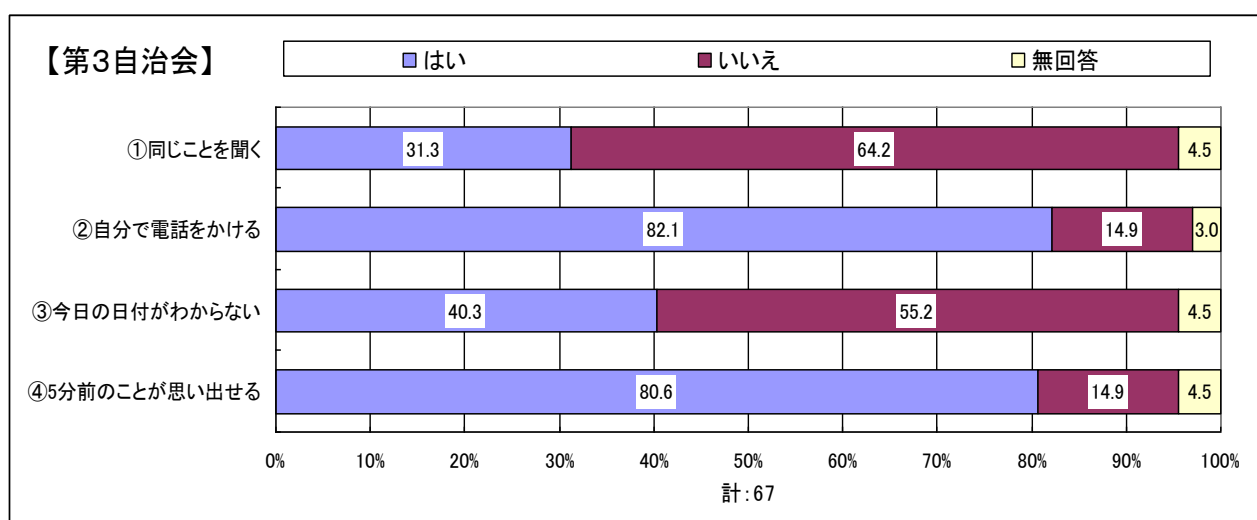
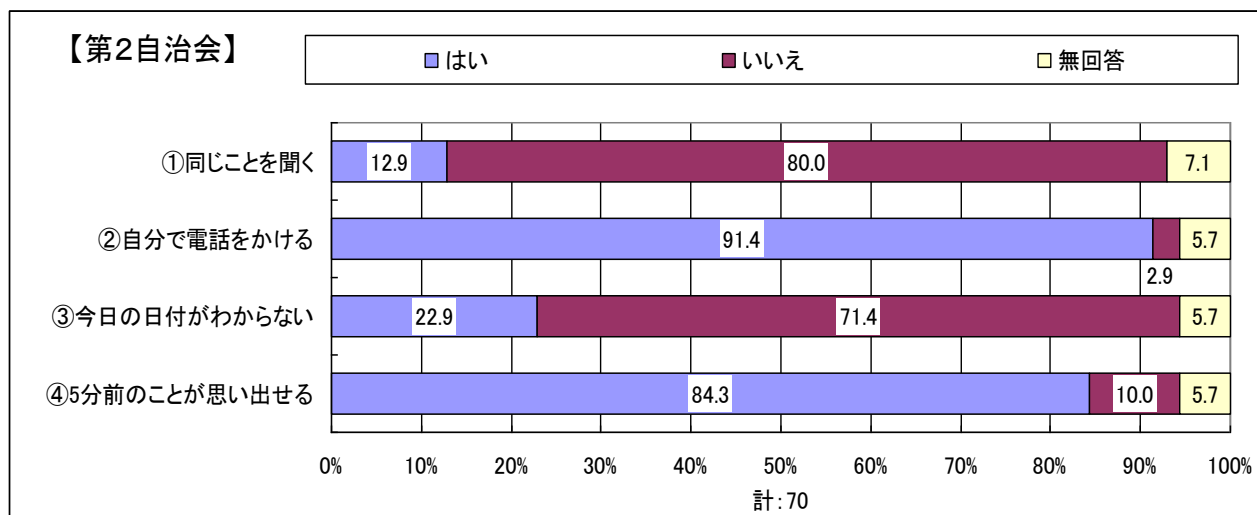
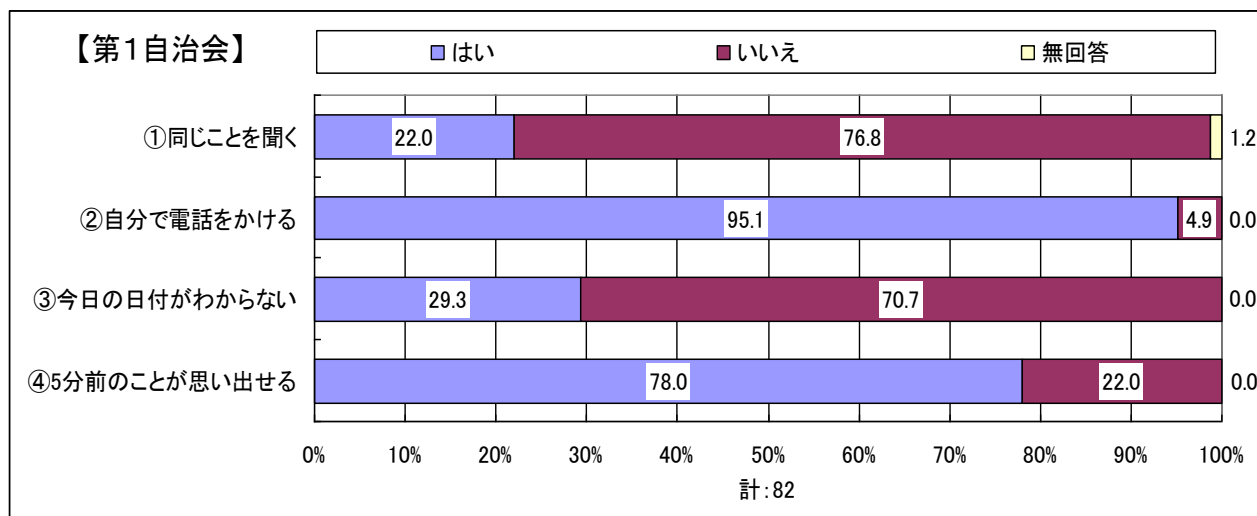
あなたの物忘れの状況についてお答えください。(それぞれ1つ)

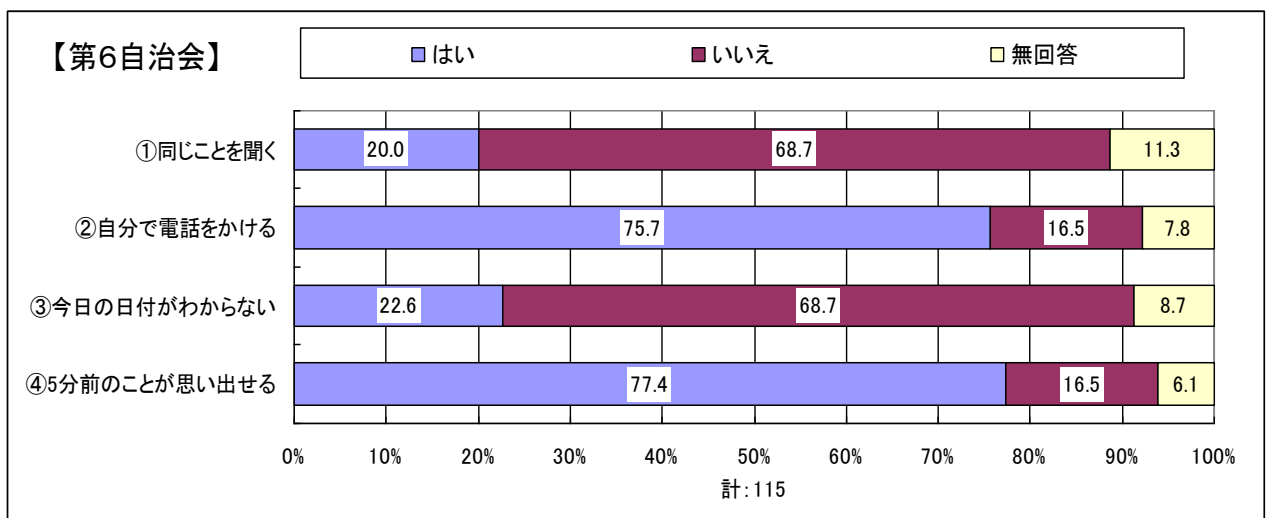
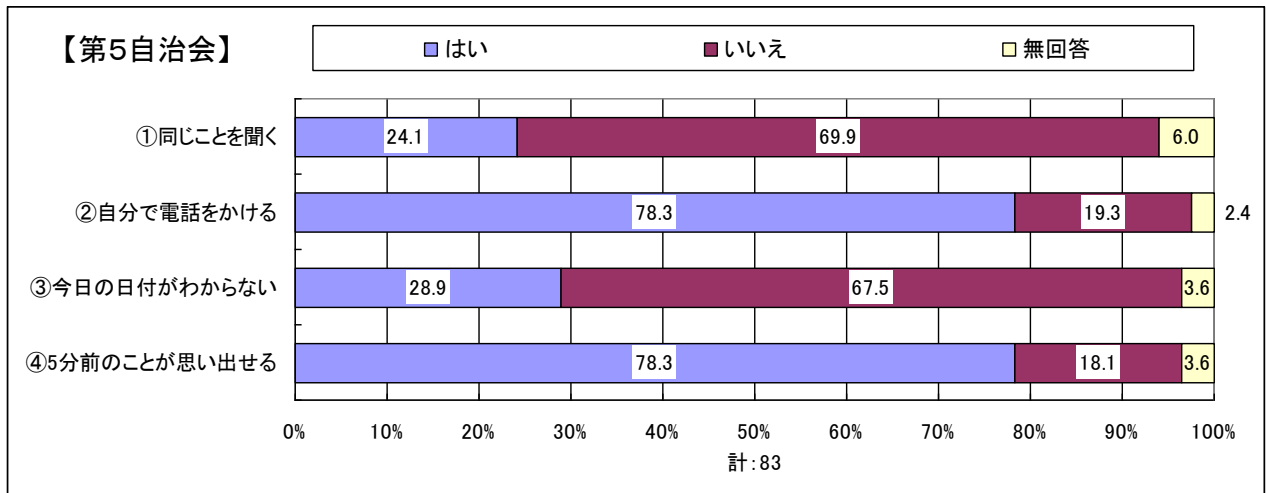
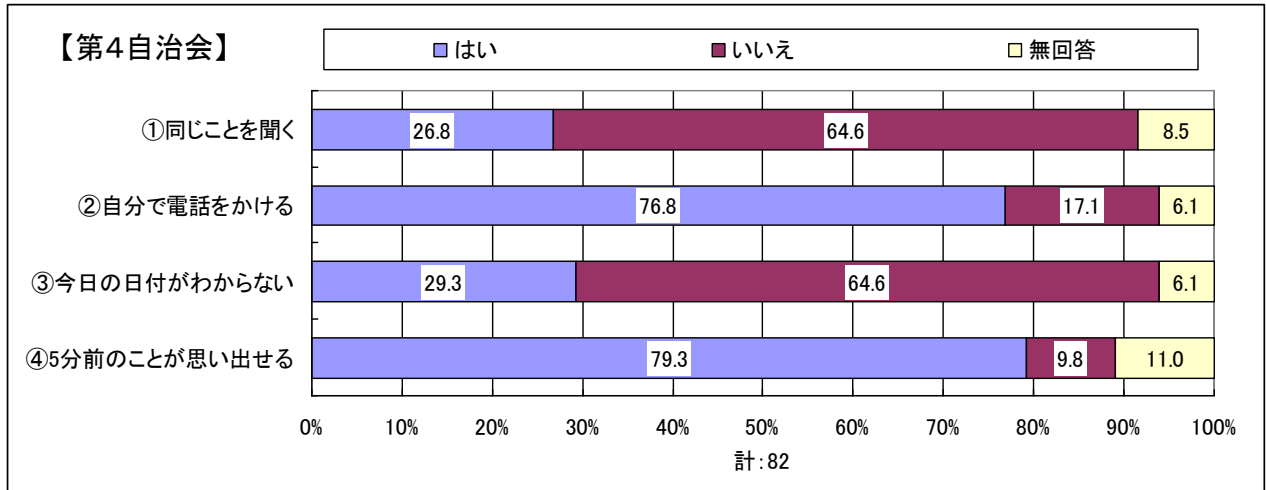


物忘れに関する質問では、「②自分で電話をかける」と「④5分前のことが思い出せる」で「いいえ」と回答する人の割合が1～2割、また「①同じことを聞く」や「③今日の日付がわからない」に該当する人など物忘れの症状がみられる人は3割を下回っています。

また、自治会別にみたところ、以下のとおりとなっています。

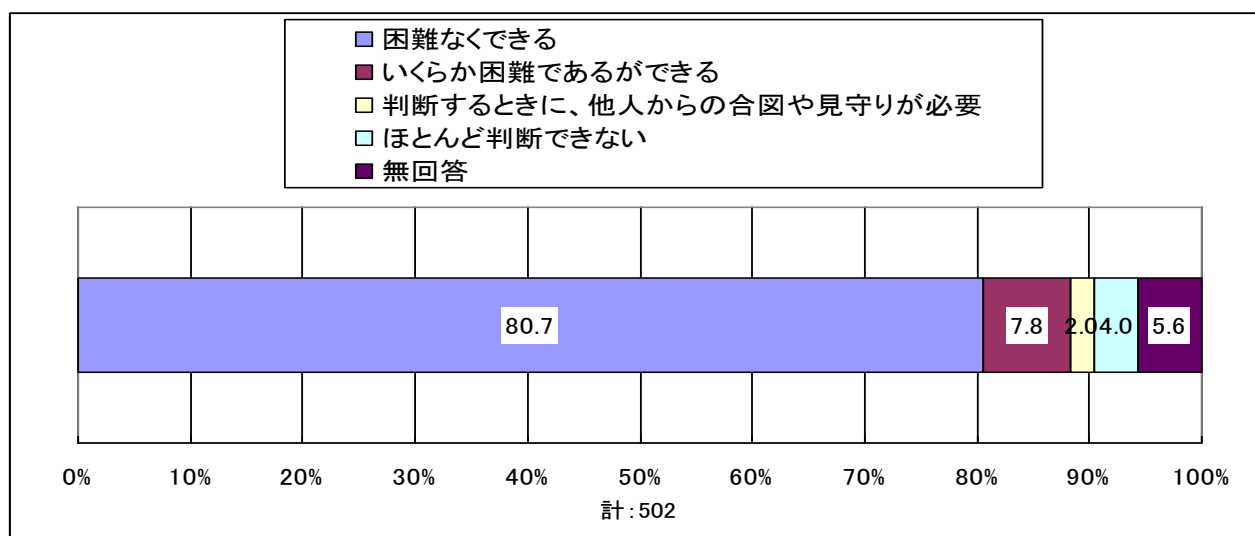
●自治会別物忘れについて





⑤ その日の活動の(自分での)判断力

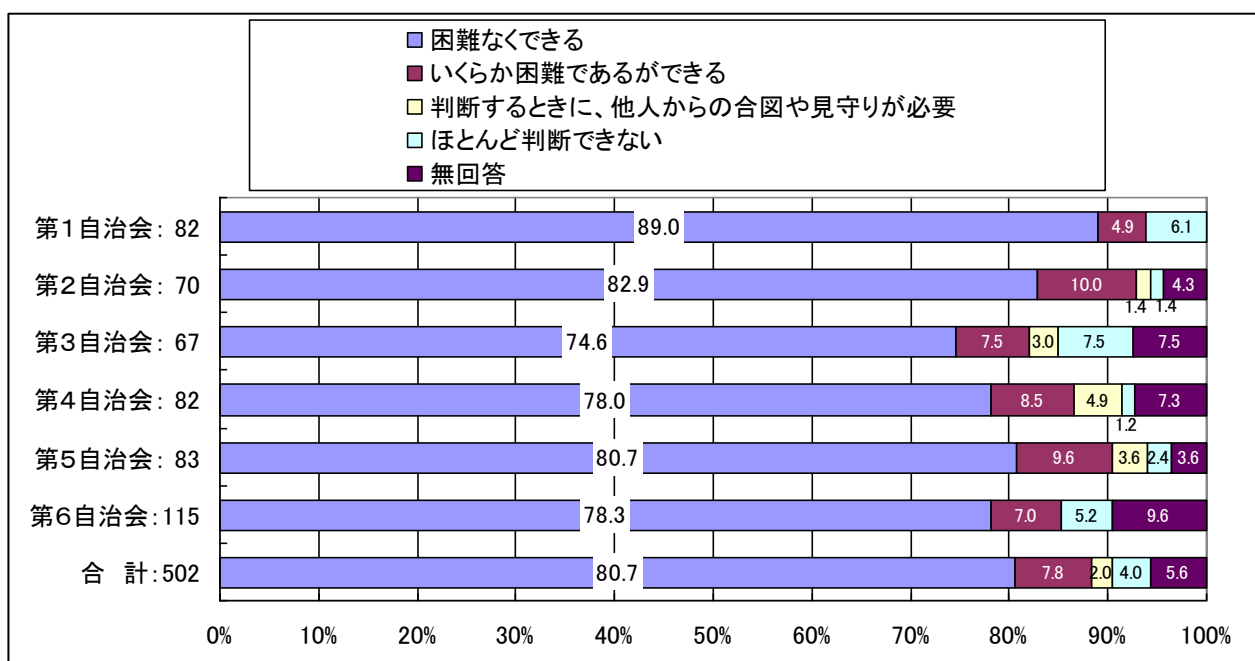
その日の活動(食事をする、衣服を選ぶ等)を自分で判断できますか。(1つ)



食事をするや衣服を選ぶなどの行動を自分で「困難なくできる」と回答した人が約8割を占めており、自立した人が多いことを示しています。

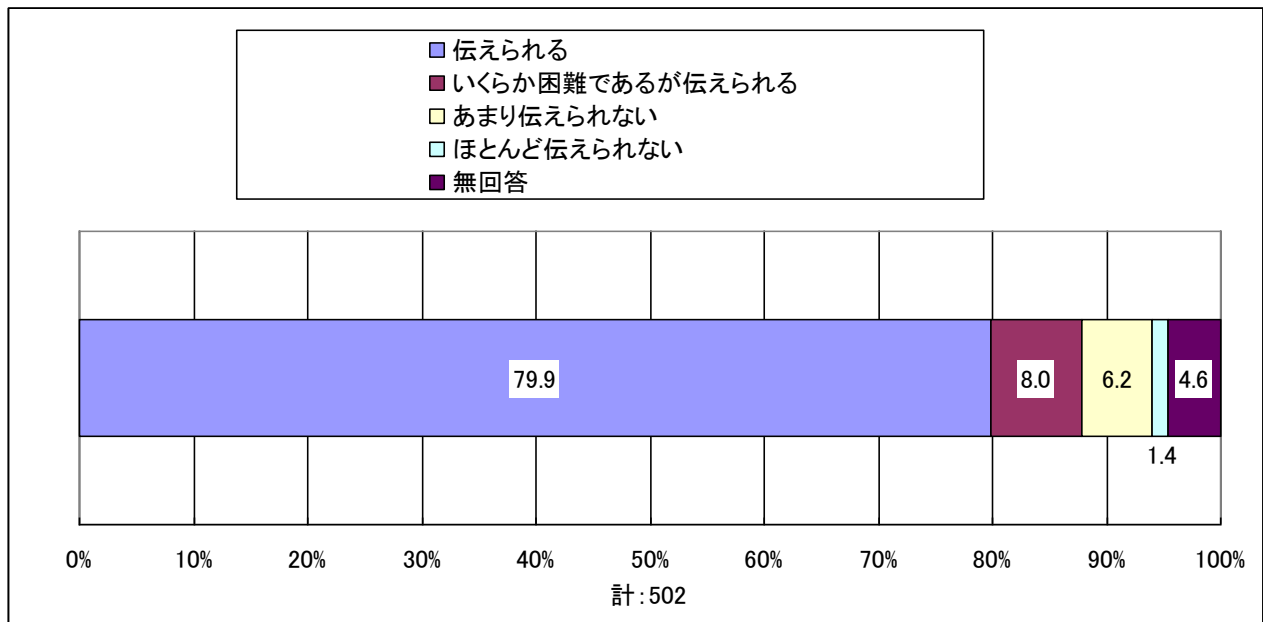
また、自治会別にみた場合、ほとんど差はみられません。

●自治会別その日の活動の(自分での)判断力



⑥ 自分の考えをうまく伝えられるか

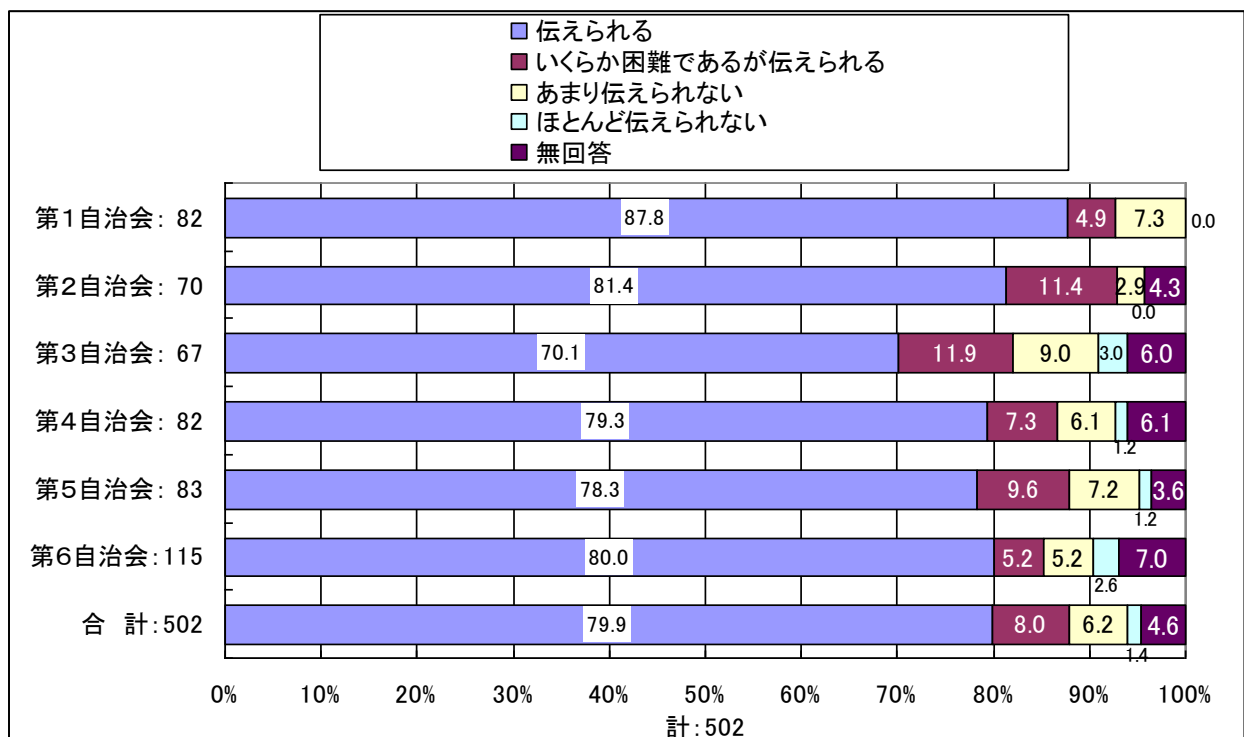
人に自分の考えをうまく伝えられますか。(1つ)



自分の考えを人に「伝えられる」と回答した人は79.9%です。

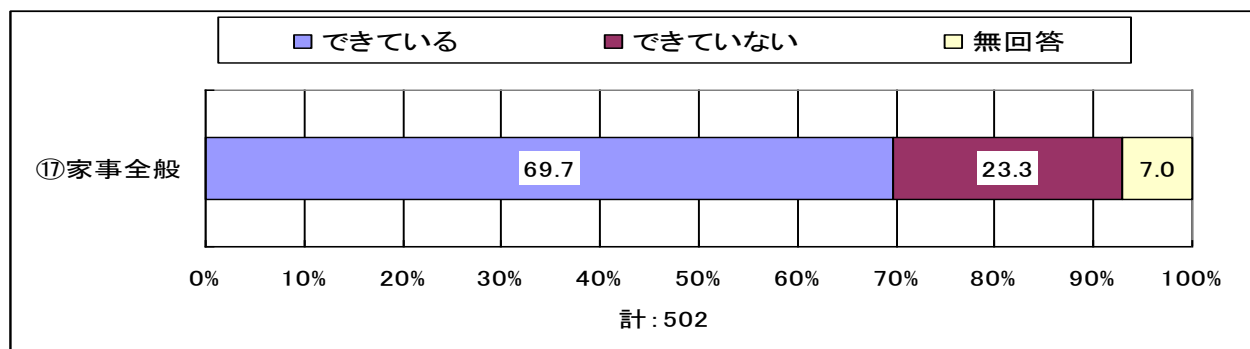
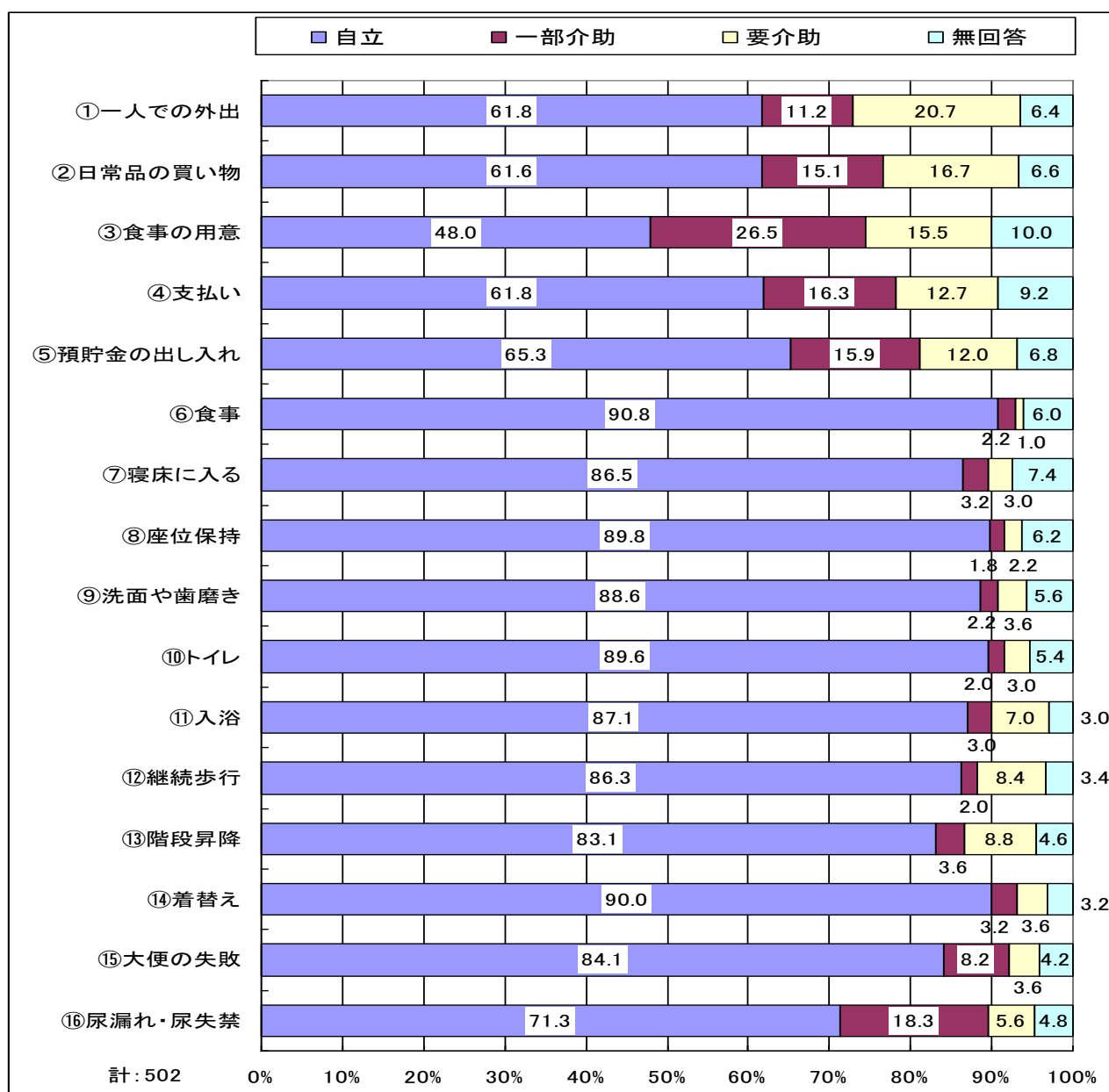
また、自治会別にみた場合、「伝えられる」の割合で第1自治会が第3自治会を17.7%上回っていますが、他の自治会ではほとんど差はみられません。

●自治会別自分の考えをうまく伝えられるか



7. 問6 日常生活について

あなたの日常生活についてうかがいます。(それぞれ1つ)



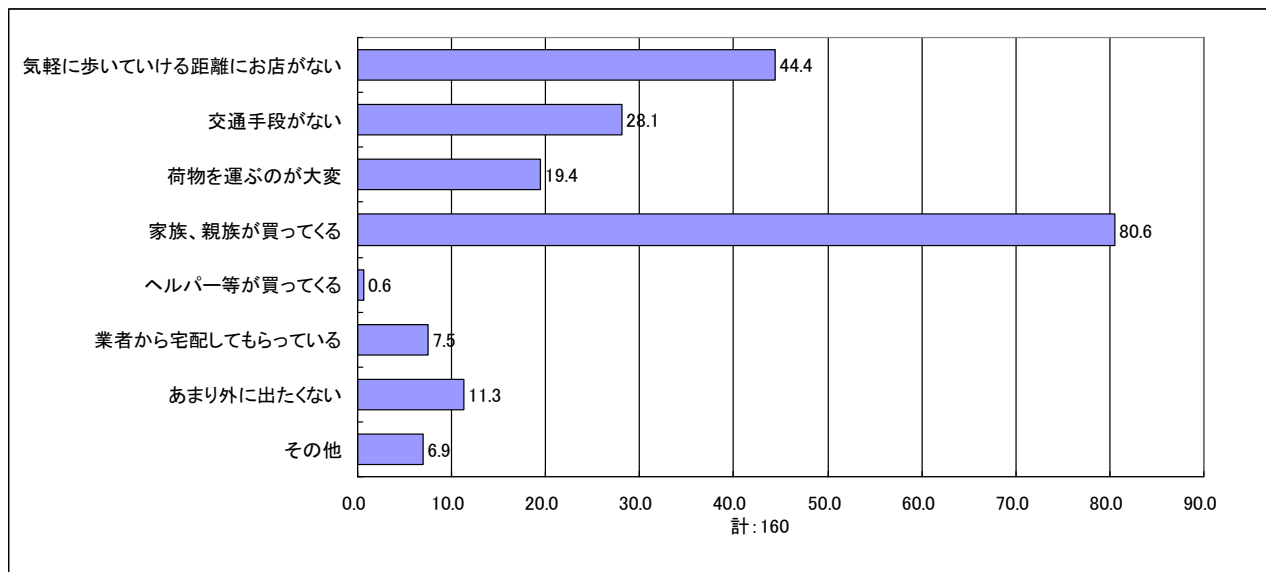
※各項目は省略表示しています。また、選択肢も項目によって異なります。正しくは巻末資料の調査票をご参照下さい。

日常生活の状況に関する質問では、ほとんどの項目で8割以上の方が自立していると回答していますが、「①一人での外出」や「②日用品の買い物」などといった外出を伴う行動や、「③食食用意」、「④支払い」、「⑤預貯金の出し入れ」、「⑩尿漏れ・尿失禁」、「⑰家事全般」などでは自立度は低くなっており、一部または全面的な介助を必要とする人の割合が比較的高くなっています。

②-1 外出できない理由

②で「2. できるけどしていない」か「3. できない」とお答えの方におたずねします。

外出しない、できない理由は何ですか。(いくつでも)

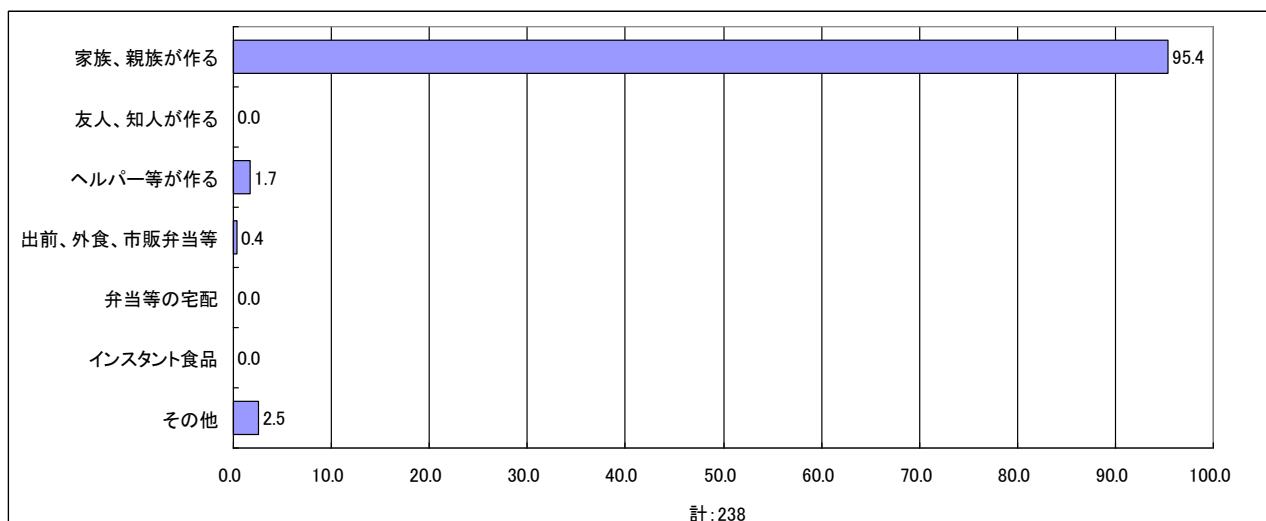


外出しない理由は「家族、親族が買ってくる」(80.6%)が最も多く、次いで「気軽に歩いていける距離にお店がない」(44.4%)や「交通手段がない」(28.1%)となっています。

③-1 食事の用意

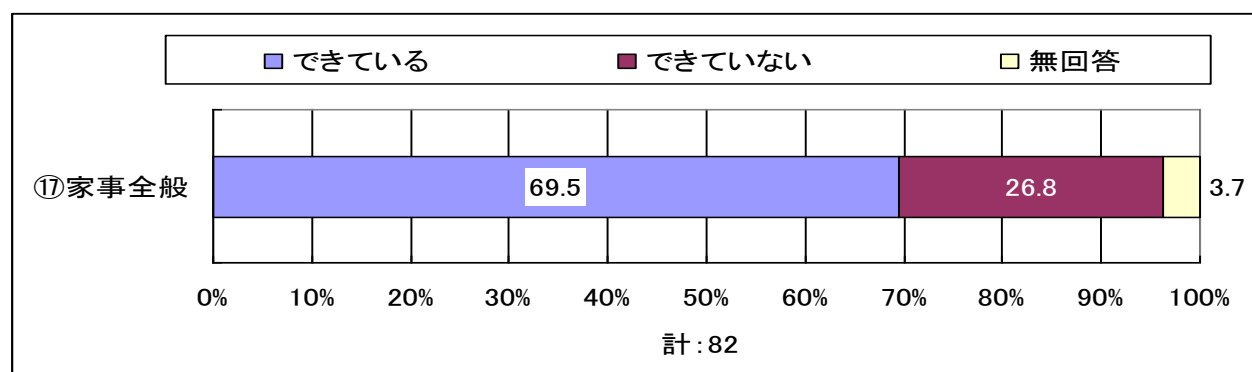
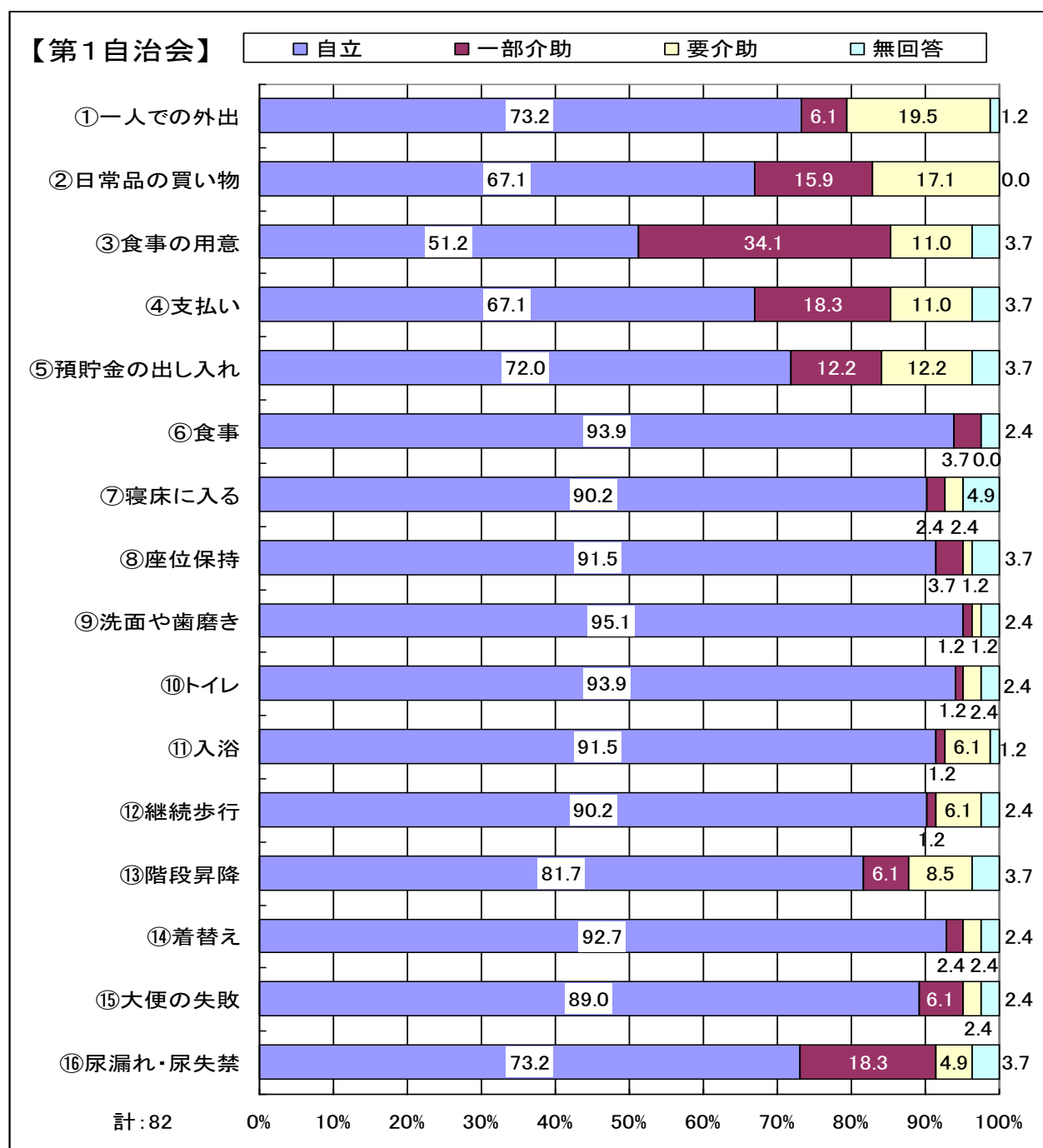
③で「2. できるけどしていない」か「3. できない」とお答えの方におたずねします。

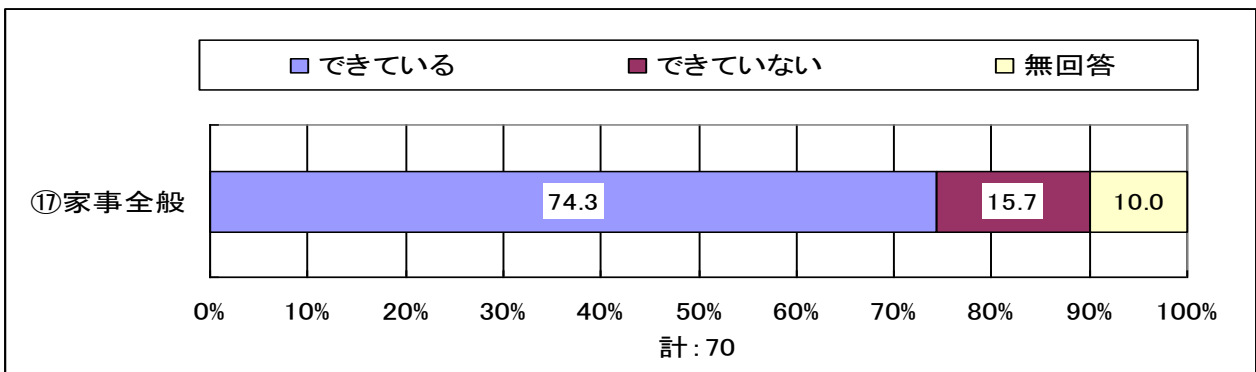
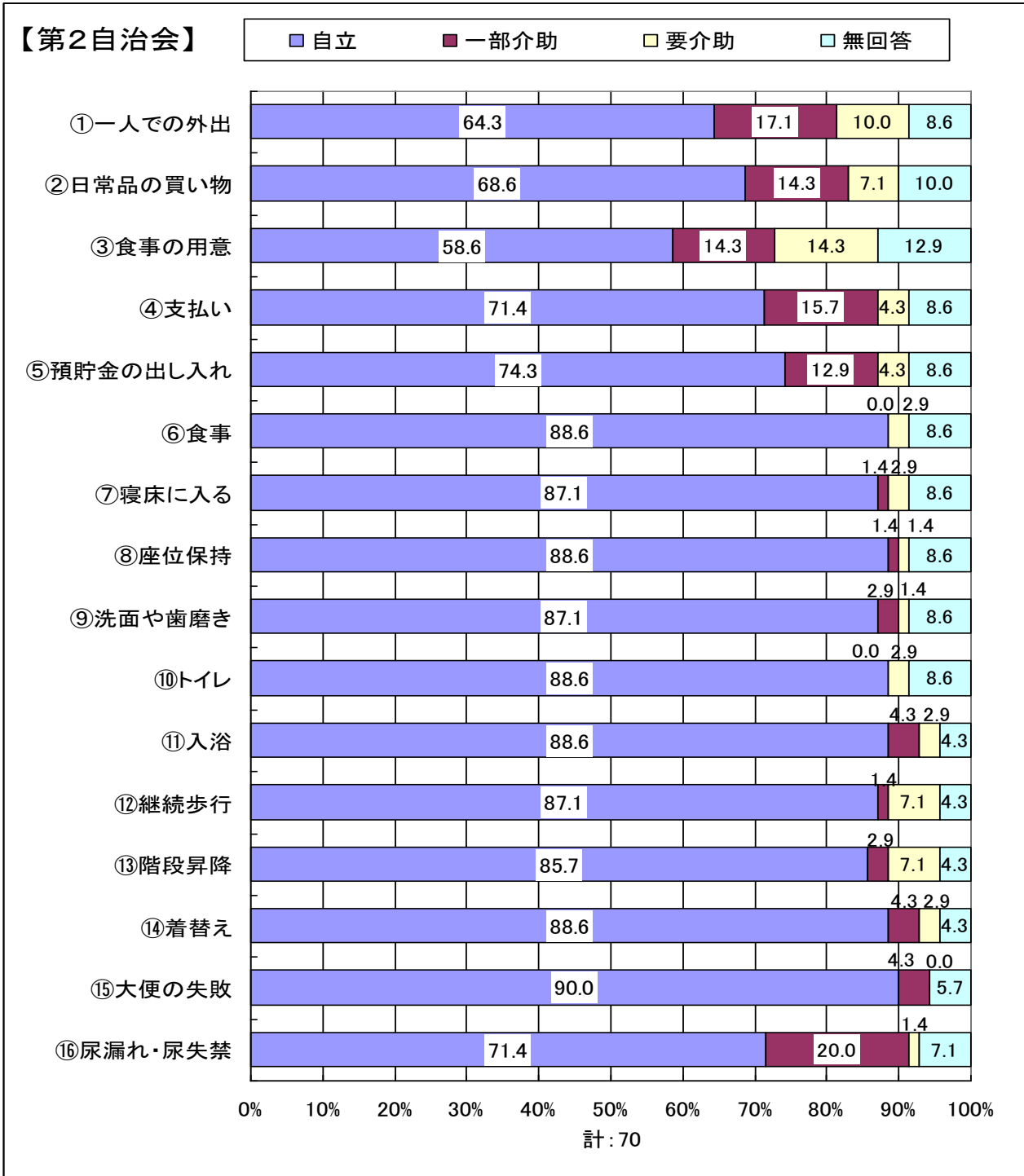
主にどのように食事をまかっていますか。(1つ)

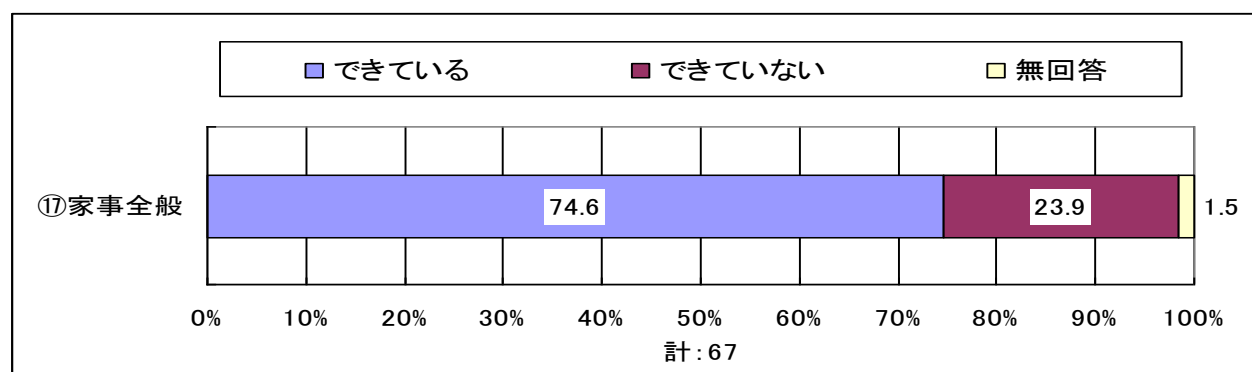
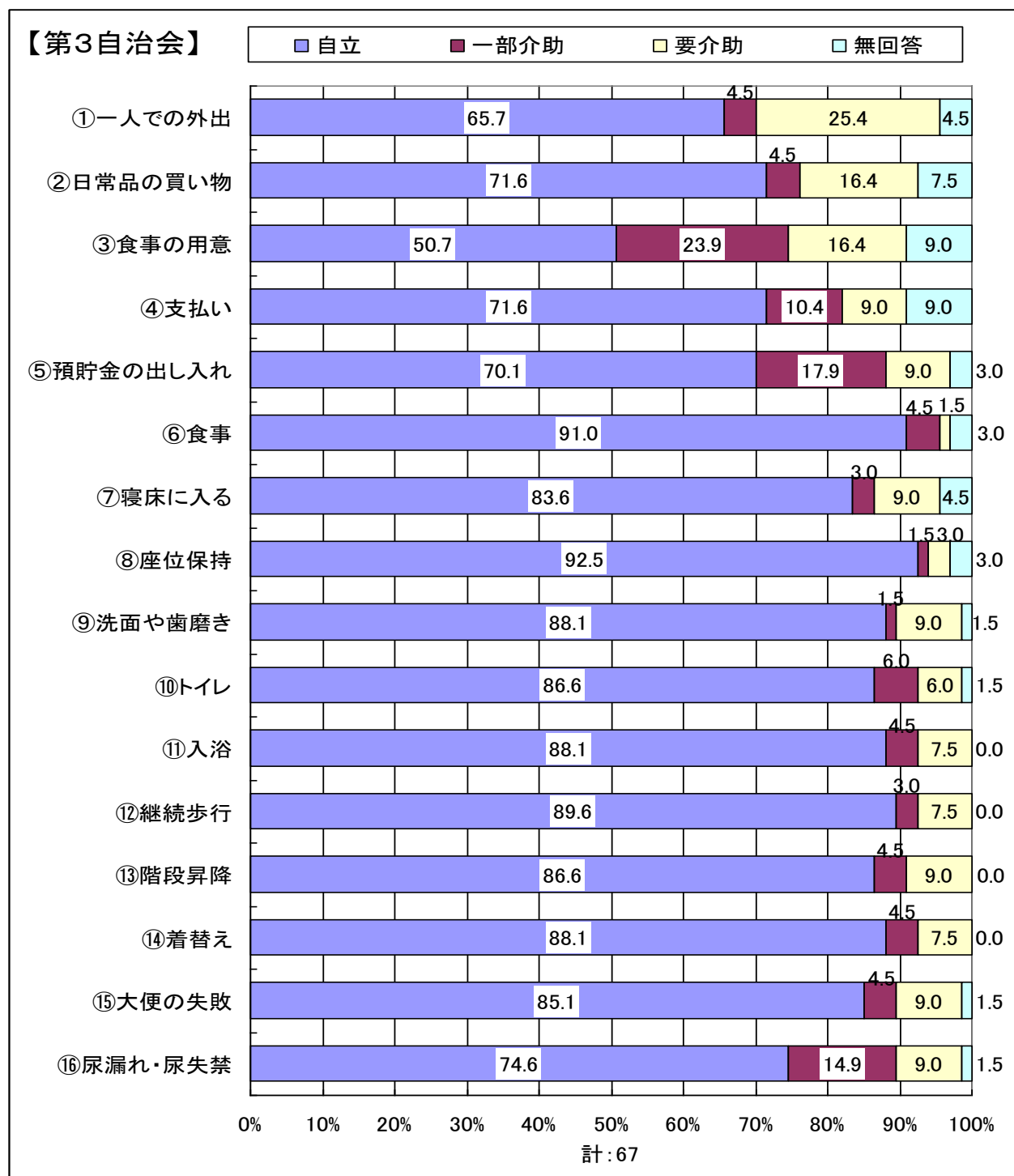


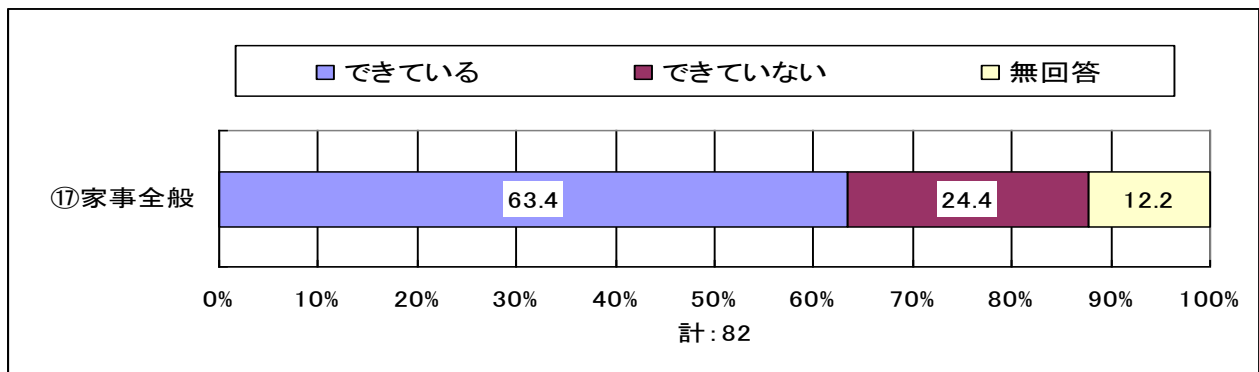
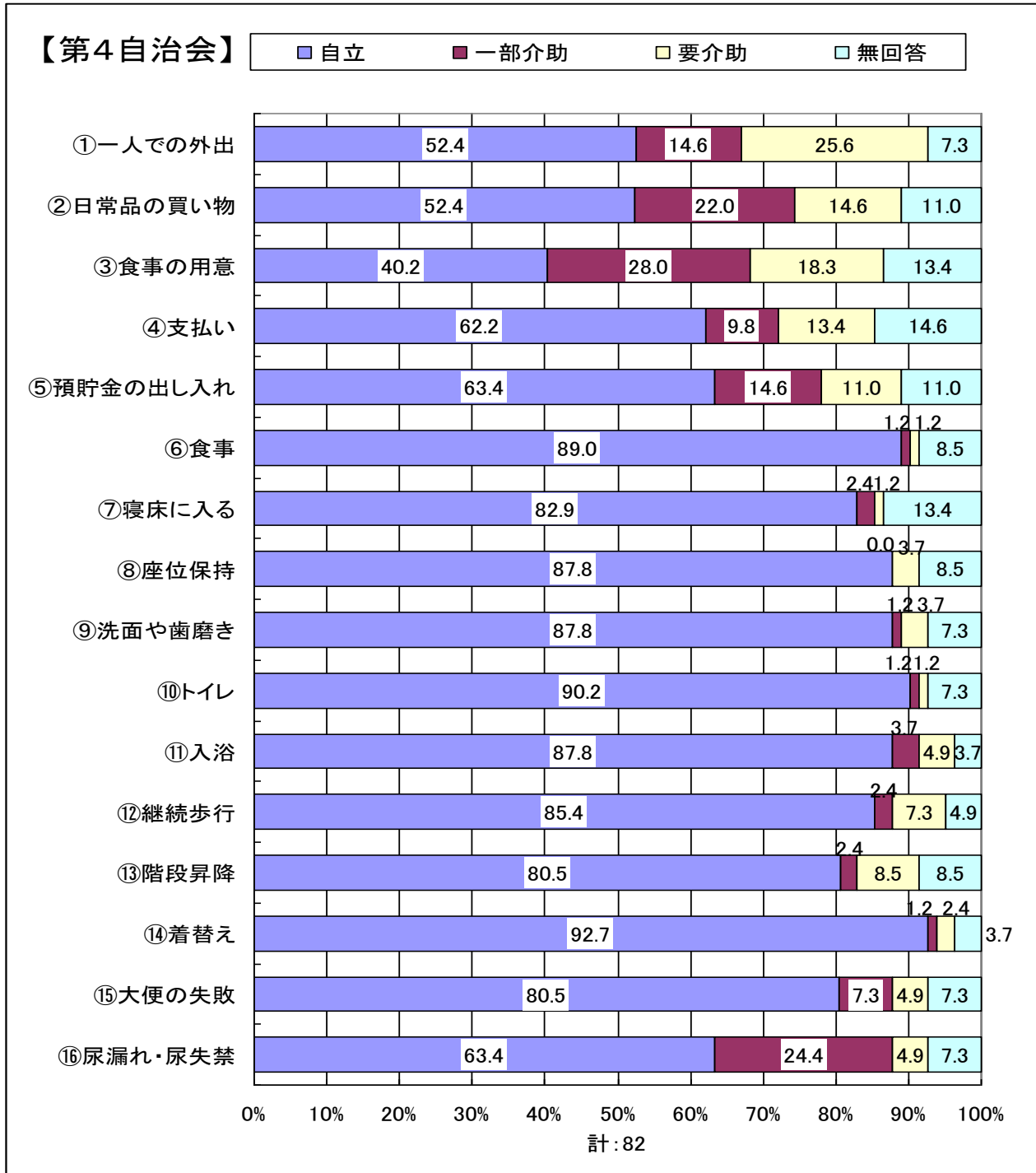
食事の用意は、「家族、親族が作る」(95.4%)が大きな割合となっています。

●自治会別日常生活

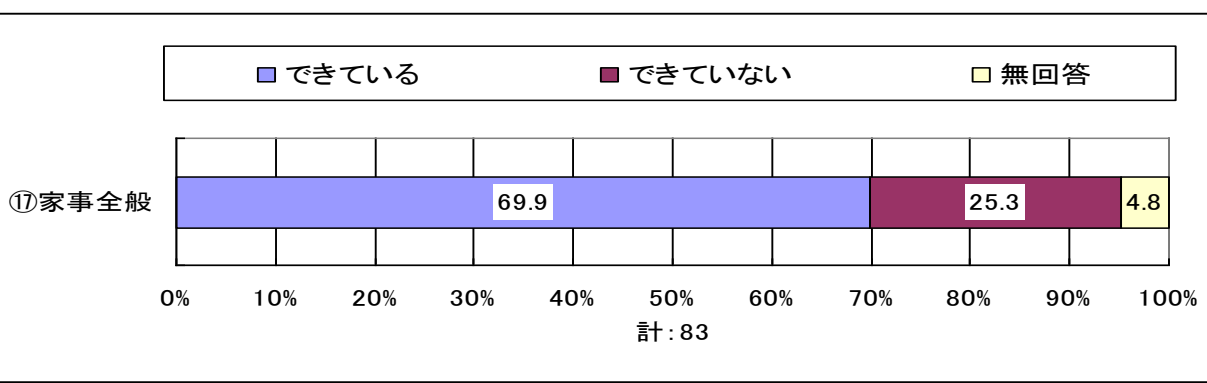
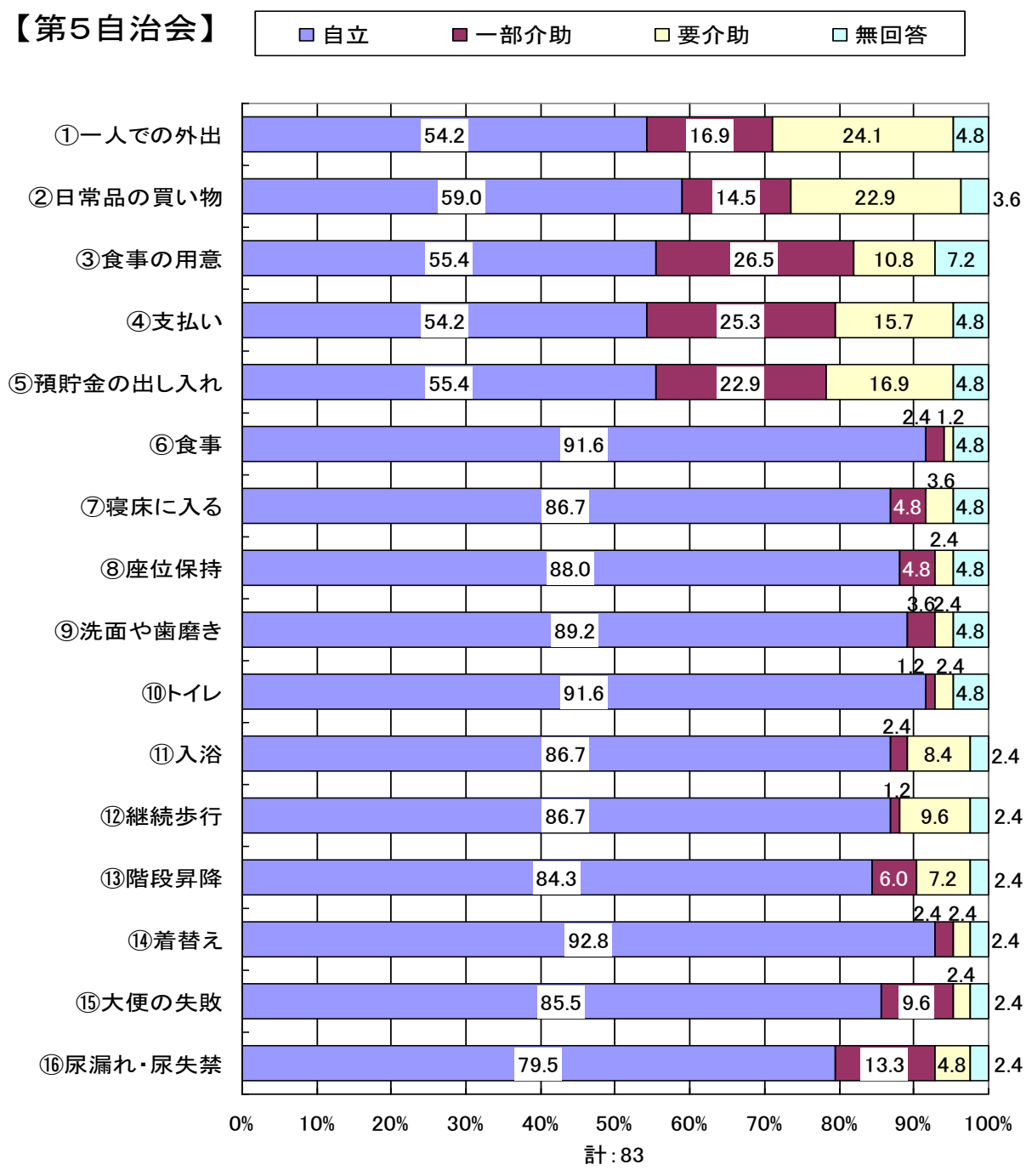


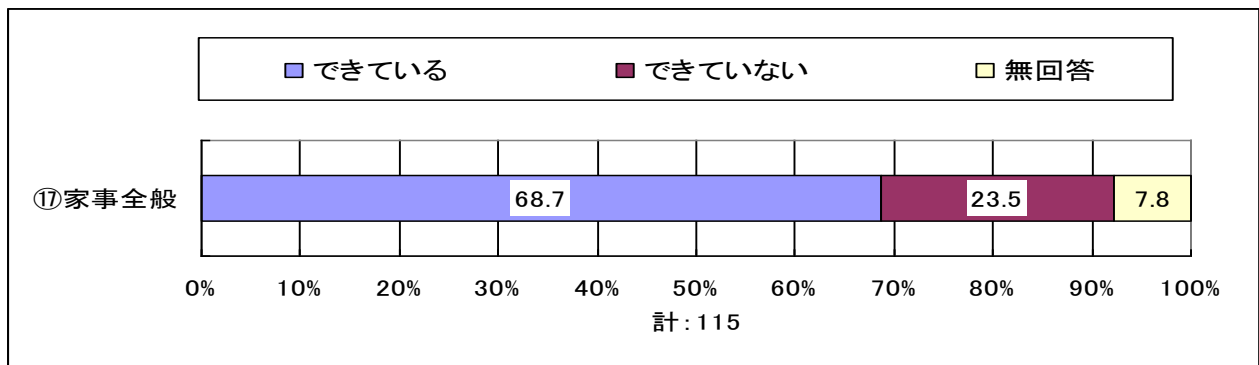
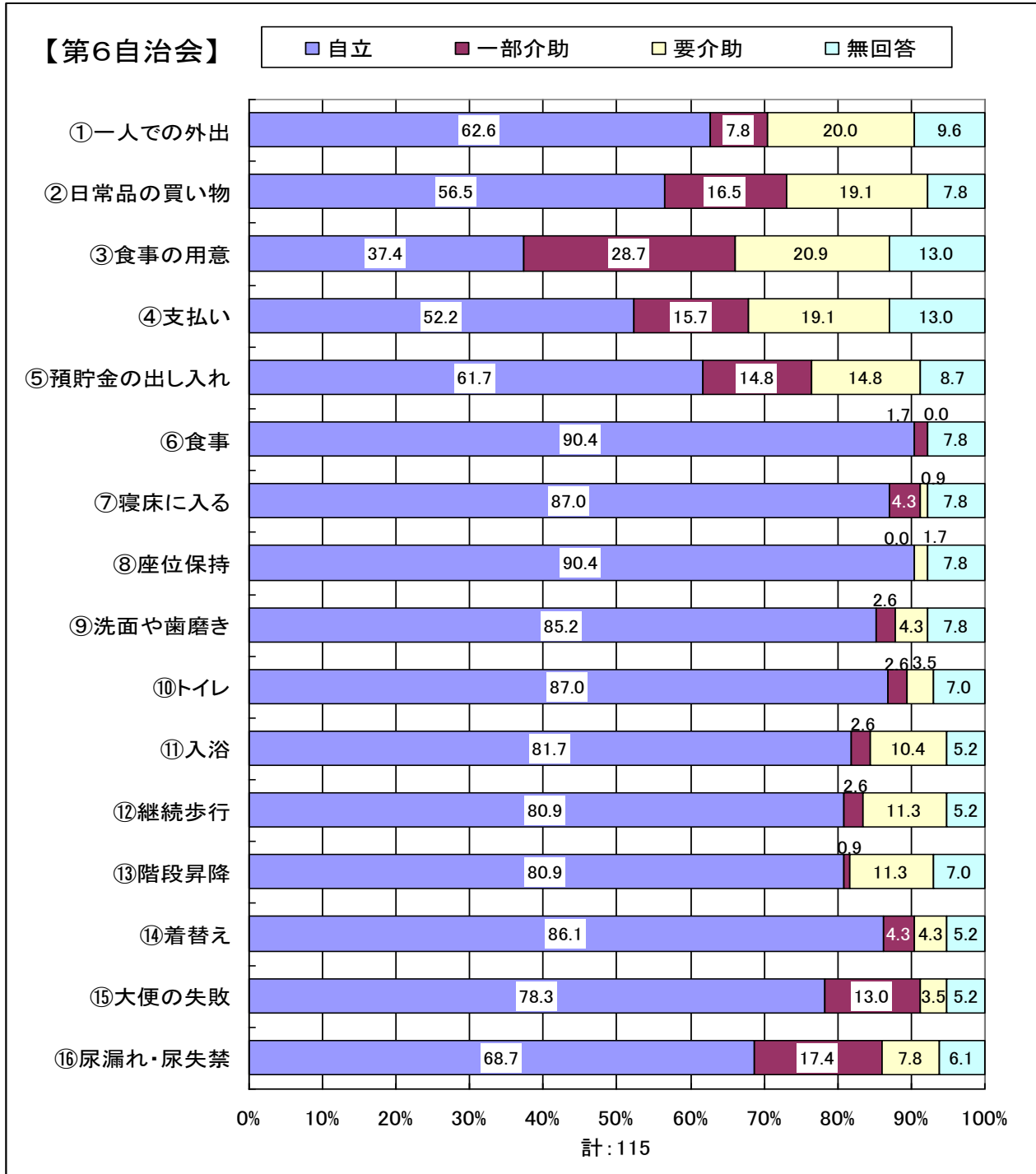






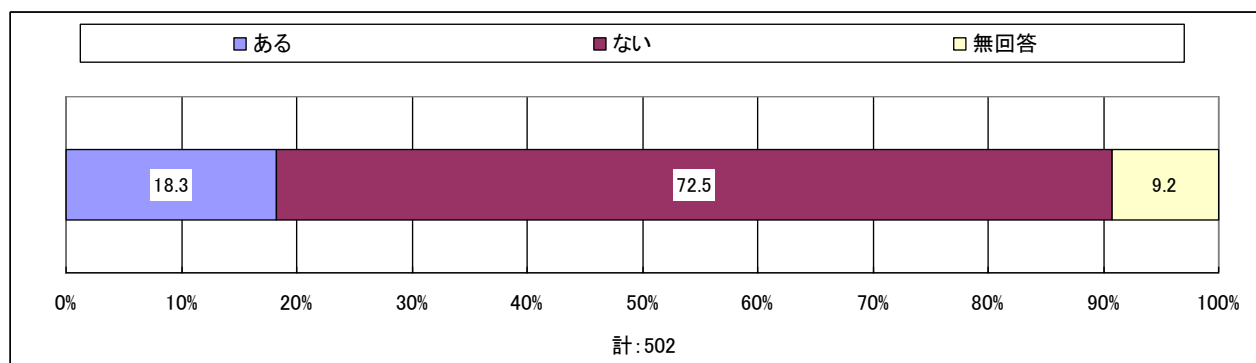
【第5自治会】





⑩ 援助や支援の有無

家で生活を送る上で、援助や支援をしてほしいことがありますか。

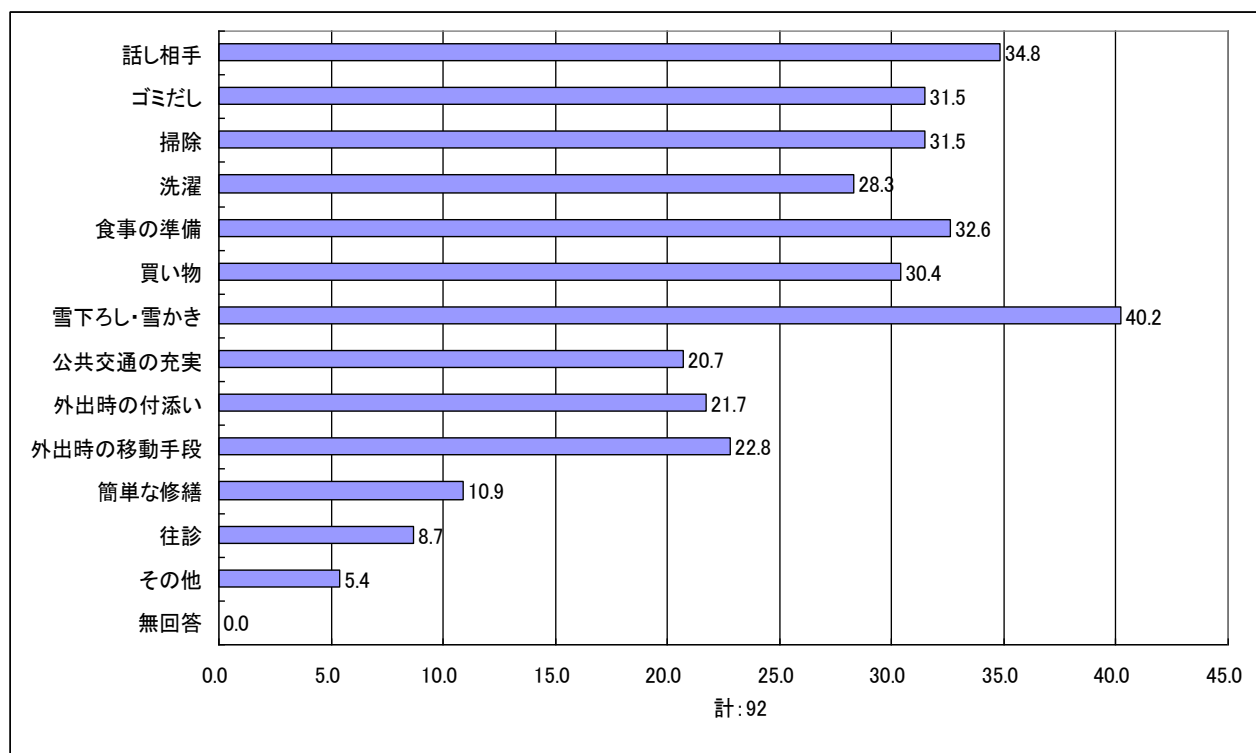


日常生活の中で、援助や支援をしてほしいことが「ある」と回答している人は92名（18.3%）となっています。

⑩-1 援助や支援の内容

⑩で「1. ある」とお答えの方におたずねします。

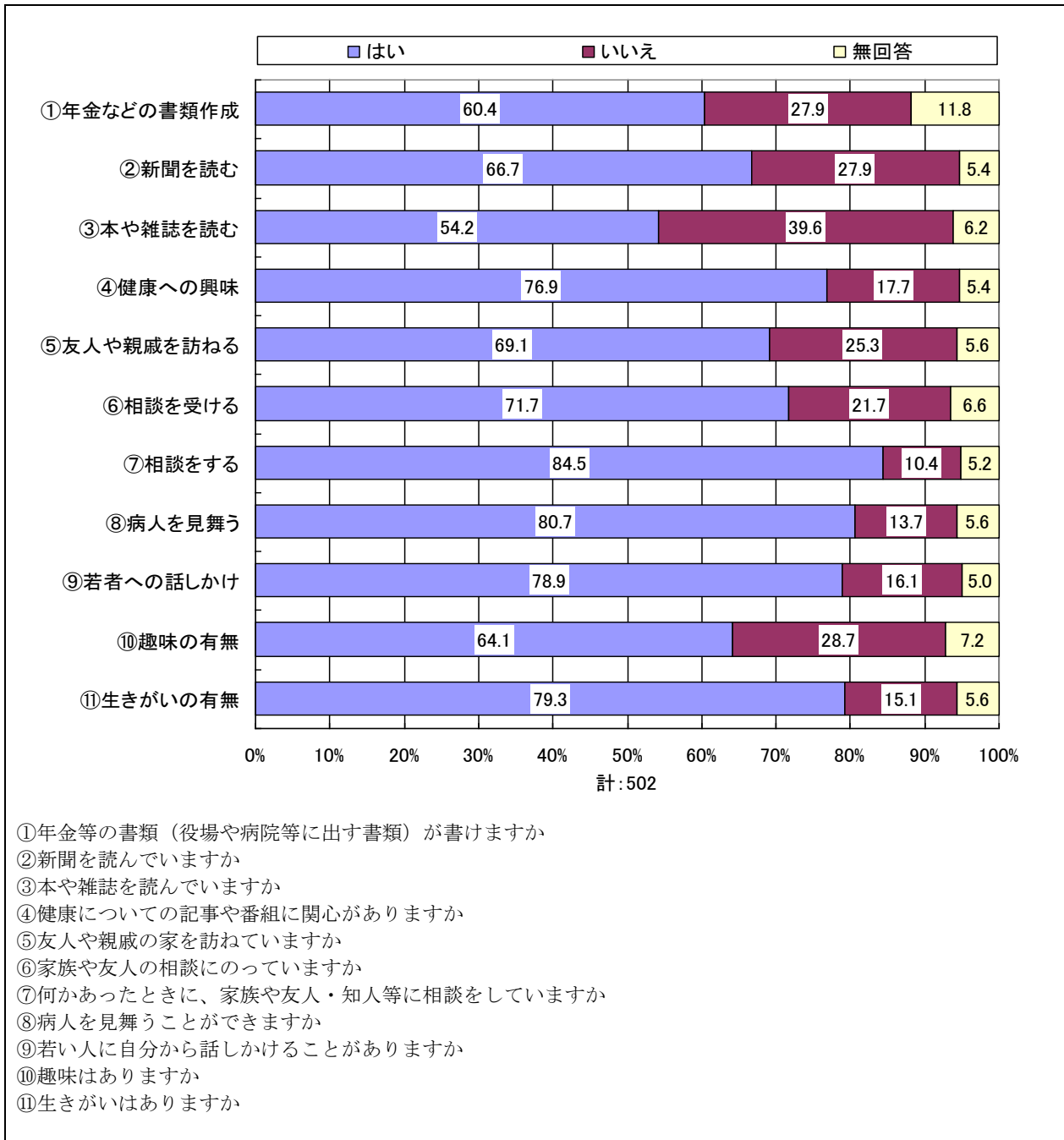
援助や支援をしてほしいことは何ですか。（いくつでも）



援助や支援してほしいことは、「雪下ろし・雪かき」が40.2%で最も多く、次いで「話し相手」（34.8%）、「食事の準備」（32.6%）、「ゴミだし」、「掃除」（31.5%）と続いています。また「買い物」（30.4%）、「外出時の移動手段」（22.8%）など交通弱者の割合も多くなっています。

8. 問7 社会参加について

あなたの社会参加についてうかがいます。(それぞれ1つ)

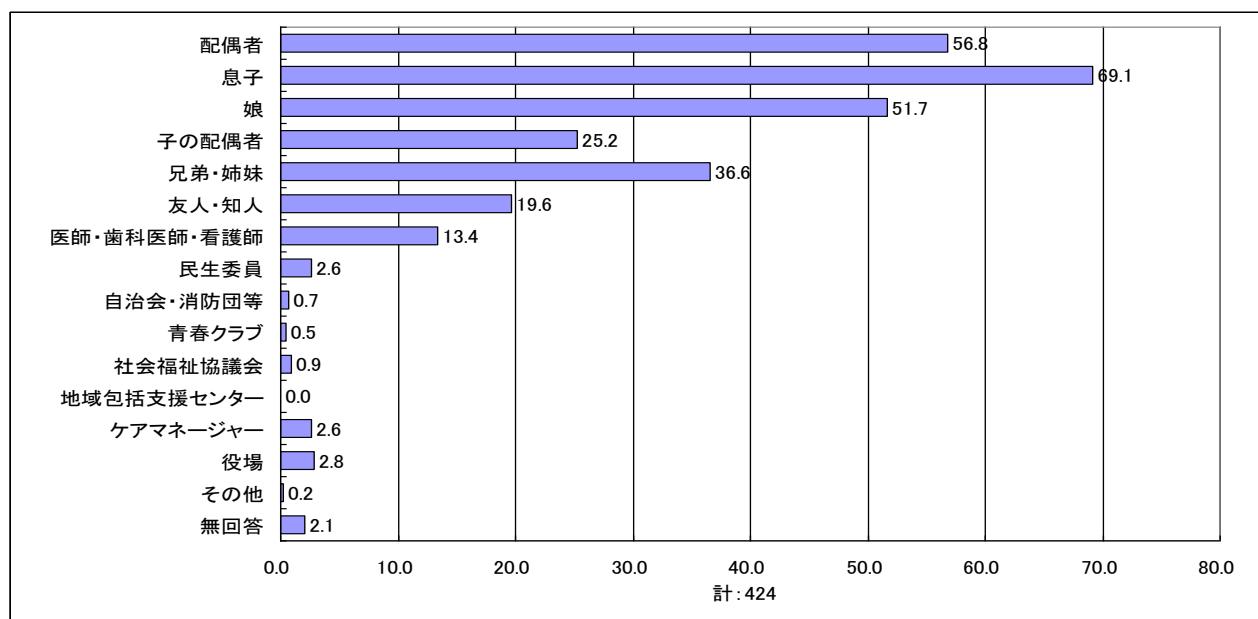


社会参加の状況に関する質問では、全体的に7割以上の方がそれらの行動をできると回答していますが、「①年金などの書類作成」や「②新聞を読む」、「③本や雑誌を読む」、「⑩趣味の有無」などに関する項目では、その割合が低くなっています。

また、自治会別では、第2圏域で、友人や知人などとの交流に関する項目が低くなっています。

⑦-1 相談相手

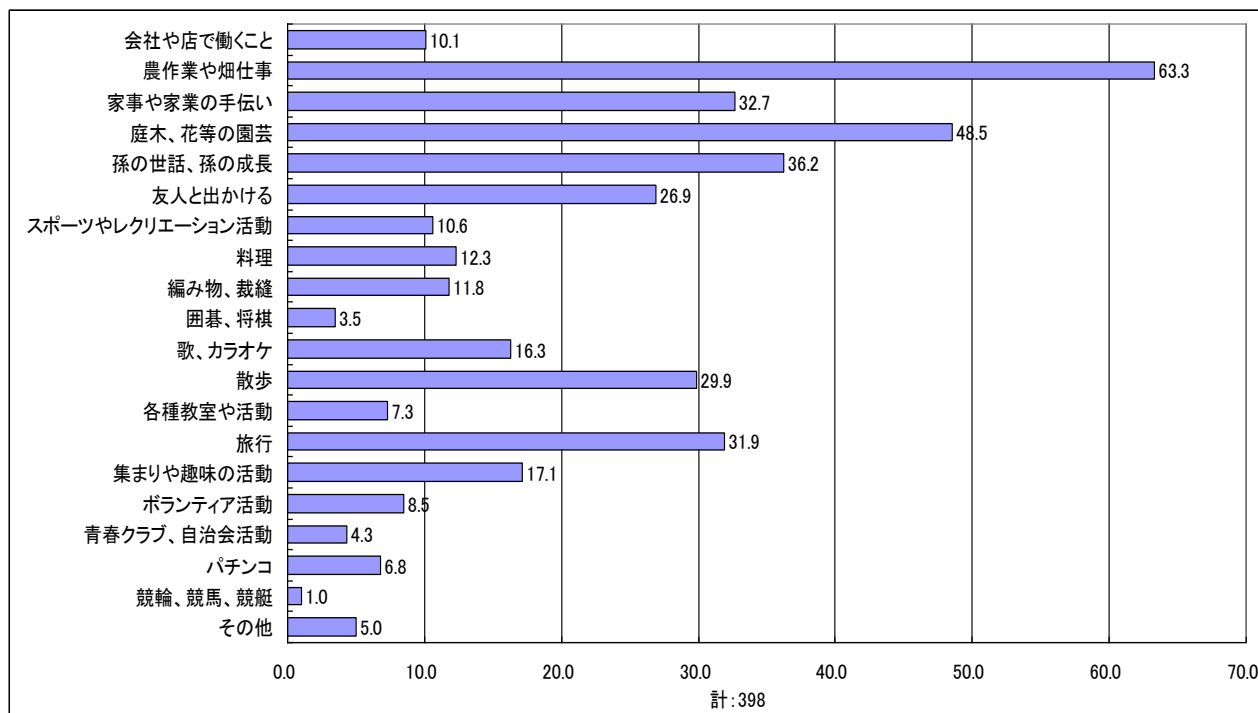
⑦で「1. はい」とお答えの方におたずねします。だれ（どこ）に相談していますか。（いくつでも）



相談相手では、「息子」が69.1%で最も多く、次いで「配偶者」(56.8%)、「娘」(51.7%)などと続き、家族や友人などが上位を占めています。「民生委員」(2.6%)や「ケアマネージャー」(2.6%)などの身近にいる専門的な人への相談は低い割合となっています。

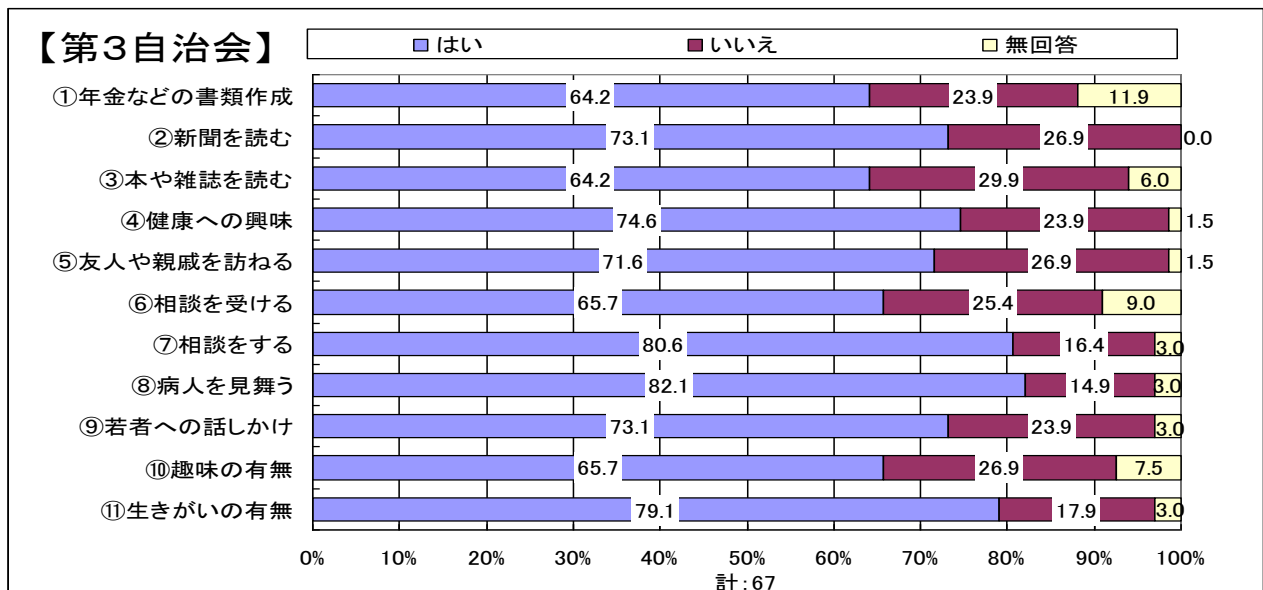
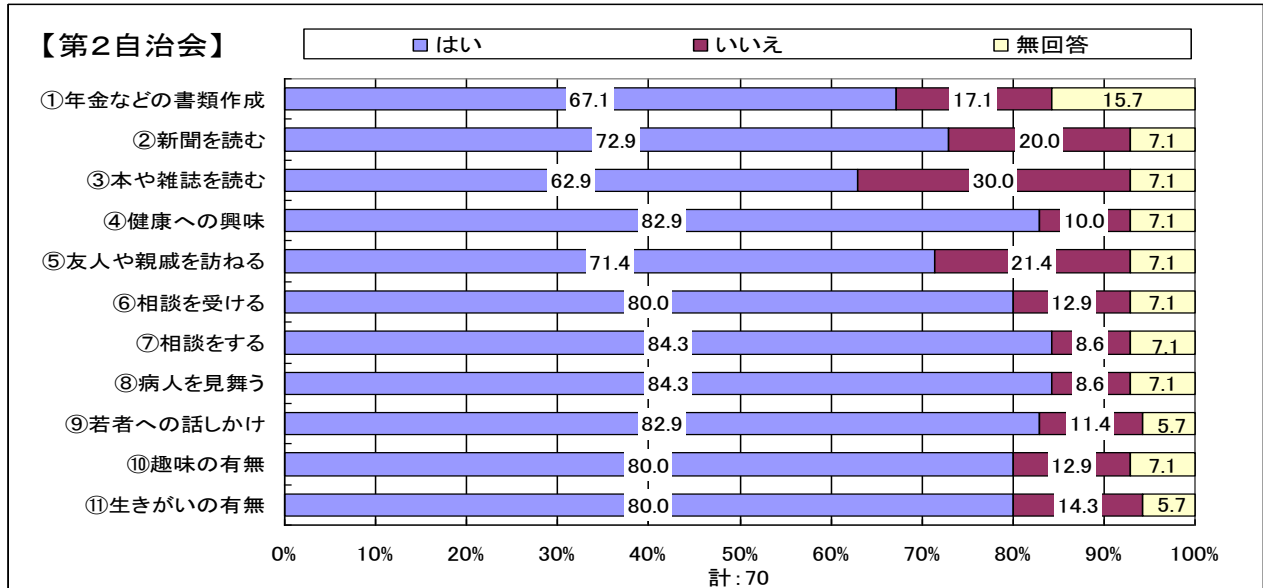
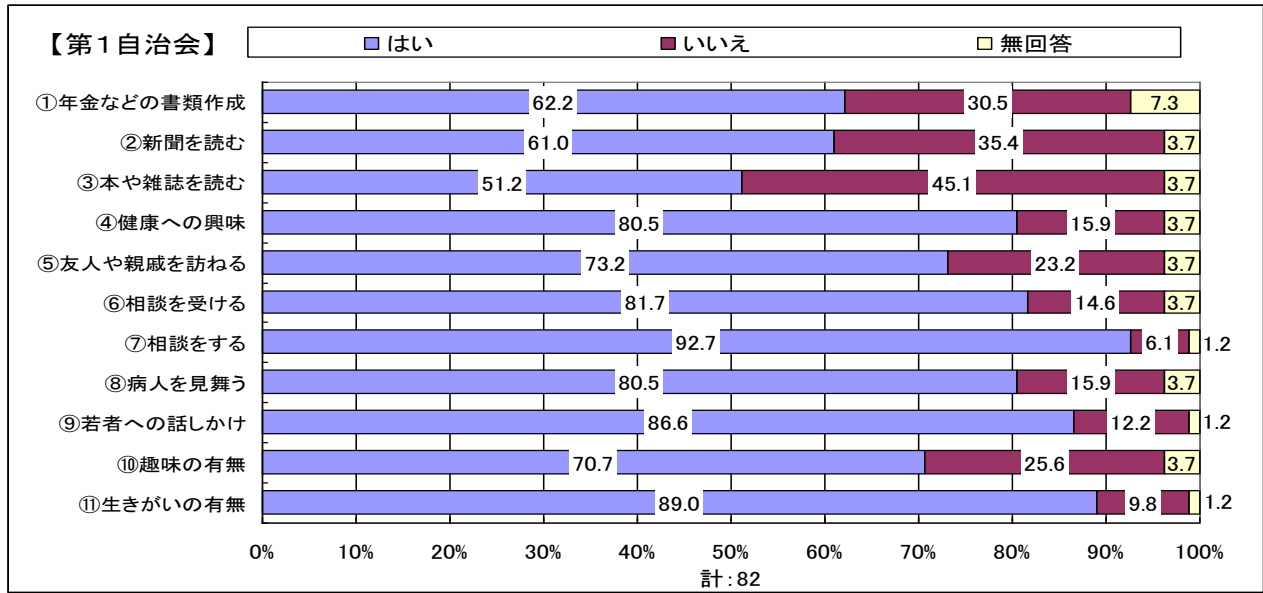
⑪-1 生きがい

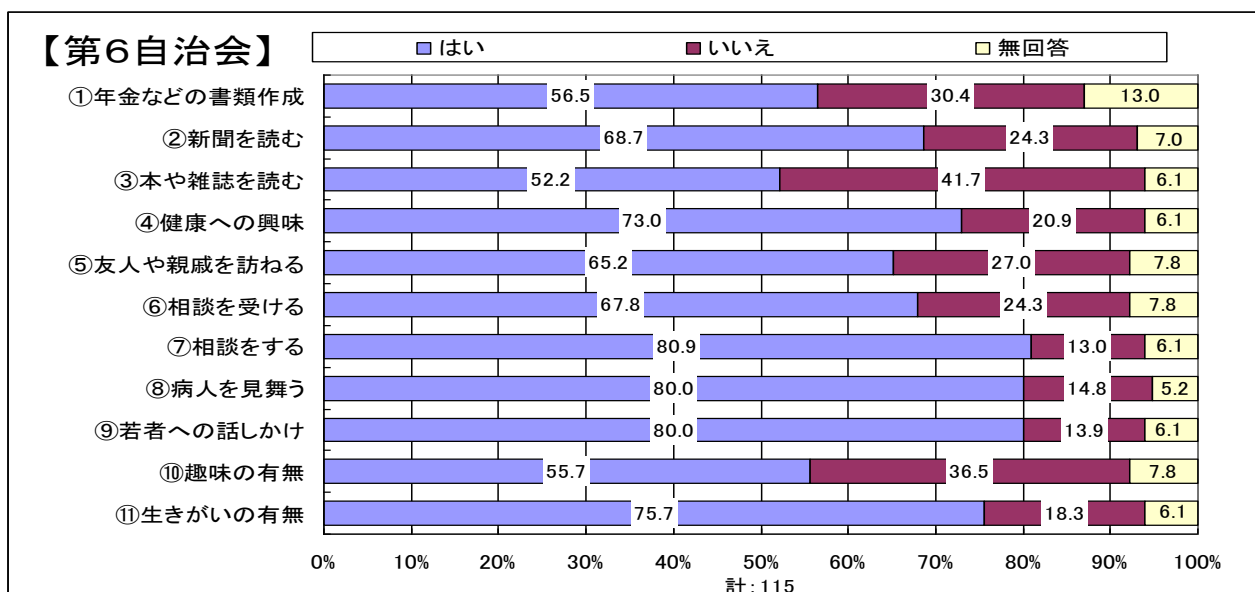
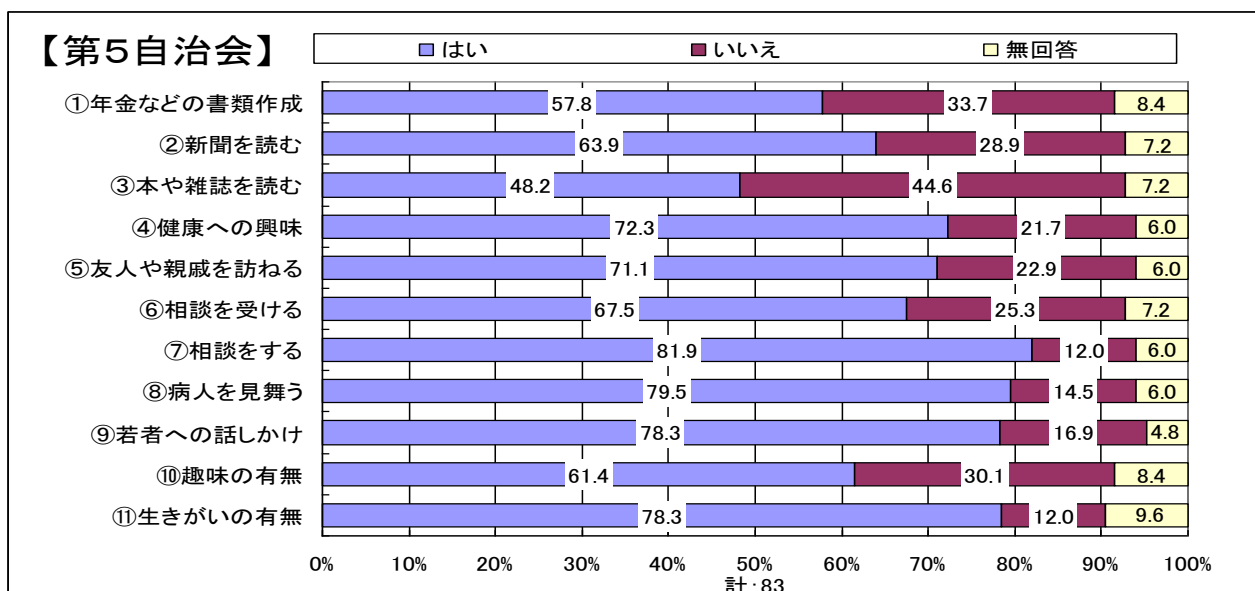
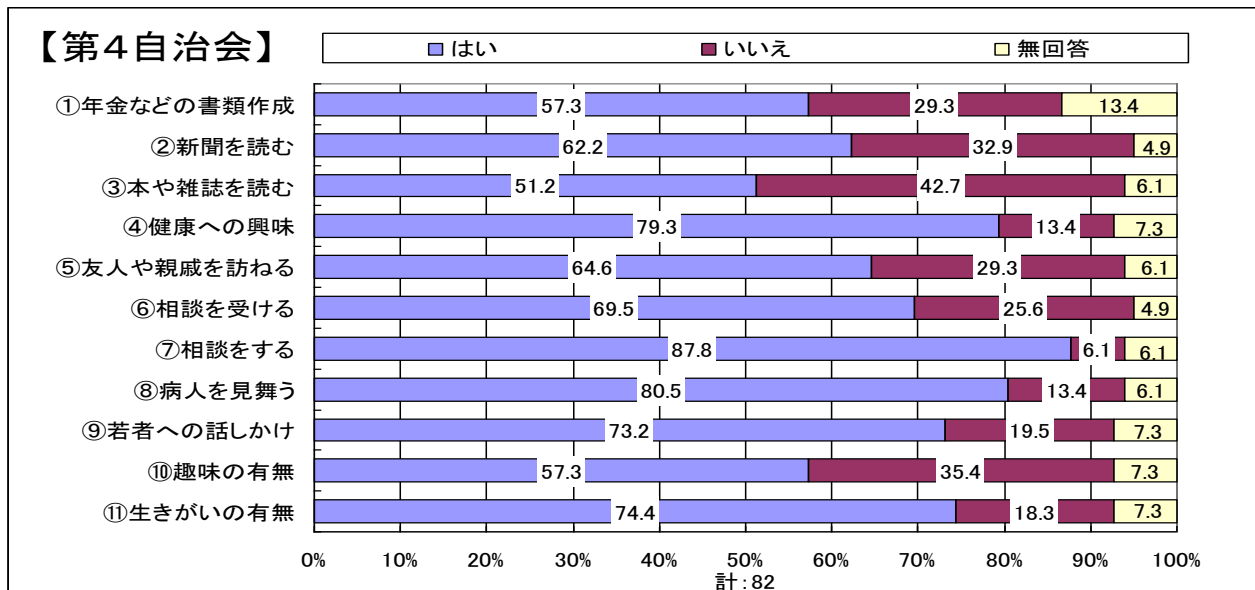
⑪で「1. はい」とお答えの方におたずねします。生きがいは何ですか。（いくつでも）



生きがいで最も多い回答は「農作業や畑仕事」(63.3%)、次いで「庭木、花等の園芸」(48.5%)と続いています。

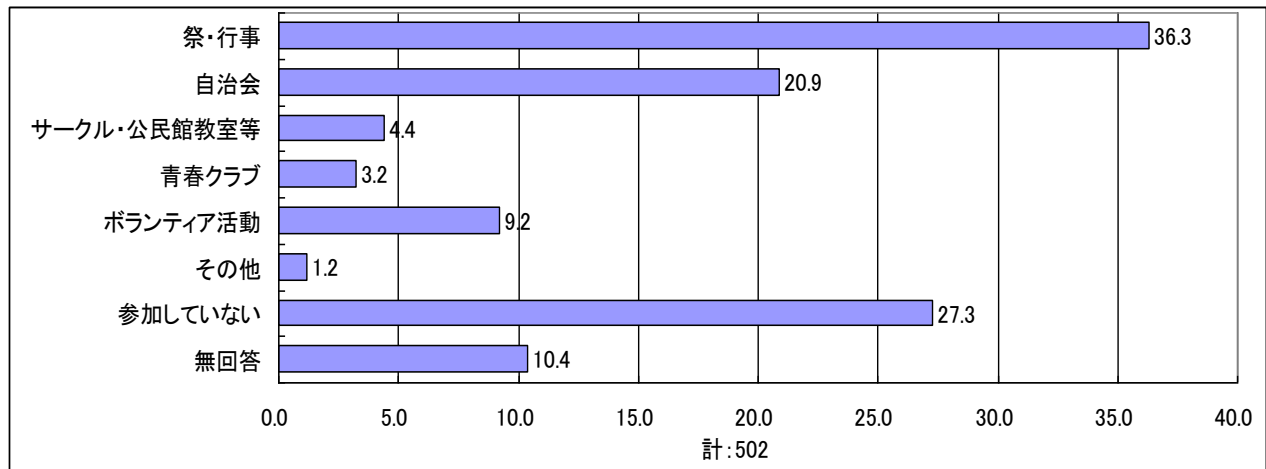
●自治会別社会参加の状況





⑫ 地域活動への参加状況

地域活動等に参加していますか。(いくつでも)



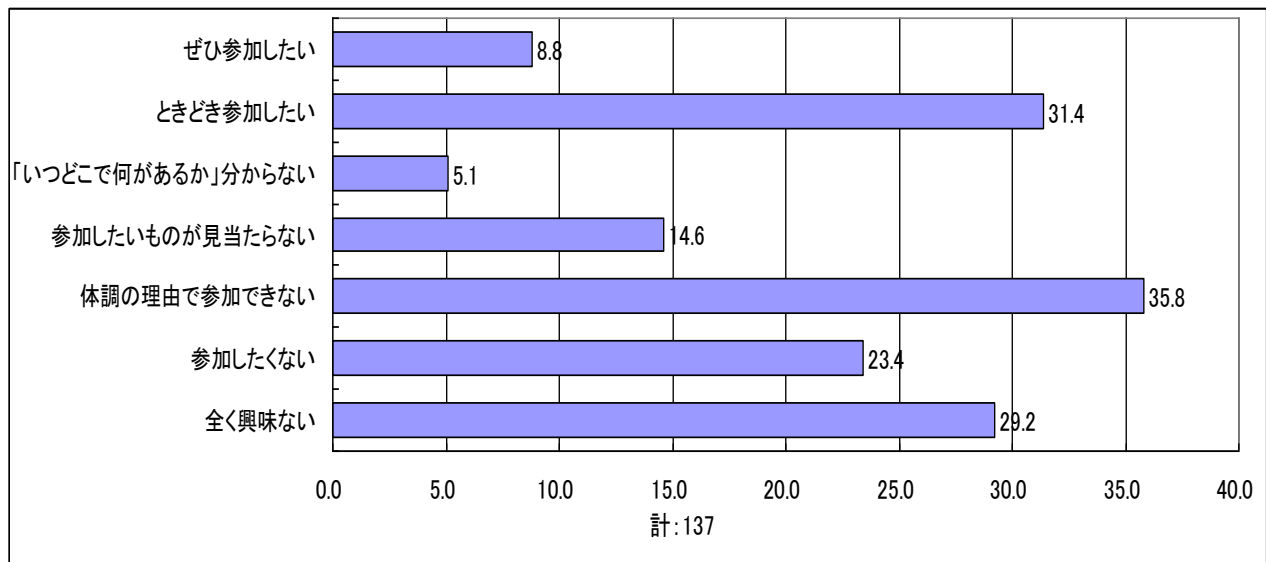
地域活動への参加状況では、「参加していない」が27.3%あり、回答者の3割が地域活動には参加していないことがわかります。

また、参加している地域活動としては、「祭・行事」、「自治会」などが上位を占めています。

⑫-1 今後の参加希望

⑫で「7. 参加していない」とお答えの方におたずねします。

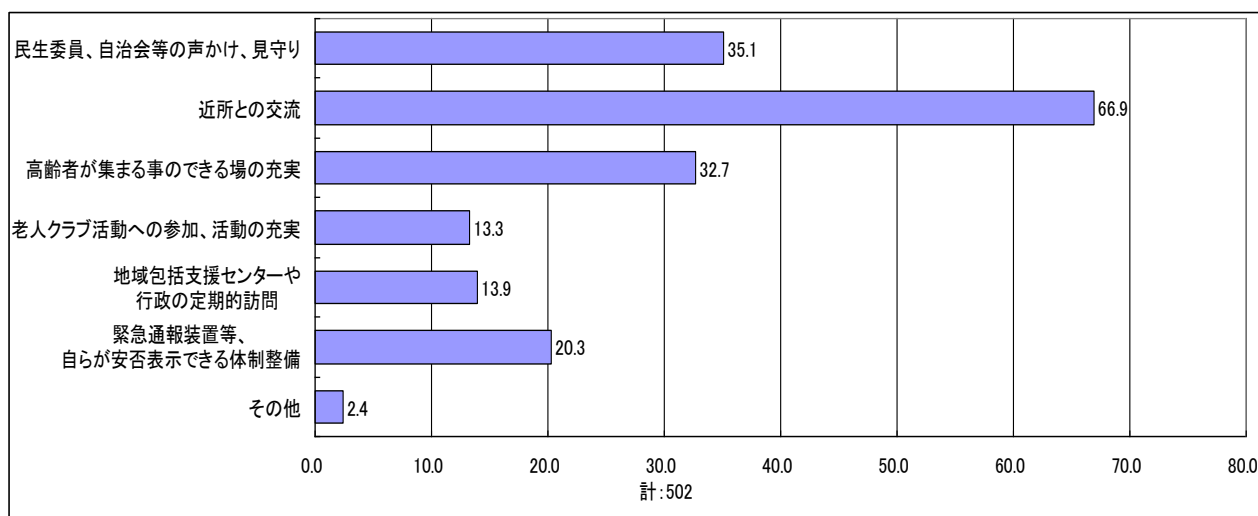
今後の参加希望はありますか。



地域活動への今後の参加希望では、「ぜひ参加したい」(8.8%)、「ときどき参加したい」(31.4%)に対し、「参加したくない」(23.4%)、「全く興味がない」(29.2%)と今後も参加を希望しない人も多いことがわかります。

⑬ 地域での支援

ひとり暮らしや高齢者世帯の増加が見込まれますが、住み慣れた地域で暮らしていくために、地域ではどのような支援が必要だと思いますか。（いくつでも）

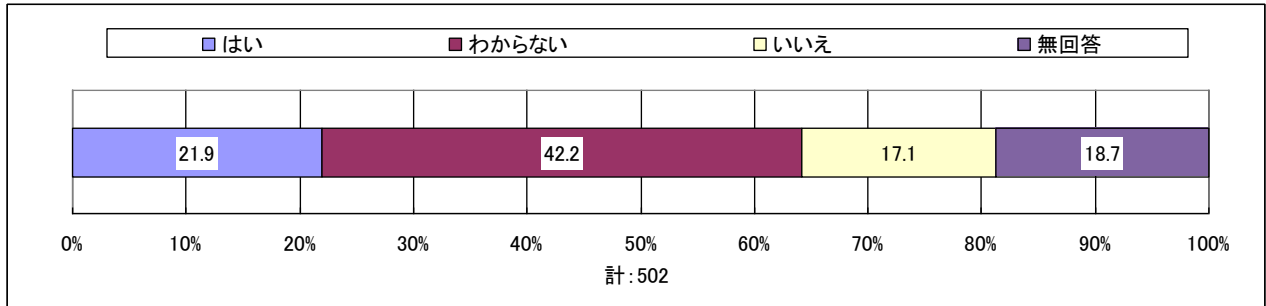


地域での必要な支援として、「近所との交流」（66.9%）、「民生委員、自治会等の声かけ、見守り」（35.1%）、「高齢者が集まることのできる場の充実」（32.7%）といった自治会単位の交流や声かけ、見守り等の必要性が高いことがわかります。

その他の回答では、「スクールバス等を利用した循環バス」や「毎日の配食サービス」といった回答もありました。

⑭ ボランティア活動への意思

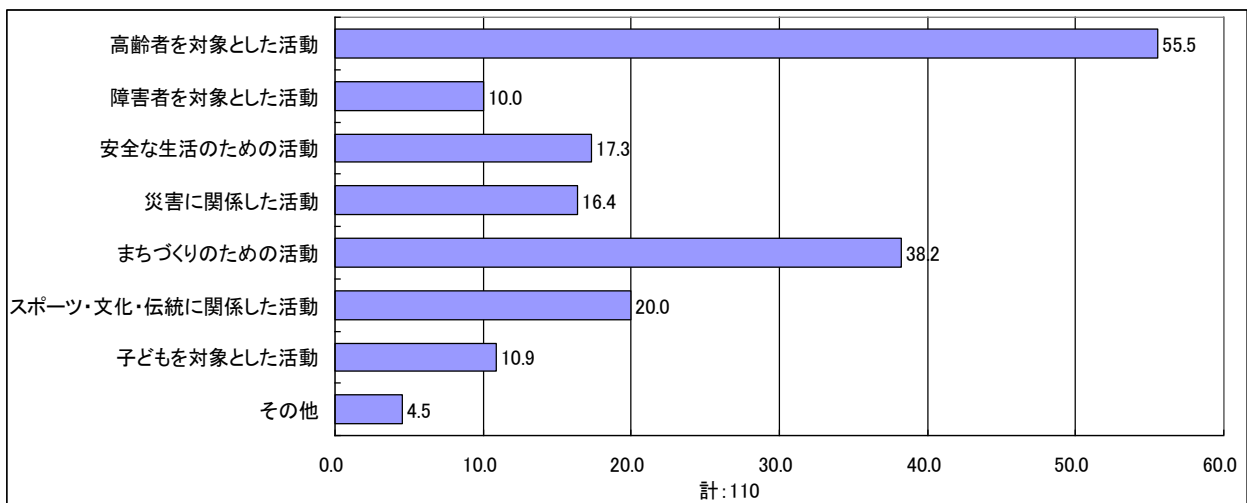
自分の知識・経験をボランティア活動等の地域活動に活かしたいと思いませんか。(1つ)
 どんな知識・経験でも結構です。



自分の経験や知識をボランティア活動に活かしたいと思っている方は21.9%おり、活かしたい活動内容は下記となっております。

⑭-1 活かしたい活動分野

⑭で「1. はい」とお答えの方におたずねします。
 活かしたい活動分野はどれですか。(いくつでも)

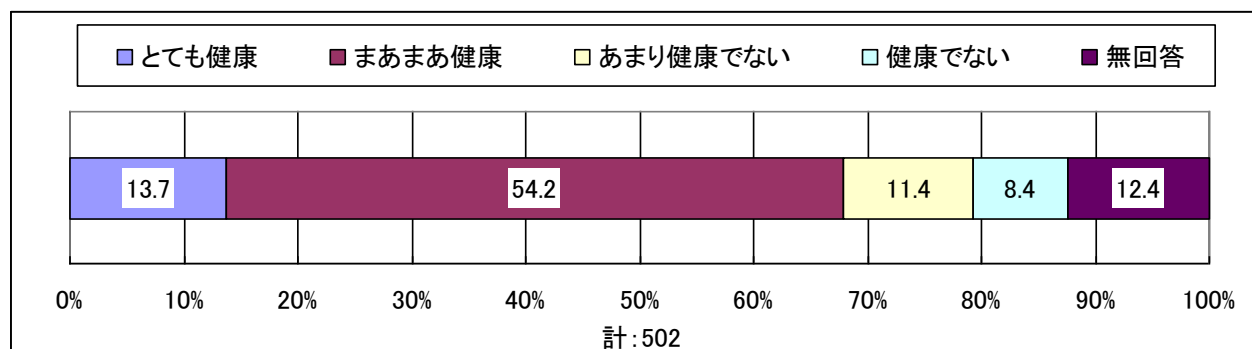


活かしたい活動分野では「高齢者を対象とした活動(話し相手、日常生活の手助け等)」(55.5%)の割合が最も高く、次いで「まちづくりのための活動(植樹、清掃活動等)」(38.2%)となっています。

9. 問8 健康状態について

① 健康状況の自覚

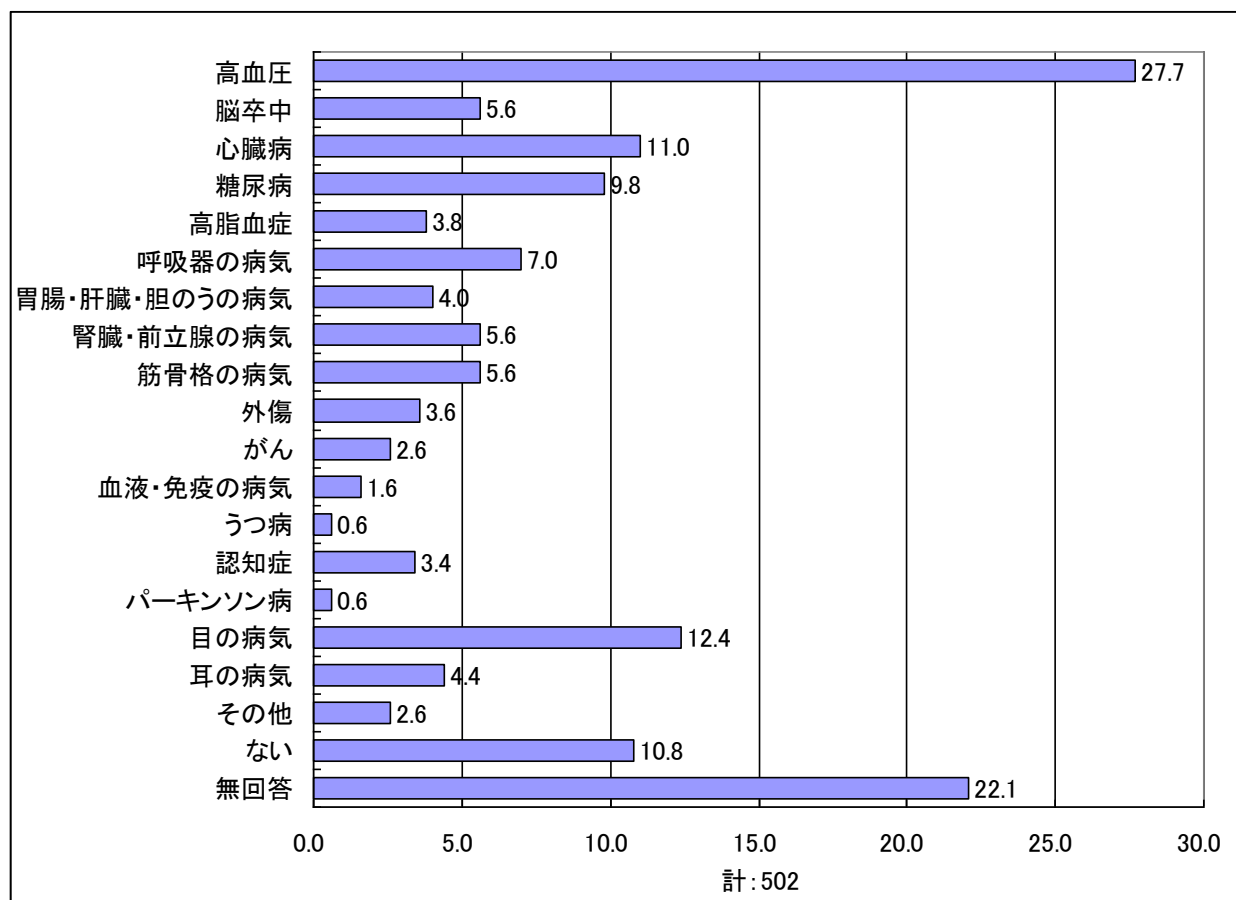
ふだん、ご自分で健康だと思いますか。(1つ)



自分の健康状況について健康(「とても健康」と「まあまあ健康」の合計)と感じている人は67.9%を占めています。

② 病気の有無

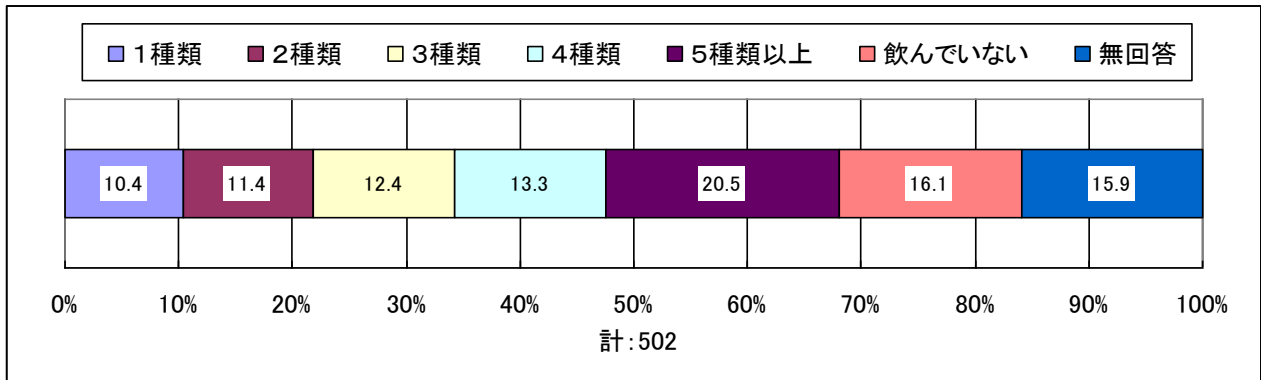
現在治療中または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)



現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」(27.7%)が最も多く、次いで「目の病気」(12.4%)、「心臓病」(11.0%)の順となっています。

③ 飲んでいる薬の数

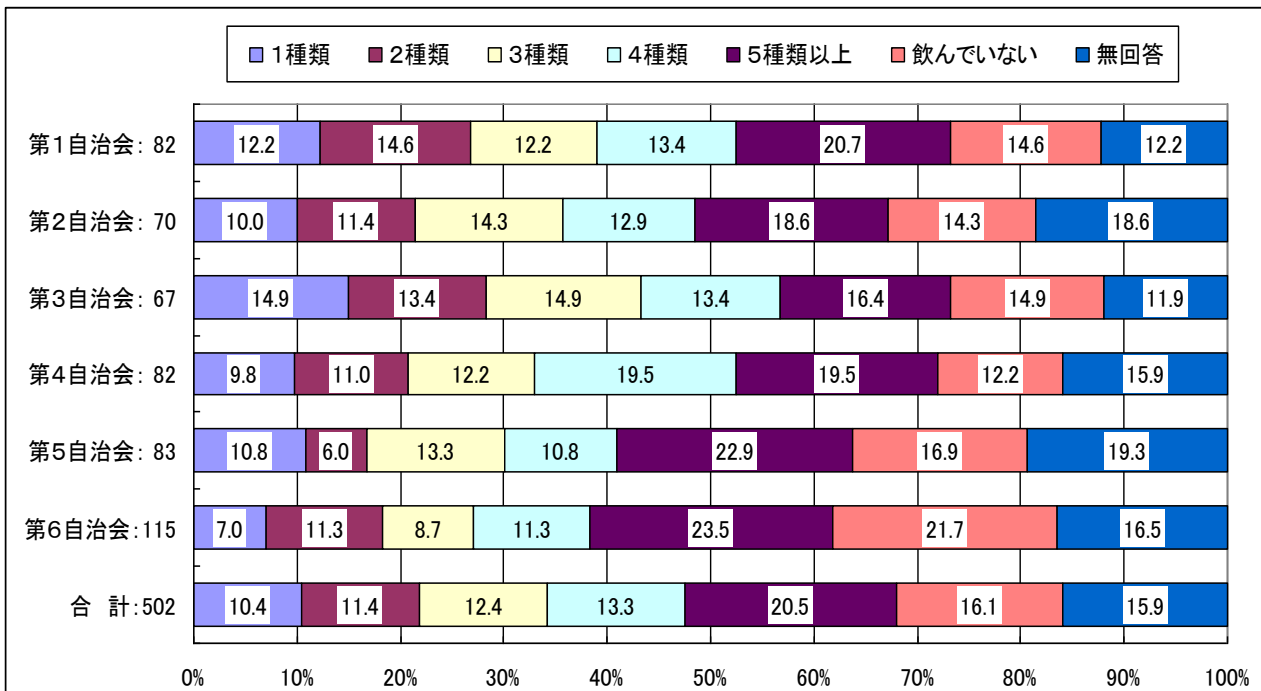
現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。(1つ)



現在飲んでいる薬の数では、「5種類以上」が20.5%を占め最も多く、複数の薬を常用している人が多いことを示しています。

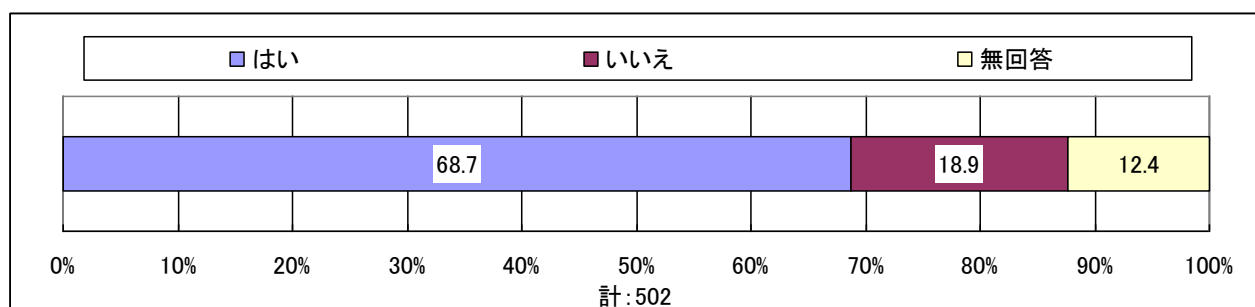
また、自治会別にみると、第6自治会で「5種類以上」の割合が他の自治会より高くなっていますが、「飲んでいない」の割合も高いことがわかります。

●自治会別飲んでいる薬の数



④ 通院状況

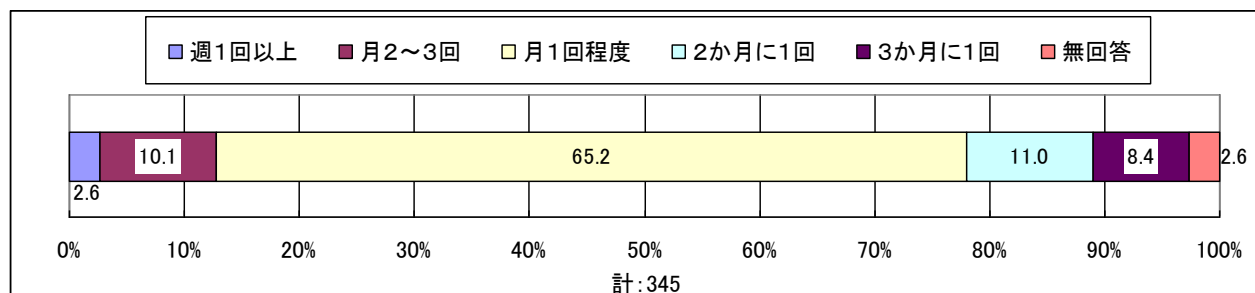
現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。（1つ）



現在通院している人は回答者の約7割を占めています。

④-1 通院頻度

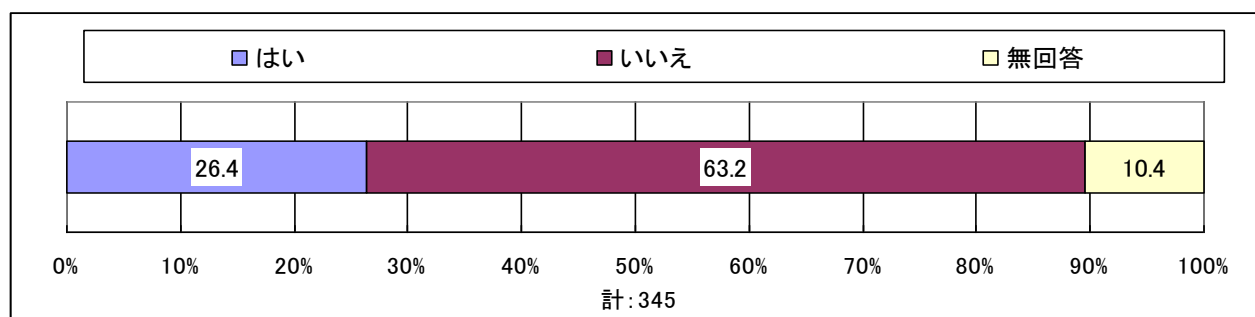
④で「1. はい」とお答えの方におたずねします。その頻度は次のどれですか。（1つ）



通院している人の頻度では、「月1回程度」が最も多く、65.2%と半数以上を占めています。

④-2 通院での介助の必要性

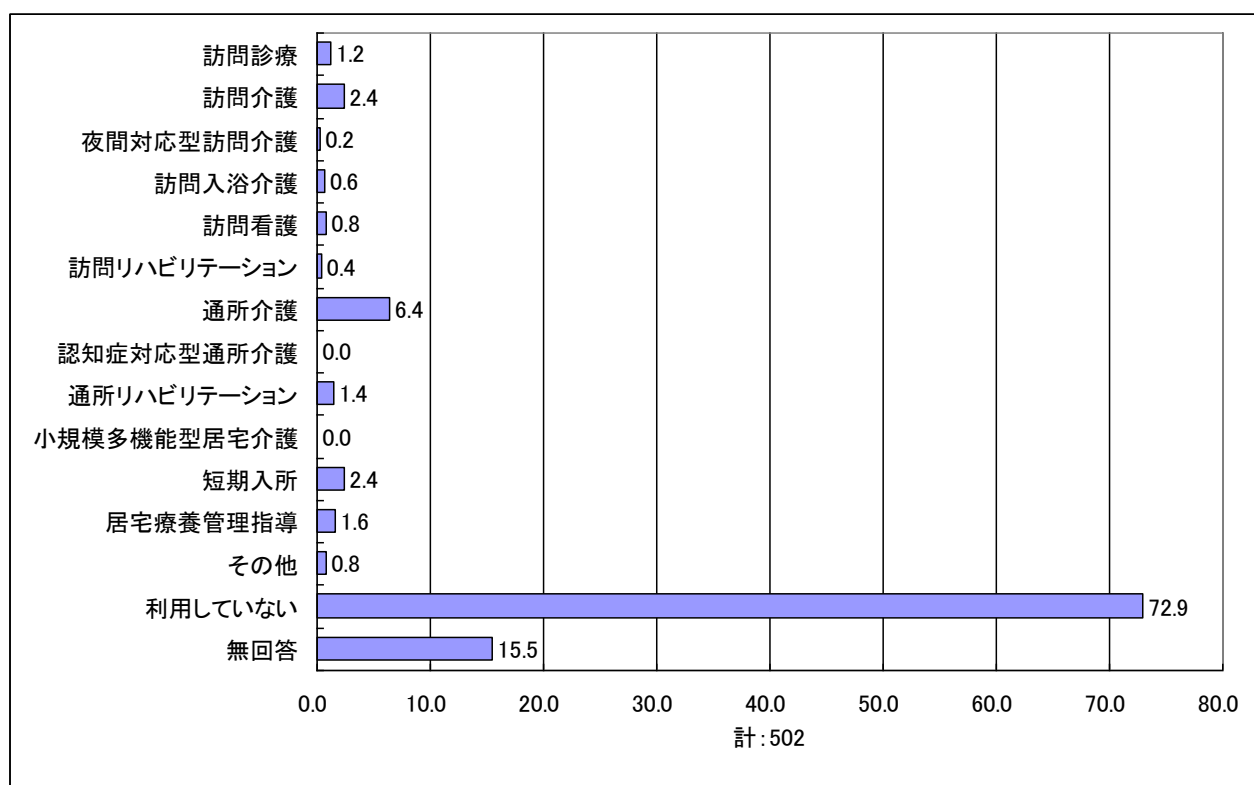
④で「1. はい」と回答した方にお聞きします。通院に介助が必要ですか。（1つ）



通院に伴う介助の必要性では、通院している人の約6割以上が「いいえ」と回答しており、通院時に介助が必要な人は26.4%となっています。

⑤ 在宅サービスの利用の状況

現在、以下の在宅サービスを利用していますか。(いくつでも)

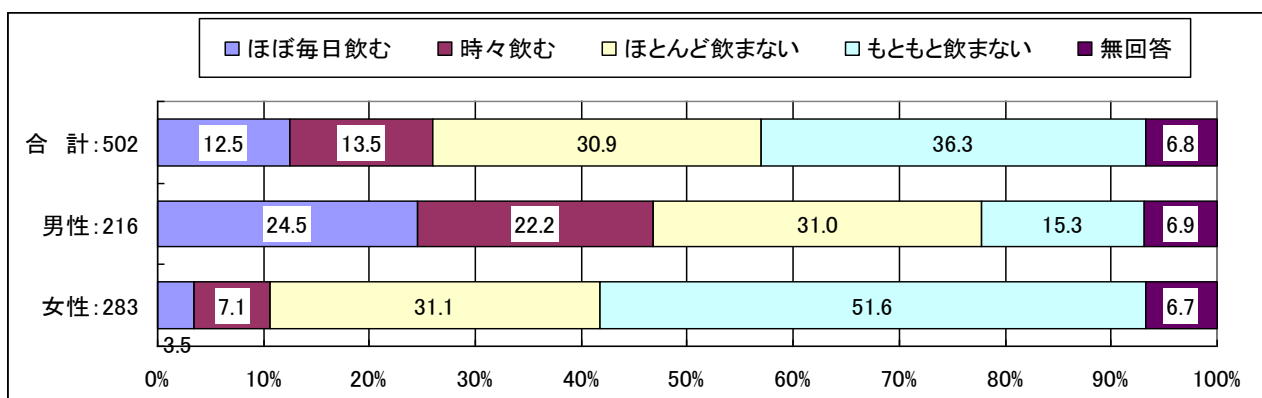


在宅サービスの利用状況では、回答者の72.9%が「利用していない」と回答しています。

また、利用しているサービスでは、「通所介護」(6.4%)や「訪問介護」、「短期入所」(2.4%)などが上位となっています。

⑥ 飲酒習慣

お酒は飲みますか。(1つ)

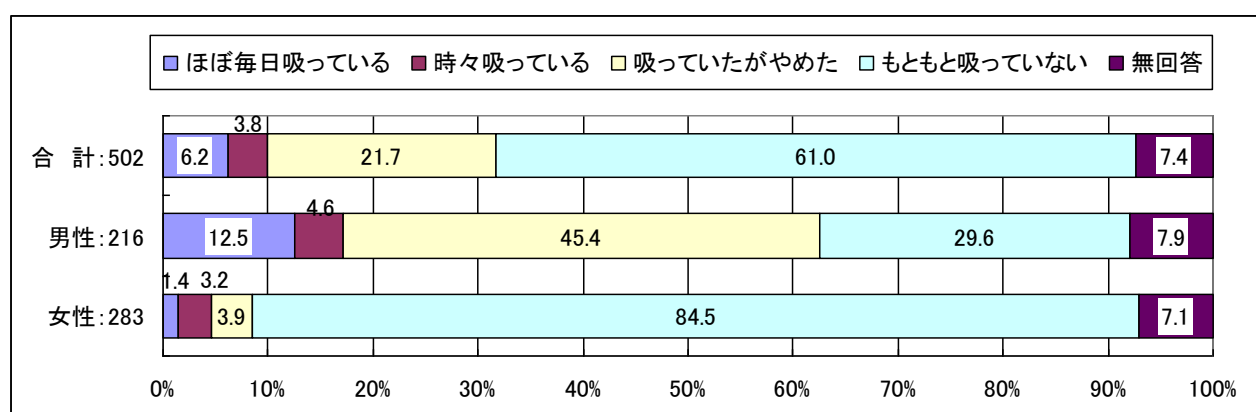


飲酒習慣に関する質問では、「もともと飲まない」が36.3%で最も多く、続く「ほとんど飲まない」(30.9%)を合わせて、飲酒習慣のない人が約7割弱を占めています。

また、男女別でみると、男性では「ほぼ毎日飲む」が24.5%を占めているのに対し、女性では「もともと飲まない」が51.6%を占めています。

⑦ 喫煙習慣

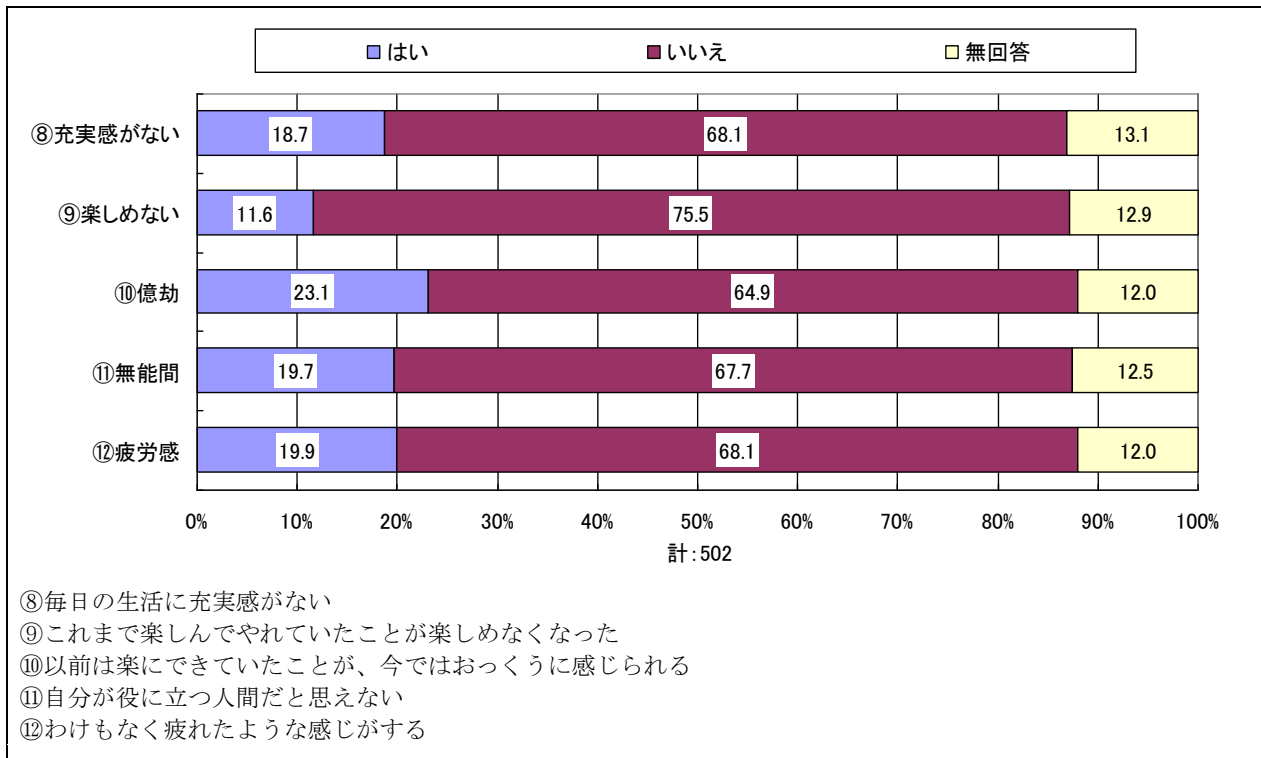
タバコは吸っていますか。(1つ)



喫煙習慣に関する質問では、「もともと吸っていない」が61.0%で最も多く、続く「吸っていたがやめた」(21.7%)を合わせて、喫煙習慣のない人が8割以上を占めています。

また、男女別でみると、男性では「吸っていたがやめた」が45.4%を占めているのに対し、女性では「もともと吸っていない」が84.5%を占めています。

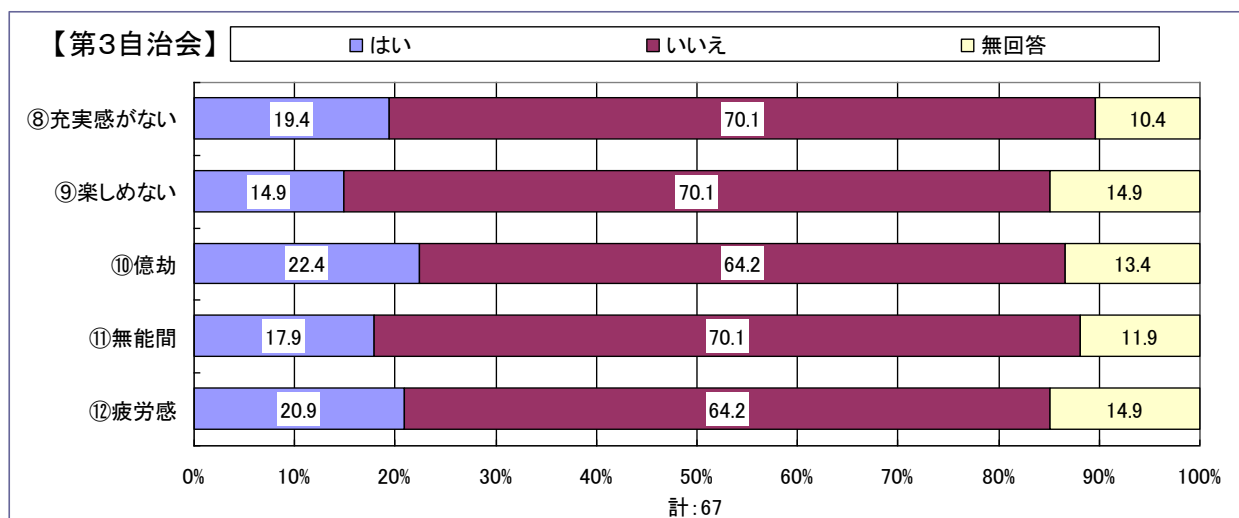
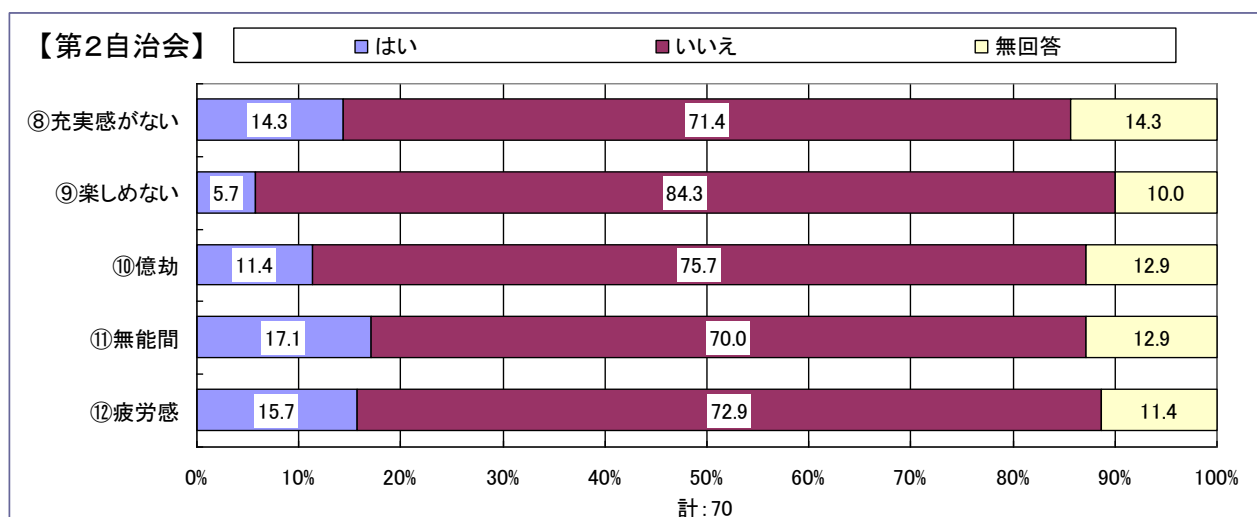
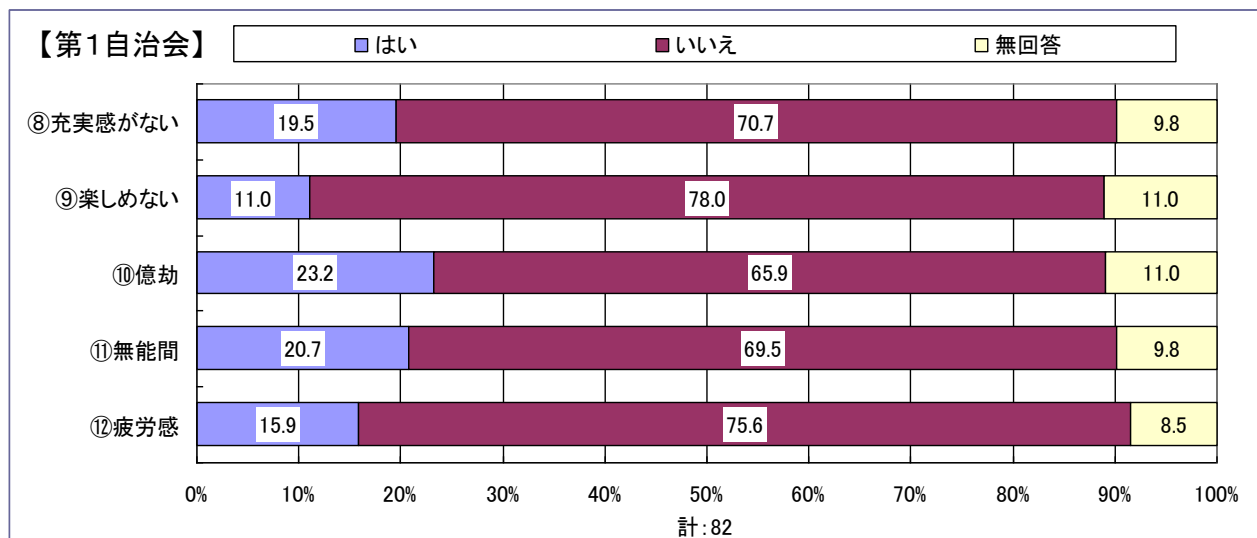
ここ2週間の状況についてうかがいます。(それぞれ1つ)

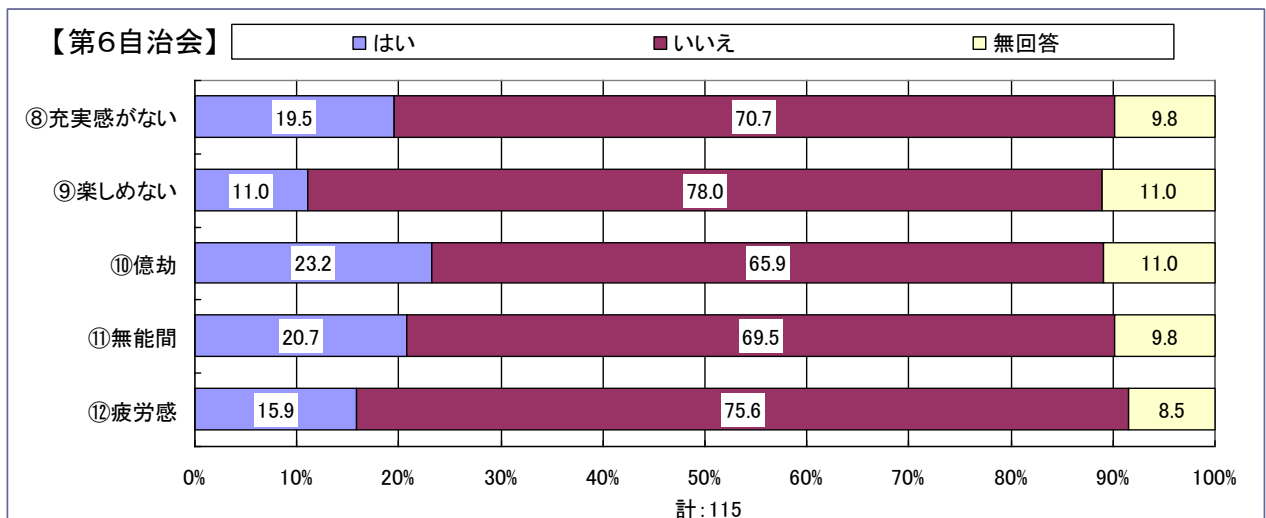
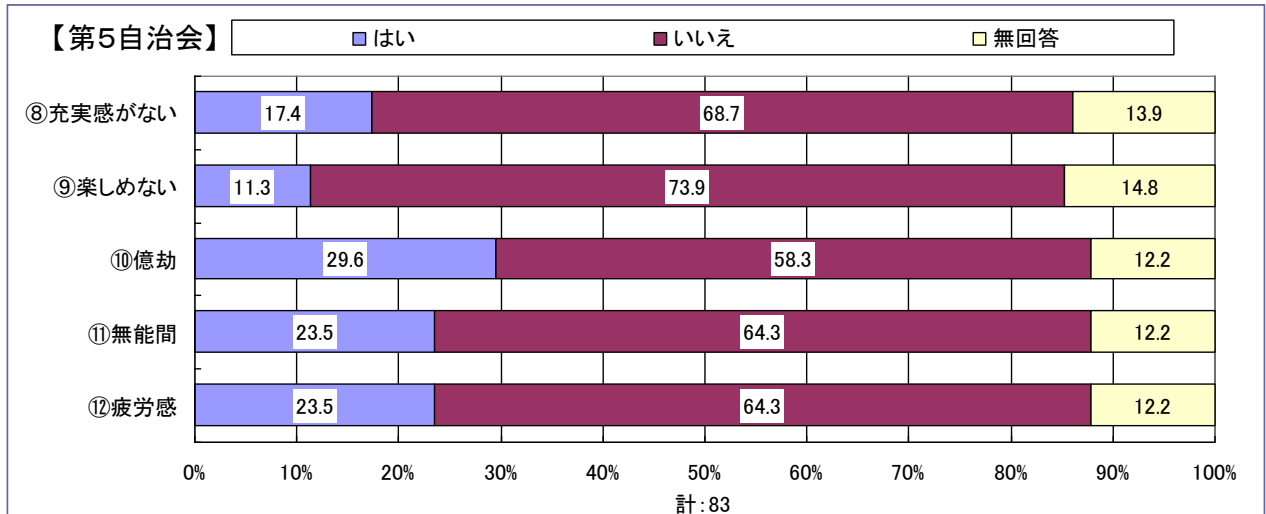
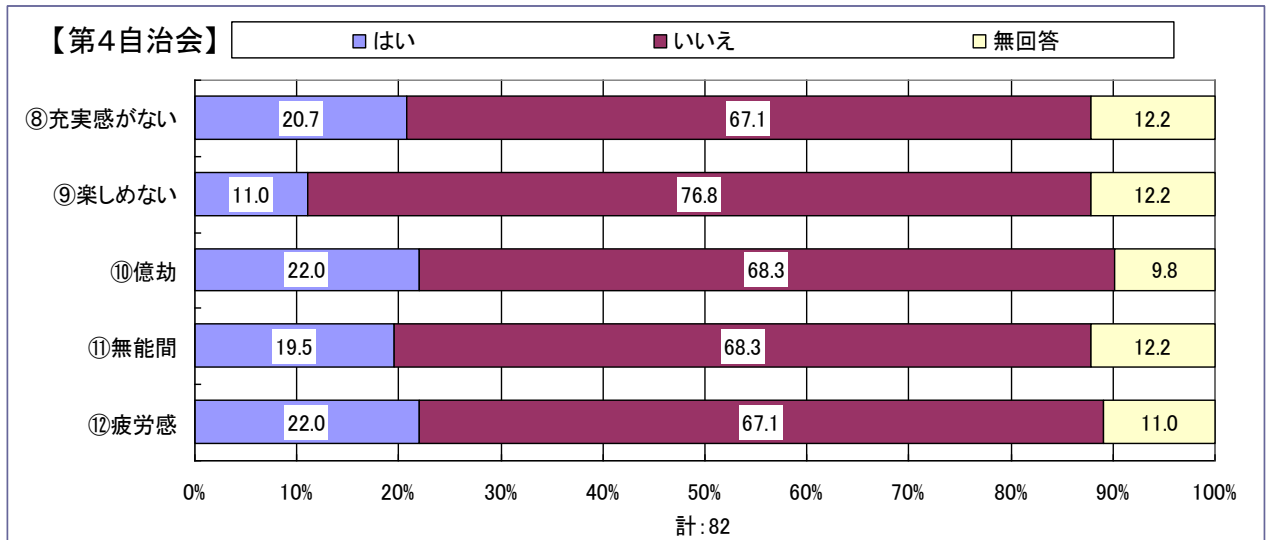


生活の充実感に関する質問については、「⑨楽しめない」で「はい」との回答が11.6%と低くなっているほかは、「はい」の割合は2割前後となっています。

また、自治会別にみると、第2自治会では、⑧から⑫のいずれの項目でも「はい」の割合が低く、生活に充実感のない人の割合は他の自治会よりも比較的低くなっています。

●自治会別生活の充実感



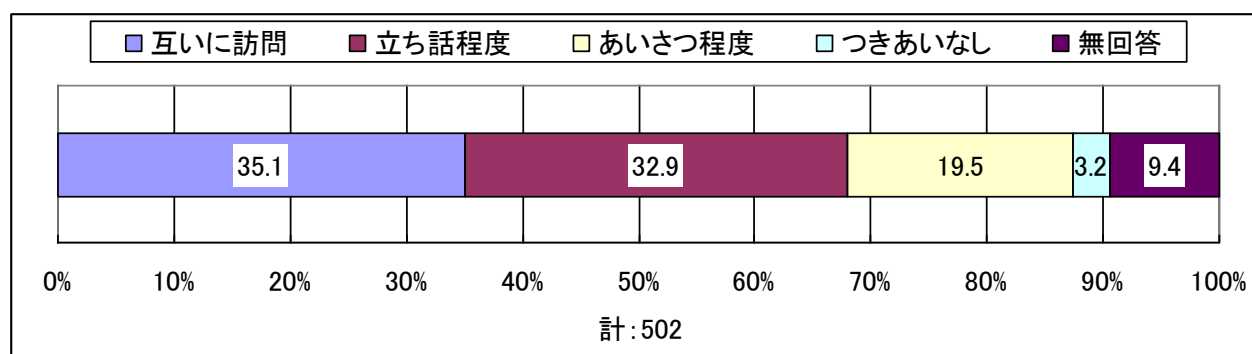


10. 問9 村独自質問 介護保険料等について

最後に以下の①～⑤についてお答えください。

① 近所とのつきあい

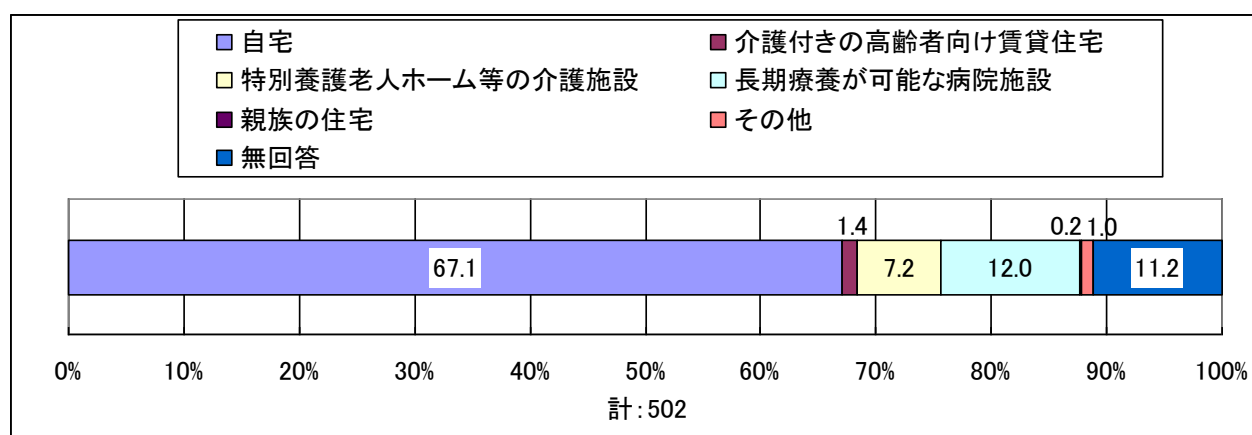
あなたは近所の人とどの程度つきあいをしていますか。(1つ)



近所とのつきあいの程度は「互いに訪問」(35.1%)が最も高く、次いで「立ち話程度」(32.9%)、「あいさつ程度」(19.5%)の順となっています。

② どこで暮らしたいか

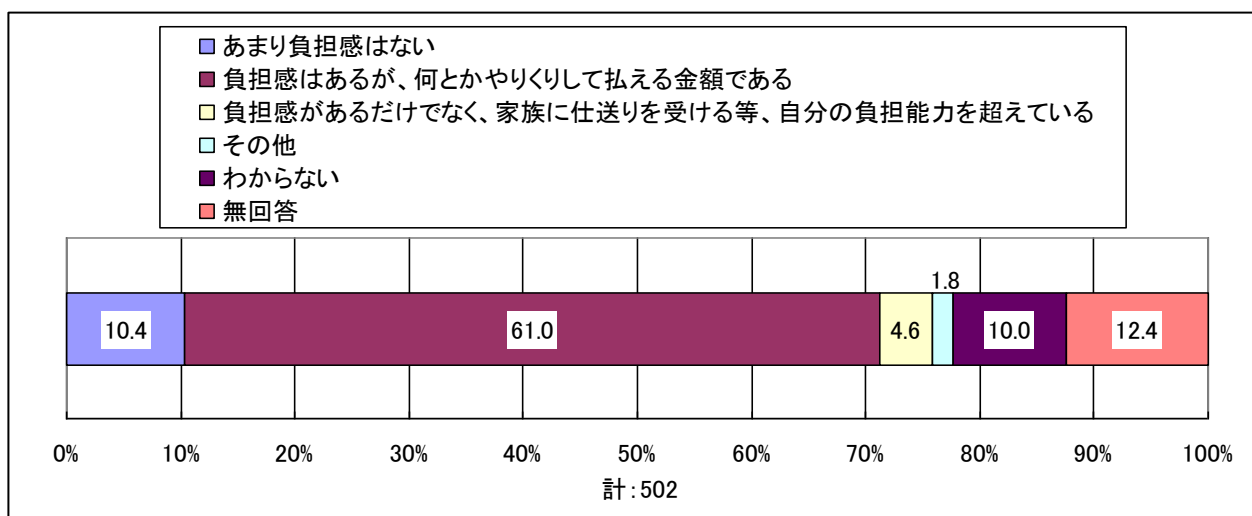
介護・介助が必要になったら、どこで暮らしたいですか。(1つ)



介護・介助が必要になったときでも、回答者の7割が自宅で暮らしていきたいと望んでいることが分かります。

③ 現在の介護保険料

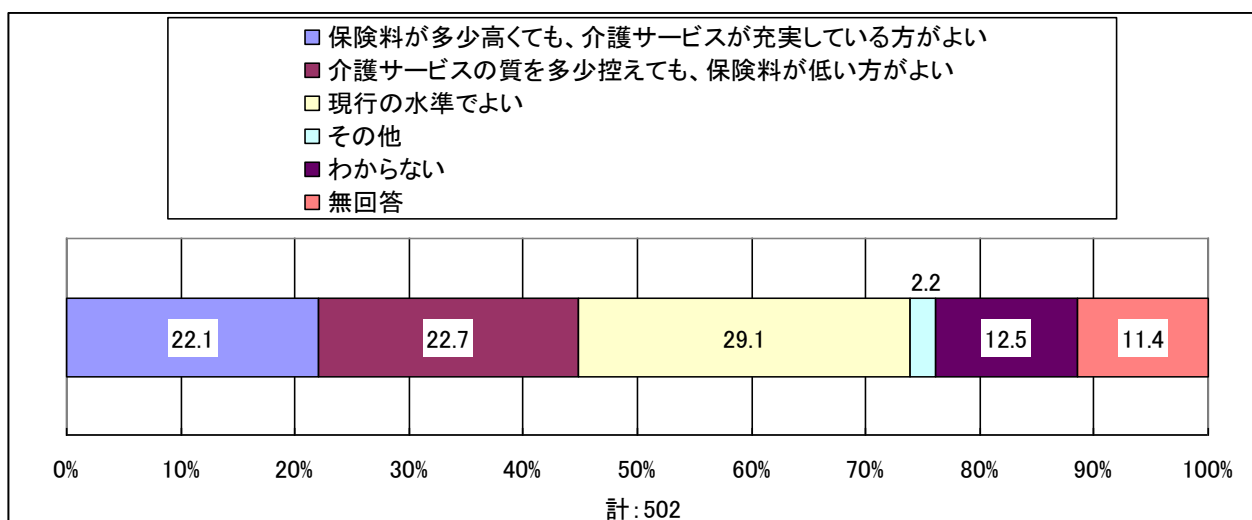
現在の介護保険料についてどう思われますか。(1つ)



現在の介護保険料について、「負担感はあるが、何とかやりくりして払える金額である」(61.0%)が最も多くの回答となっています。

④ 保険料と介護サービスのあり方

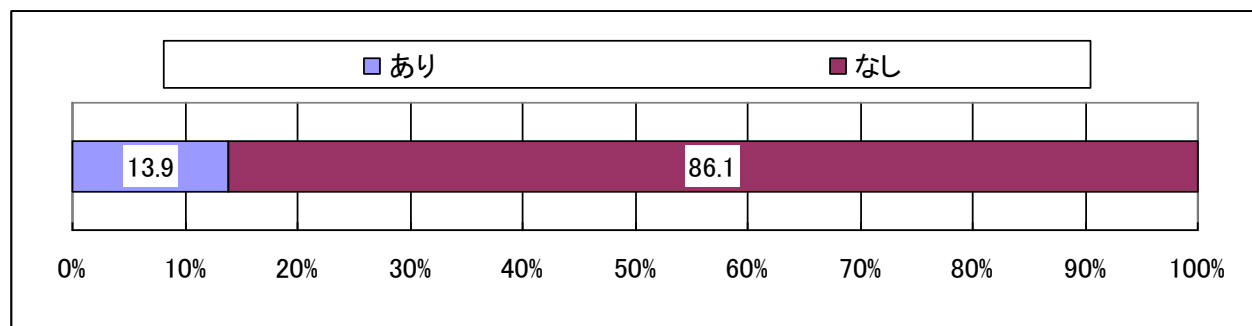
介護保険制度は、40歳以上の方から介護保険料を徴収して、介護が必要な方に対し、介護サービスを提供する費用に充てています。本村でも今後保険料がさらに上昇することが見込まれています。保険料と介護サービスのあり方について、あなたの意見に最も近いのはどれですか。(1つ)



保険料と介護サービスのあり方について「現行の水準でよい」が29.1%に対し、「介護サービスの質を多少控えても、保険料が低いほうがよい」(22.7%)と「保険料が多少高くても、介護サービスが充実している方がよい」(22.1%)が、ほぼ同じ割合となっています。

自由記述

- ⑤ 高齢者保健福祉に関することや介護保険制度についてご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。



自由記述へは 70 人（13.9%）から 100 件の回答があり、結果を項目別にまとめると以下のようになります。

■自由記述内容

分類	内容	件数
介護保険	介護サービス事業所・施設の充実 (在宅サービス・介護福祉施設・介護保険施設等の設置)	10
	介護保険制度に満足している。継続してサービスを利用したい。 制度を続けてほしい。	5
	保険料を払っていても介護サービスが受けられるのか心配。	3
	制度そのものが難しい。わかりづらい。	3
	デイサービスの充実(泊まり・土日の営業等)	3
	みんなが安心して介護が受けられるように、介護者の報酬・待遇の向上。	2
	介護保険制度を利用して、自宅での生活を望む。	2
	介護サービスを利用しないでいられるようにしたいと思っている	2
	デイサービス職員やサービスに対する不満	1
	自宅に近い場所で最終のサービスが受けられる方策を考えて下さい。	1
	個々に必要な介護は無条件に実施することが大前提。 査定などで切り捨てる方向はやめること。	1
	強制的に年金から保険料を天引きは少々不満を感じる。90歳以上の高齢者から保険料を取るのはいけない。	1
	要介護認定に関する不満	1
	手続きが難しく、認定されるまでに死亡してしまう。	1
	介護保険料が安くなった人がいると聞いたが本当か。	1

分類	内容	件数
保健・福祉サービス	高齢者保健福祉の更なる充実を希望	5
	高齢者のために福祉・介護は良い事であると思われます。	3
	雪深い道志。老人世帯には雪かきは大仕事。サービスを望む。	2
	4月からは体操教室にも行きたいと思っています。	1
	年に一度の健診は今後も続けて下さい。お願いします。	1
	老人を対象にした諸行事は、75歳以上でよいと思う。 70歳はみんなまだまだ若いと思っている。	1
	在宅高齢者の訪問健康サービスを望む	1
	高齢者の役立つことをしたいと思っている。	1
	他人の役立つことをさせていただき感謝している。	1
	経済費用負担	介護保険料を低くしてもらいたい。負担の軽減希望。
現行の水準を保持してほしい。		4
保健福祉の充実は望みたいが金銭的負担が大きすぎる		4
中福祉、中負担		1
医療	意味のない延命治療はどうかと考えており、子供たちに迷惑をかけたくない。	2
	病院が近くになく不便。	1
	在宅を支えてくれる医者、看護師がいて安心して老後を迎えられたらと思う。	1
	病院に行く専用のバスが定期的に来てくれると安心。	1
	病気で苦しんでいる。	1
政治・行政	住民健康課の努力心より感謝致します。	7
	行政のお世話になっていきたい。よろしくお願いします。	4
	国庫支出を求めて、根本的に仕組みを改善するように自治体も動いてほしい。それが無理なら、制度は廃止すること。	2
	安心安全の村づくりに向かって更に前進して下さい。	1
	頼むぜ。終の棲家ですから。	1
アンケート	この調査が高齢者には大変なこと。役立ってほしい。	2
	この調査に記入でき健康に喜びを感謝している。	1
	書類などを書くよりは訪問していただきたい。	1
その他	多くの人と交流し声を掛け合ったりして楽しい人生でありたいと思います。ありがとうございます。	1
	後期高齢医療は年齢差別を持ち込んで高齢者人権が無視されている。	1
	道志村の自然に感謝している。	1
	年老いた将来が不安	1

資料編

調査票

高齢者実態調査報告書

発行／道志村

編集／道志村 住民健康課

〒402-0209 山梨県南都留郡道志村 6181 番地 1

TEL 0554-52-2111(代表)

発行／平成 24 年3月
